

紀の川市第2次障害者基本計画
策定のためのアンケート調査
【調査結果報告書】

平成29年3月

紀 の 川 市

目 次

1. 調査の概要.....	1
1-1 調査の目的.....	1
1-2 調査の概要.....	1
1-3 報告書の見方.....	1
2. 障害者基本計画アンケート調査結果.....	2
2-1 回答される方の基本事項について.....	2
2-2 生活支援について.....	18
2-3 外出について.....	45
2-4 地域防災について.....	51
2-5 社会参加・地域参加について.....	55
2-6 雇用・就業について.....	61
2-7 保健・医療について.....	66
2-8 情報・コミュニケーションについて.....	68
2-9 今後の施策の重要度について.....	70
2-10 自由意見.....	74
3. 地域福祉計画アンケート調査結果（一部抜粋）.....	77

1. 調査の概要

1-1 調査の目的

本調査は、「紀の川市第2次障害者基本計画」策定のための基礎資料として、全ての市民が安心して暮らせる共生社会の実現のために、障害のある市民の実情やニーズなどを把握することを目的として実施しました。

1-2 調査の概要

	タイトル
調査対象者	紀の川市在住の障害手帳所持者等
配布数	1,500人
調査方法	郵送配布・郵送回収(希望者には訪問し、聞き取り後回収)
回収数	637人
回収率	42.5%
調査期間	平成28年10月1日～平成28年10月31日

1-3 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

2. 障害者基本計画アンケート調査結果

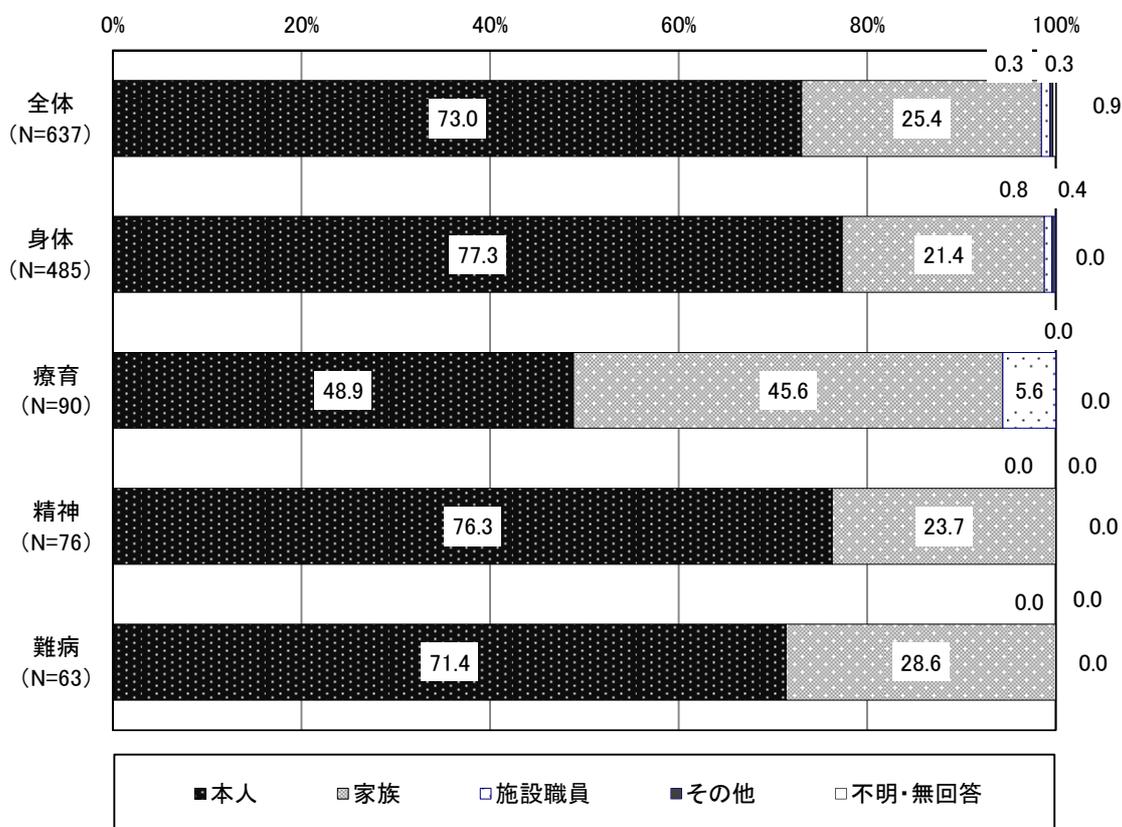
2-1 回答される方の基本事項について

問1 このアンケートに回答していただけるのは、どなたですか。(1つに○)

回答者についてみると、全体では「本人」が73.0%と最も高く、次いで「家族」が25.4%となっています。

障害者手帳および難病認定別で見ると、身体・精神・難病において「本人」が最も高く、身体が77.3%、精神が76.3%、難病が71.4%となっています。

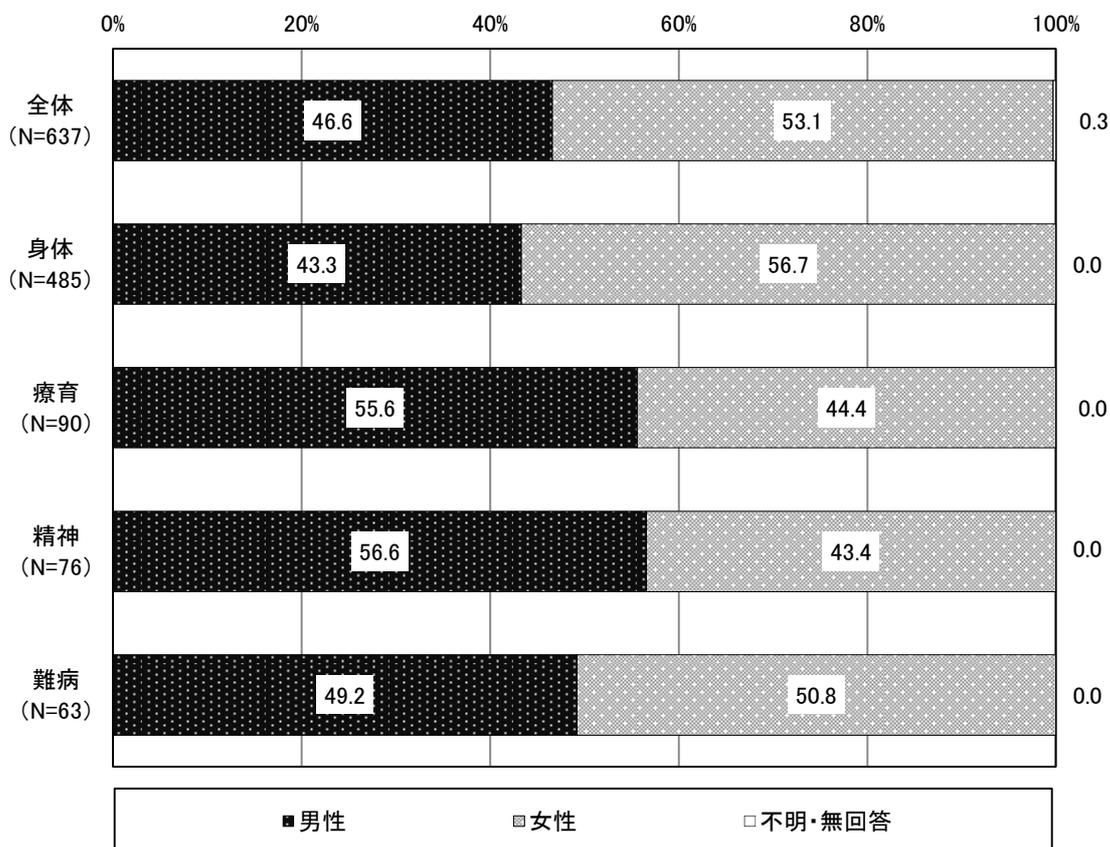
療育では「本人」が48.9%と最も高くなっているものの、「家族が記入」も45.6%と、5割弱を占めています。



問2 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

性別についてみると、全体では「男性」が46.6%、「女性」が53.1%となっています。

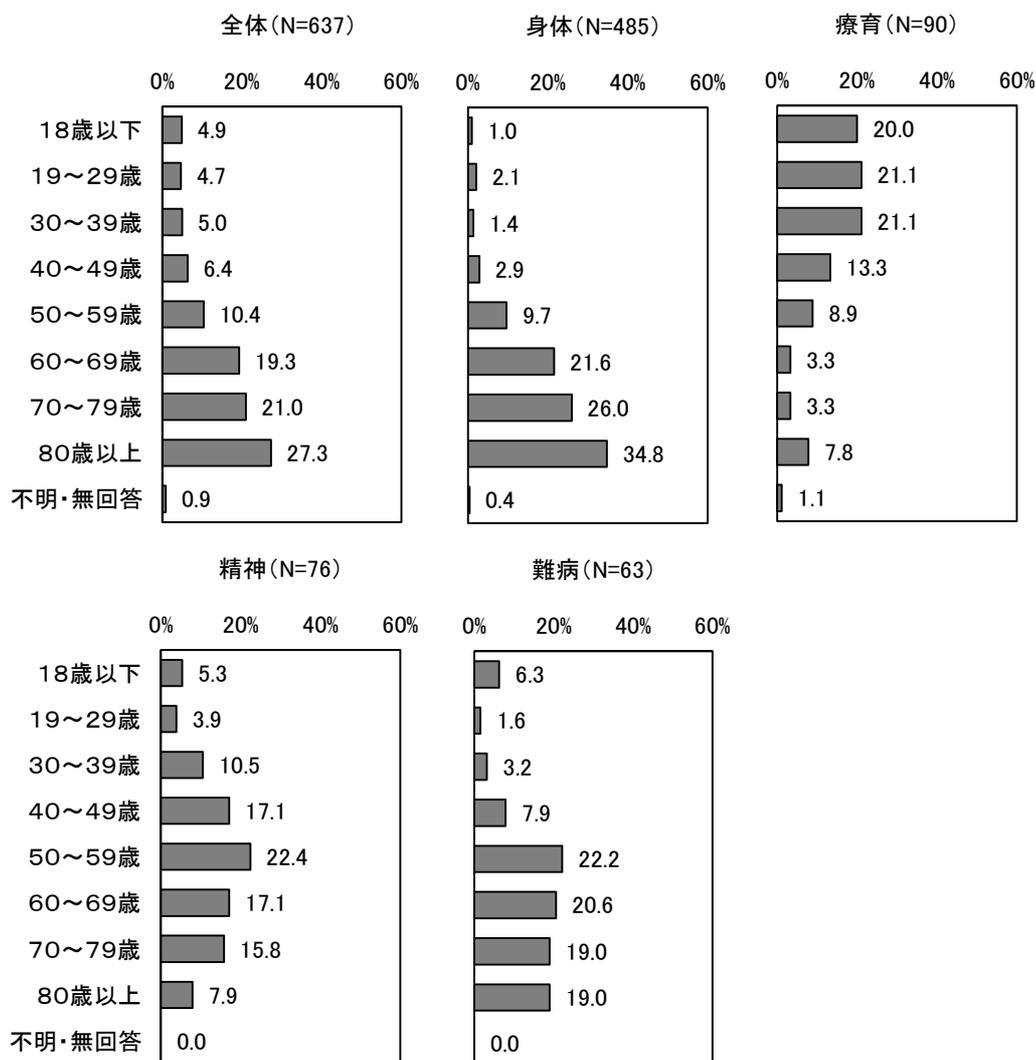
障害者手帳および難病認定別でみると、「男性」が身体では43.3%、療育では55.6%、精神では56.6%、難病では49.2%となっています。また、「女性」は身体では56.7%、療育では44.4%、精神では43.4%、難病では50.8%となっています。



問3 あなたの年齢（または生まれた年月）を教えてください。（1つに○）

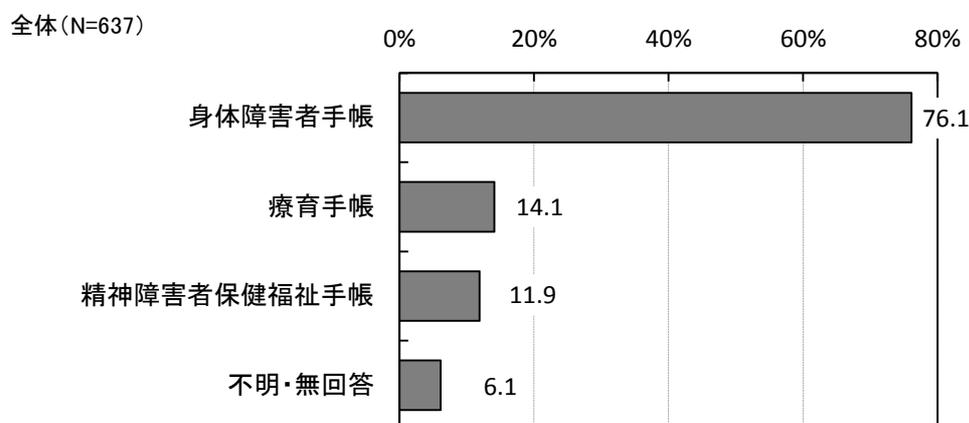
年齢についてみると、全体では「80歳以上」が27.3%となっています。

障害者手帳および難病認定別でみると、身体では「80歳以上」が34.8%と最も高くなっています。療育では、「19～29歳」「30～39歳」がともに最も高く、21.1%となっています。精神および難病では、「50～59歳」がともに最も高く、精神では22.4%、難病では22.2%となっています。



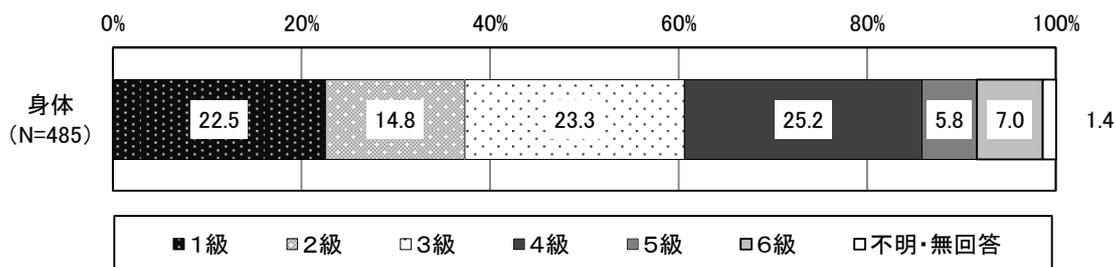
問4 あなたがお持ちの障害者手帳は、次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）

障害者手帳の種別についてみると、「身体障害者手帳」が76.1%、「療育手帳」が14.1%、「精神障害者保健福祉手帳」が11.9%となっています。



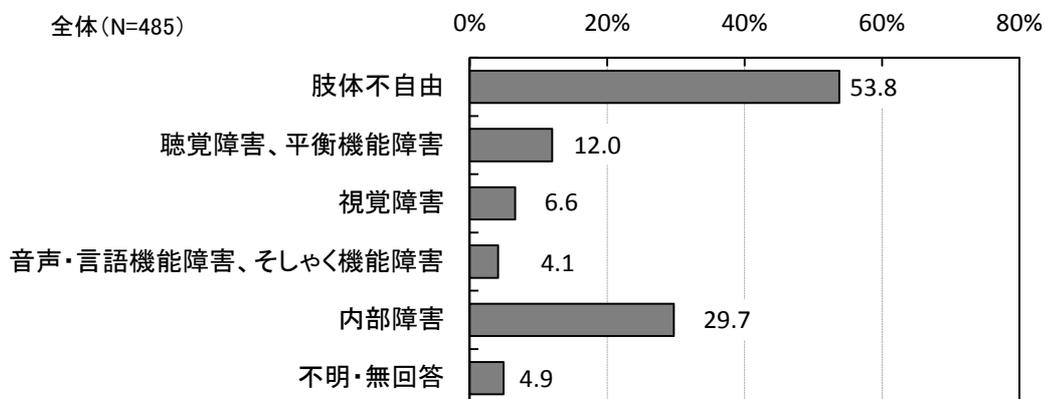
問4-1(1) 身体障害者手帳の等級は、総合等級で何級ですか。（1つに○）

身体障害者手帳の等級についてみると、「4級」が25.2%と最も高く、次いで「3級」が23.3%となっています。



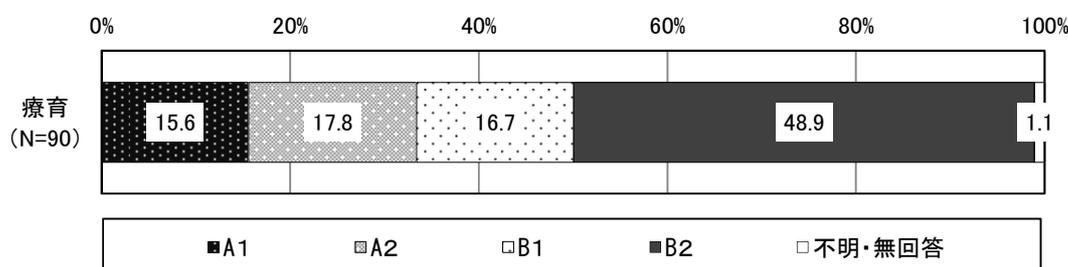
問4-1 (2) どのような障害ですか。(あてはまるものすべてに○)

障害の内容についてみると、「肢体不自由」が53.8%と最も高く、次いで「内部障害」が29.7%となっています。



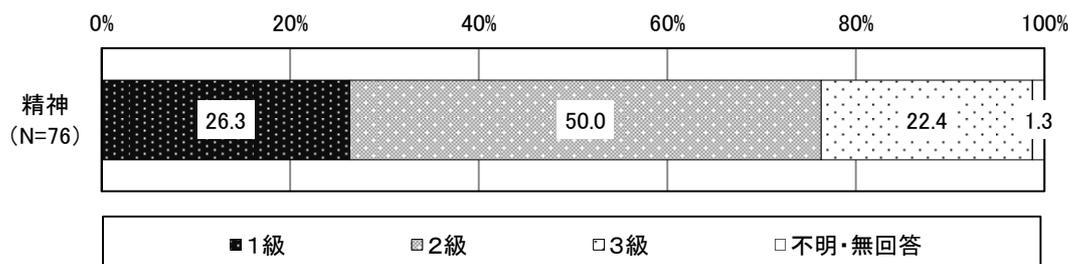
問4-2 療育手帳の判定は次のどれですか。(1つに○)

療育手帳の判定についてみると、「B2」が48.9%と最も高く、次いで「A2」が17.8%となっています。



問4-3 精神障害者保健福祉手帳の等級は何級ですか。(1つに○)

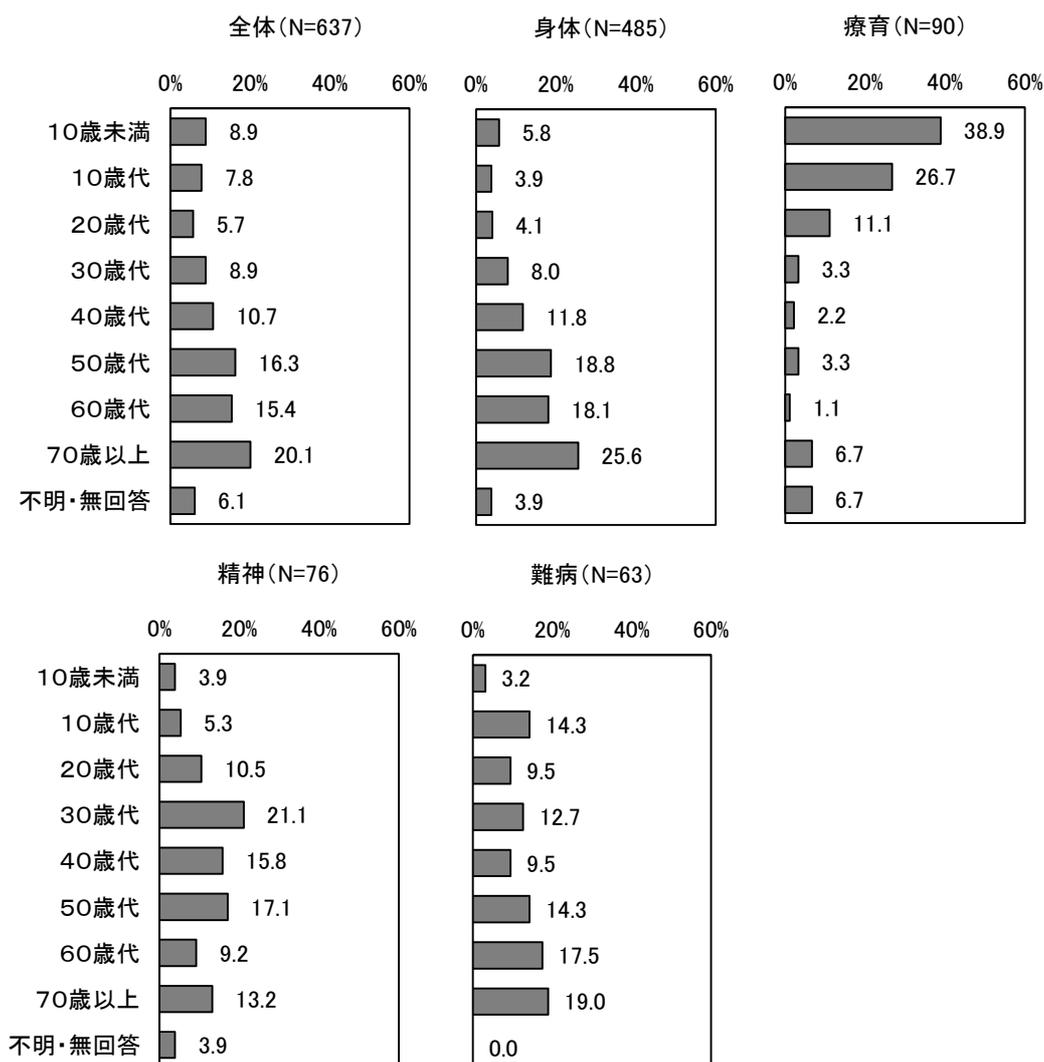
精神障害者保健福祉手帳の等級についてみると、「2級」が50.0%と最も高く、次いで「1級」が26.3%となっています。



問5 最初にあなたが障害者手帳または難病認定受給者証の交付を受けたのは何歳ごろですか。(1つに○)

障害者手帳または難病認定受給者証の交付を受けた年齢についてみると、全体では「70歳以上」が20.1%と最も高くなっています。

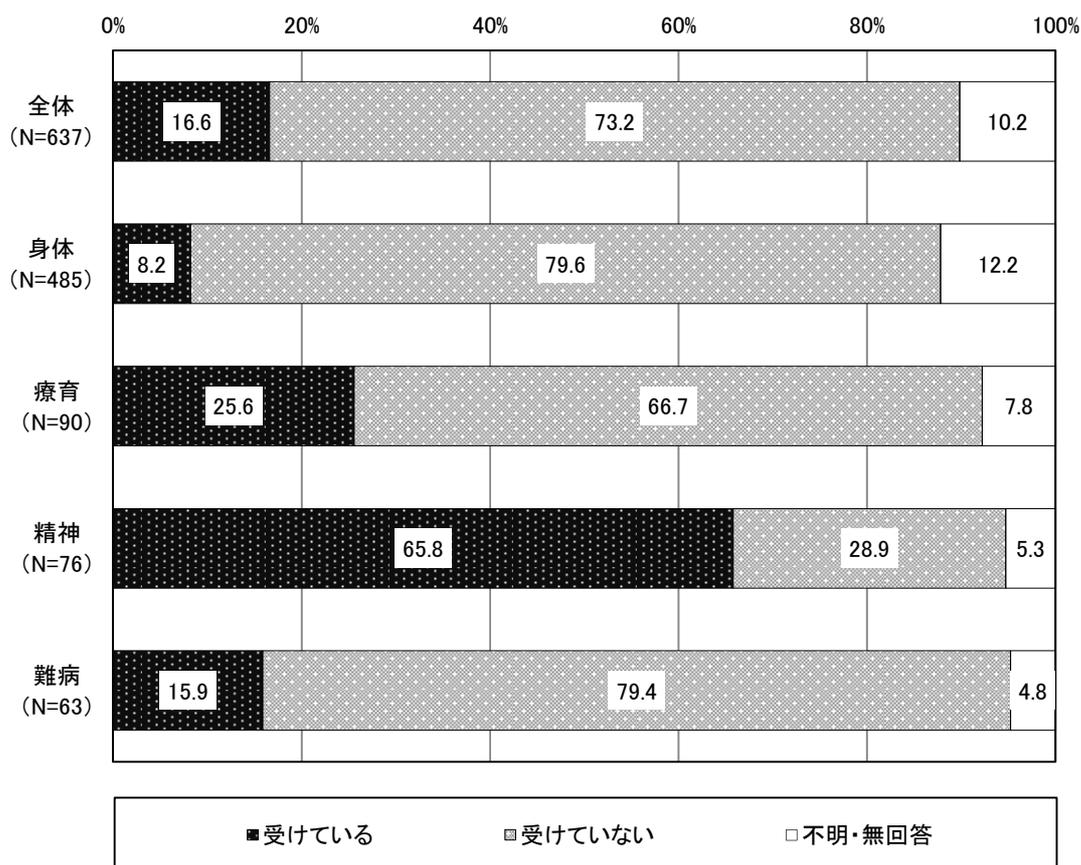
障害者手帳および難病認定別でみると、身体および難病では「70歳以上」が最も高く、身体では25.6%、難病では19.0%となっています。療育では「10歳未満」が最も高く38.9%、精神では「30歳代」が21.1%と最も高くなっています。



**問6 あなたは自立支援医療（育成医療・更生医療・精神通院医療）を受給していますか。
（1つに○）**

自立支援医療の受給状況についてみると、全体では「受けていない」が73.2%となっています。

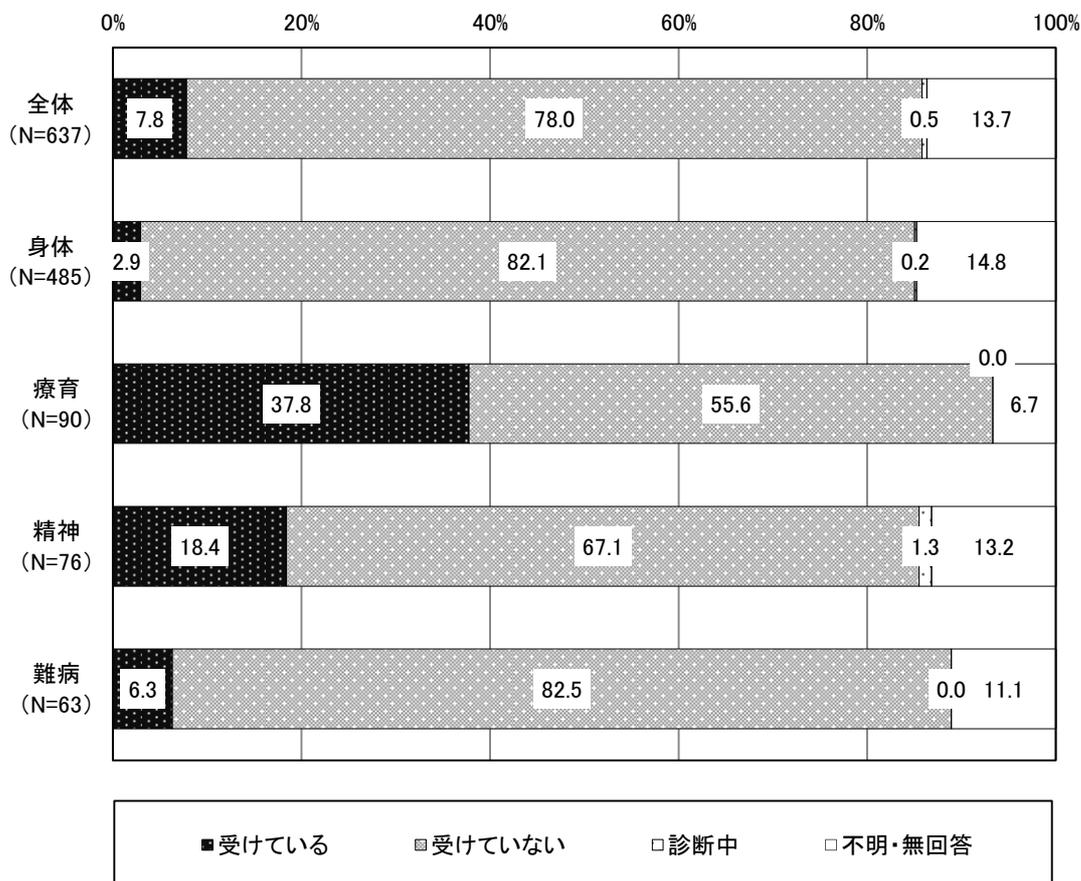
障害者手帳および難病認定別でみると、「受けていない」が身体では79.6%、療育では66.7%、難病では79.4%となっています。精神では「受けている」が65.8%となっています。



**問7 あなたは、発達障害（広汎性発達障害、自閉症など）の診断を受けていますか。
（1つに○）**

発達障害の診断を受けているかについてみると、全体では「受けていない」が78.0%となっています。

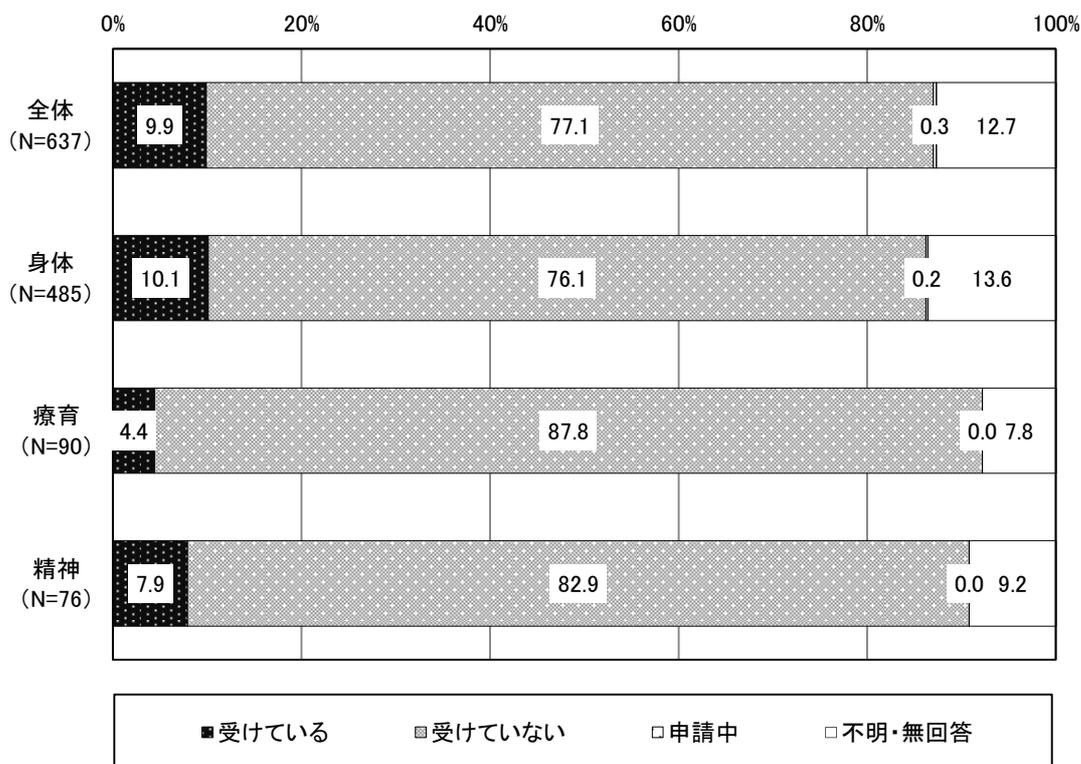
障害者手帳および難病認定別でみると、「受けていない」が身体では82.1%、療育では55.6%、精神では67.1%、難病では82.5%となっています。



**問8 あなたは、難病の認定（特定医療費（指定難病）受給者証など）を受けていますか。
（1つに○）**

難病の認定を受けているかについてみると、全体では「受けていない」が77.1%となっています。

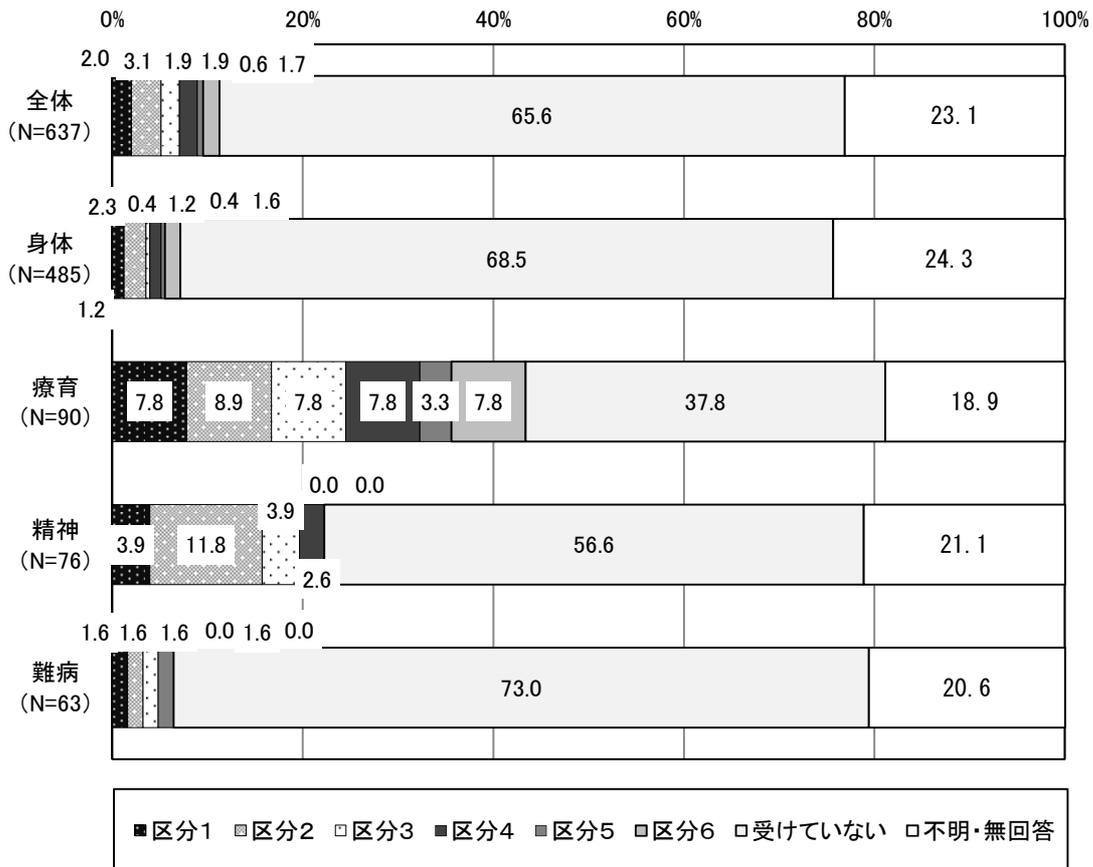
障害者手帳種別でみると、「受けていない」が身体では76.1%、療育では87.8%、精神では82.9%となっています。



問9 あなたは、障害福祉サービスの障害支援区分の認定を受けていますか。(1つに○)

障害福祉サービスの区分認定についてみると、全体では「受けていない」が65.6%と最も高く、次いで「区分2」が3.1%となっています。

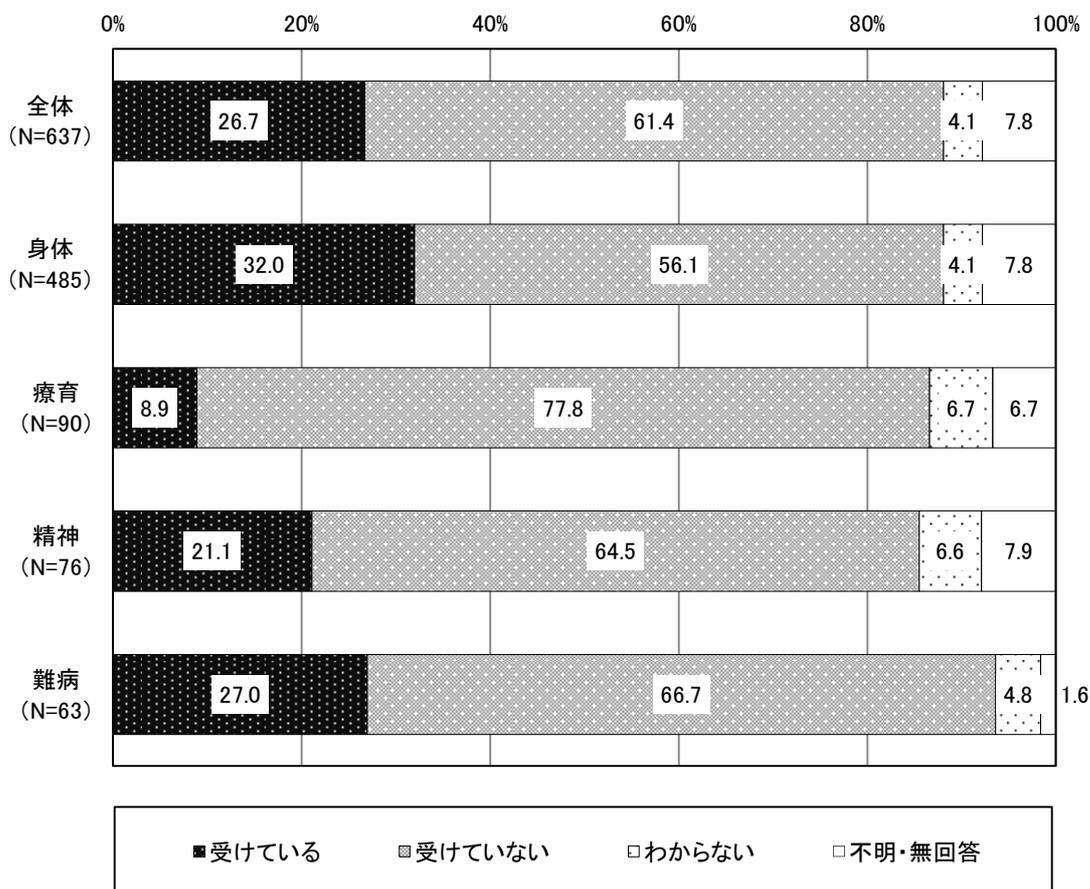
障害者手帳および難病認定別でみると、身体・精神・難病において「受けていない」が最も高く、身体では68.5%、精神では56.6%、難病では73.0%となっています。次いで「区分2」が身体では2.3%、精神では11.8%、難病では1.6%となっています。療育では「受けていない」が37.8%と最も高くなっているものの、「区分1」から「区分6」までの割合の合計が4割を超えています。



問 10 あなたは、介護保険法の要介護認定を受けていますか。(1つに○)

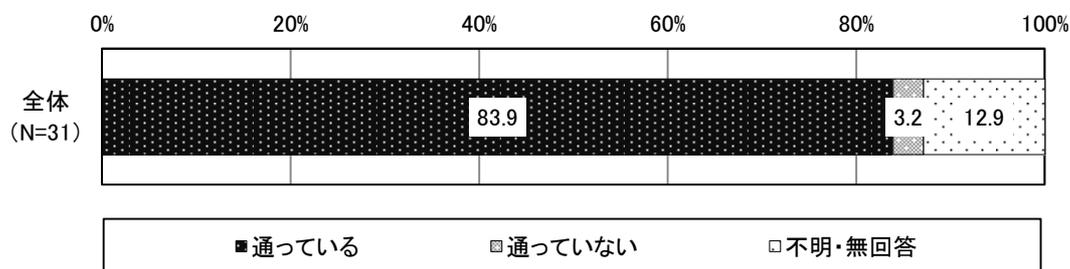
要介護認定を受けているかについてみると、全体では「受けていない」が61.4%となっています。

障害者手帳および難病認定別でみると、「受けていない」が身体では56.1%、療育では77.8%、精神では64.5%、難病では66.7%となっています。



問 11-1 18 歳以下の人にお聞きします。あなたは現在、学校【保育所（園）・幼稚園・障害児通園施設等を含む】へ通っていますか。（1つに○）

学校へ通っているかについてみると、全体では「通っている」が 83.9%となっています。

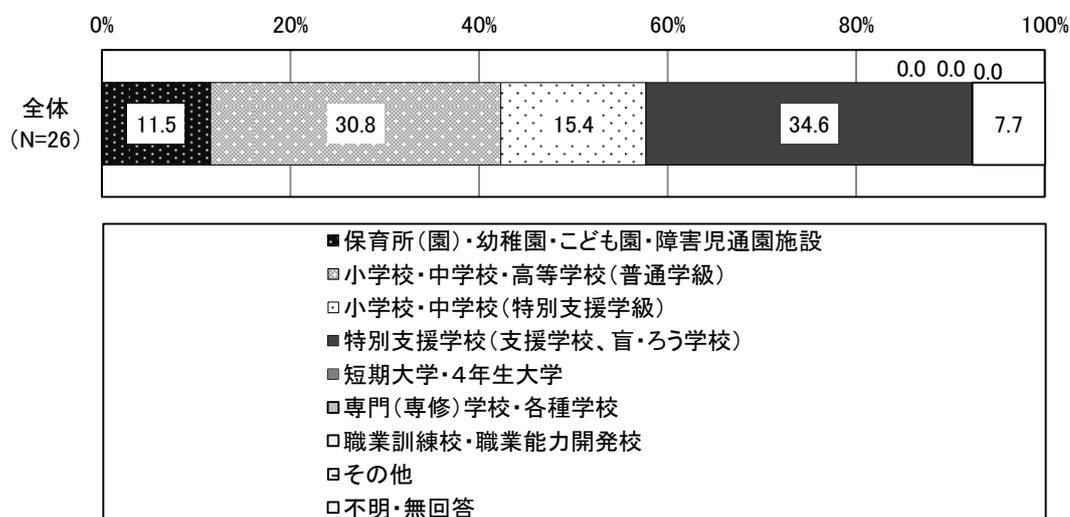


	上段:度数	問11-1 学校【保育所（園）・幼稚園・障害児通園施設等を含む】へ通っていますか			
	下段:%	合計	通っている	通っていない	不明・無回答
問4 障害者手帳・問8 難病認定	身体障害者手帳	5	4	0	1
		100.0	80.0	0.0	20.0
	療育手帳	18	16	1	1
		100.0	88.9	5.6	5.6
	精神障害者保健福祉手帳	4	3	0	1
		100.0	75.0	0.0	25.0
	難病	4	4	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0

※各手帳所持者および難病認定者のデータは、件数が少ないために表による掲載としています。

問 11-2 どのような学校へ通っていますか。(1つに〇)

どのような学校へ通っているかについてみると、「特別支援学校（支援学校、盲・ろう学校）」が34.6%と最も高く、次いで「小学校・中学校・高等学校（普通学級）」が30.8%となっています。



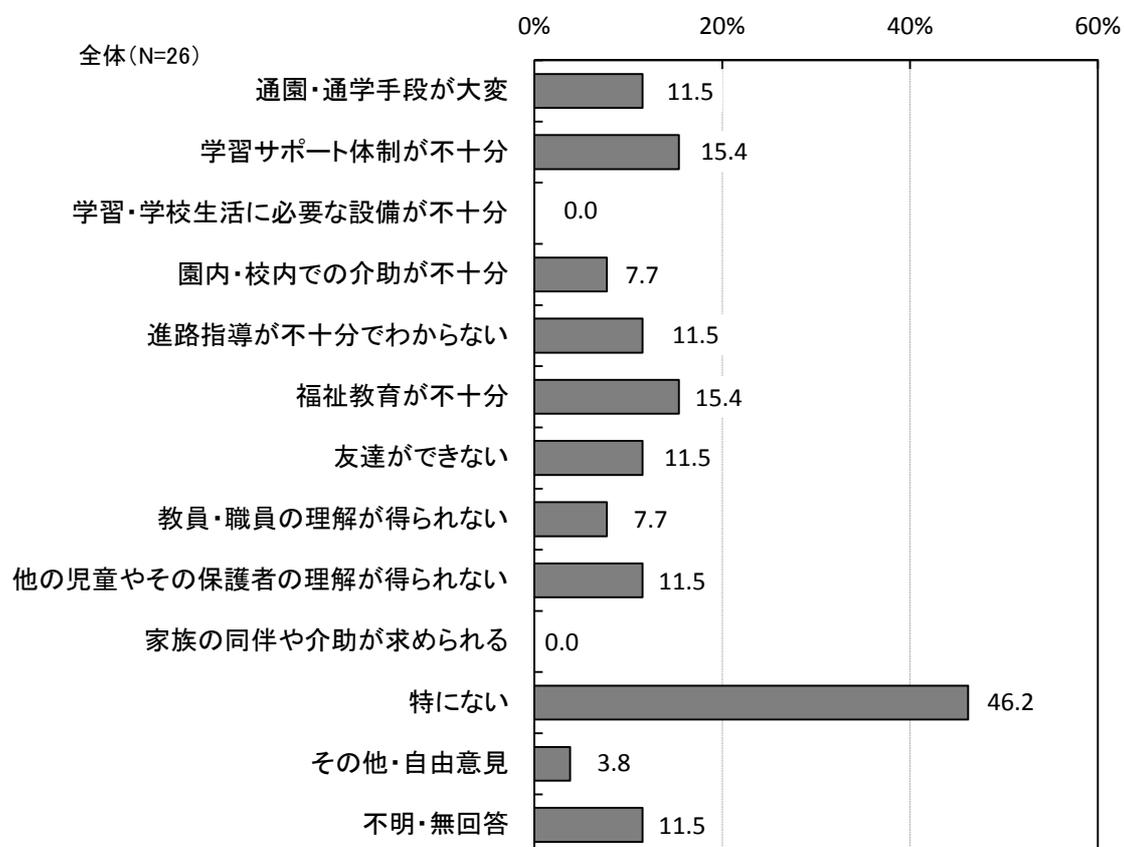
	上段:度数	問11-2 どのような学校へ通っていますか					
		下段:%	合計	保育所(園)・幼稚園・こども園・障害児通園施設	小学校・中学校・高等学校(普通学級)	小学校・中学校(特別支援学級)	特別支援学校(支援学校、盲・ろう学校)
問4 障害者手帳・問8 難病認定	身体障害者手帳	4	100.0	0	2	0	1
	療育手帳	16	100.0	3	0	4	9
	精神障害者保健福祉手帳	3	100.0	0	1	1	0
	難病	4	100.0	0	4	0	0
				0.0	50.0	0.0	25.0
				18.8	0.0	25.0	56.3
				0.0	33.3	33.3	0.0
				0.0	100.0	0.0	0.0

	上段:度数	問11-2 どのような学校へ通っていますか						
		下段:%	合計	短期大学・4年生大学	専門(専修)学校・各種学校	職業訓練校・職業能力開発校	その他	不明・無回答
問4 障害者手帳・問8 難病認定	身体障害者手帳	4	100.0	0	0	0	0	1
	療育手帳	16	100.0	0	0	0	0	0
	精神障害者保健福祉手帳	3	100.0	0	0	0	0	1
	難病	4	100.0	0	0	0	0	0
				0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
				0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※各手帳所持者および難病認定者のデータは、件数が少ないために表による掲載としています。

問 11-3 学校・園生活を送るうえでの問題点がありますか。(〇はいくつでも)

学校・園生活を送るうえでの問題点についてみたところ、「学習サポート体制が不十分」「福祉教育が不十分」がともに 15.4%と高くなっています。



上段:度数		問11-3 学校・園生活を送るうえでの問題点がありますか						
下段:%	合計	通園・通学手段が大変	学習サポート体制が不十分	学習・学校生活に必要な設備が不十分	園内・校内での介助が不十分	進路指導が不十分でわからない	福祉教育が不十分	
問4 障害者手帳・問8 難病認定	身体障害者手帳	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	療育手帳	16 100.0	2 12.5	3 18.8	0 0.0	2 12.5	2 12.5	3 18.8
	精神障害者保健福祉手帳	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	2 66.7	2 66.7
	難病	2 100.0	-	-	-	-	-	-

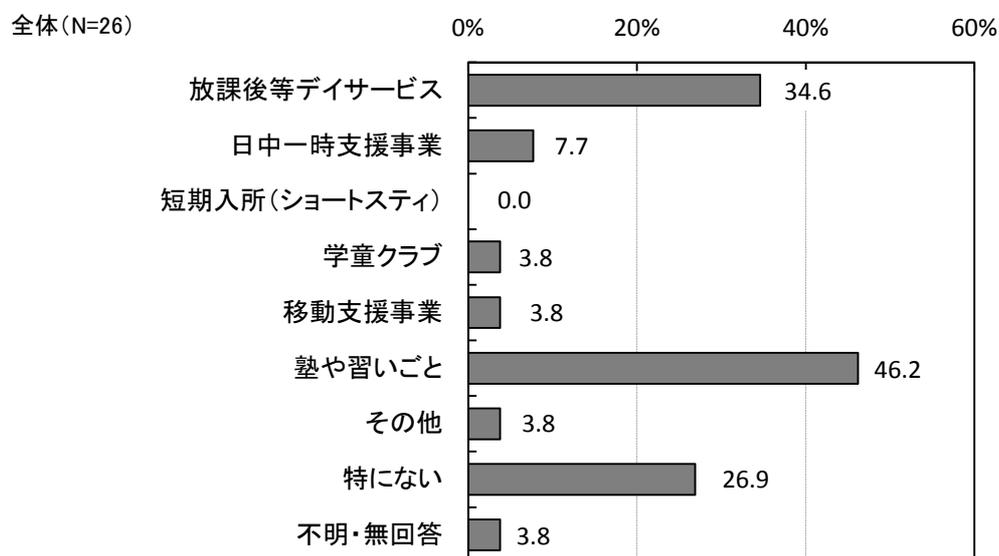
上段:度数		問11-3 学校・園生活を送るうえでの問題点がありますか							
下段:%	合計	友達ができない	教員・職員の理解が得られない	他の児童・生徒やその保護者の理解が得られない	家族の同伴や介助が求められる	特になし	その他・自由意見	不明・無回答	
問4 障害者手帳・問8 難病認定	身体障害者手帳	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0
	療育手帳	16 100.0	3 18.8	2 12.5	2 12.5	0 0.0	6 37.5	1 6.3	1 6.3
	精神障害者保健福祉手帳	3 100.0	1 33.3	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3
	難病	2 100.0	-	-	-	-	2 100.0	-	-

※各手帳所持者および難病認定者のデータは、件数が少ないために表による掲載としています。

問 11-4 あなたが放課後や休みの日に利用しているものはありますか。

(〇はいくつでも)

放課後や休みの日に利用しているものについてみると、「塾や習いごと」が 46.2%と最も高く、次いで「放課後等デイサービス」が 34.6%となっています。



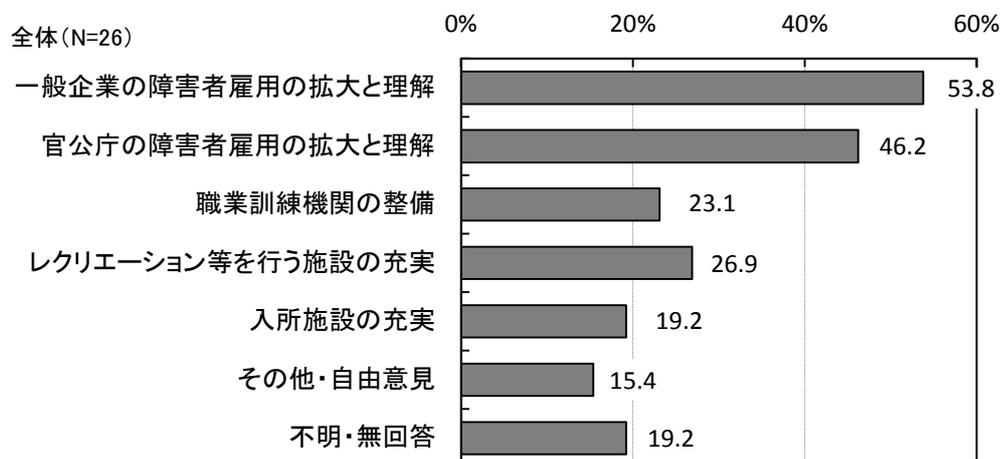
	上段:度数	問11-4 あなたが放課後や休みの日に利用しているものはありますか				
	下段:%	合計	放課後等デイサービス	日中一時支援事業	短期入所(ショートステイ)	学童クラブ
問4 障害者手帳・問8 難病認定	身体障害者手帳	4 100.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0
	療育手帳	16 100.0	9 56.3	1 6.3	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健福祉手帳	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	難病	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

	上段:度数	問11-4 あなたが放課後や休みの日に利用しているものはありますか					
	下段:%	合計	移動支援事業	塾や習いごと	その他	特にない	不明・無回答
問4 障害者手帳・問8 難病認定	身体障害者手帳	4 100.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
	療育手帳	16 100.0	0 0.0	6 37.5	1 6.3	5 31.3	0 0.0
	精神障害者保健福祉手帳	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3
	難病	4 100.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0

※各手帳所持者および難病認定者のデータは、件数が少ないために表による掲載としています。

**問 11-5 学校教育終了後の社会参加に関し、どのような雇用・福祉施策を望みますか。
(〇はいくつでも)**

学校教育終了後の社会参加に関してどのような雇用・福祉施策を望むかについてみると、「一般企業（会社など）の障害者雇用の拡大と理解」が 53.8%と最も高く、次いで「官公庁（市役所など）の障害者雇用の拡大と理解」が 46.2%となっています。



	上段:度数	問11-5 学校教育終了後の社会参加に関し、どのような雇用・福祉施策を望みますか			
	下段:%	合計	一般企業の障害者雇用の拡大と理解	官公庁の障害者雇用の拡大と理解	職業訓練機関の整備
問4 障害者手帳・問8 難病認定	身体障害者手帳	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0
	療育手帳	16 100.0	9 56.3	8 50.0	6 37.5
	精神障害者保健福祉手帳	3 100.0	2 66.7	2 66.7	0 0.0
	難病	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0

	上段:度数	問11-5 学校教育終了後の社会参加に関し、どのような雇用・福祉施策を望みますか				
	下段:%	合計	レクリエーション等を行う施設の充実	入所施設の充実	その他・自由意見	不明・無回答
問4 障害者手帳・問8 難病認定	身体障害者手帳	4 100.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0
	療育手帳	16 100.0	7 43.8	4 25.0	2 12.5	2 12.5
	精神障害者保健福祉手帳	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3
	難病	4 100.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0

※各手帳所持者および難病認定者のデータは、件数が少ないために表による掲載としています。

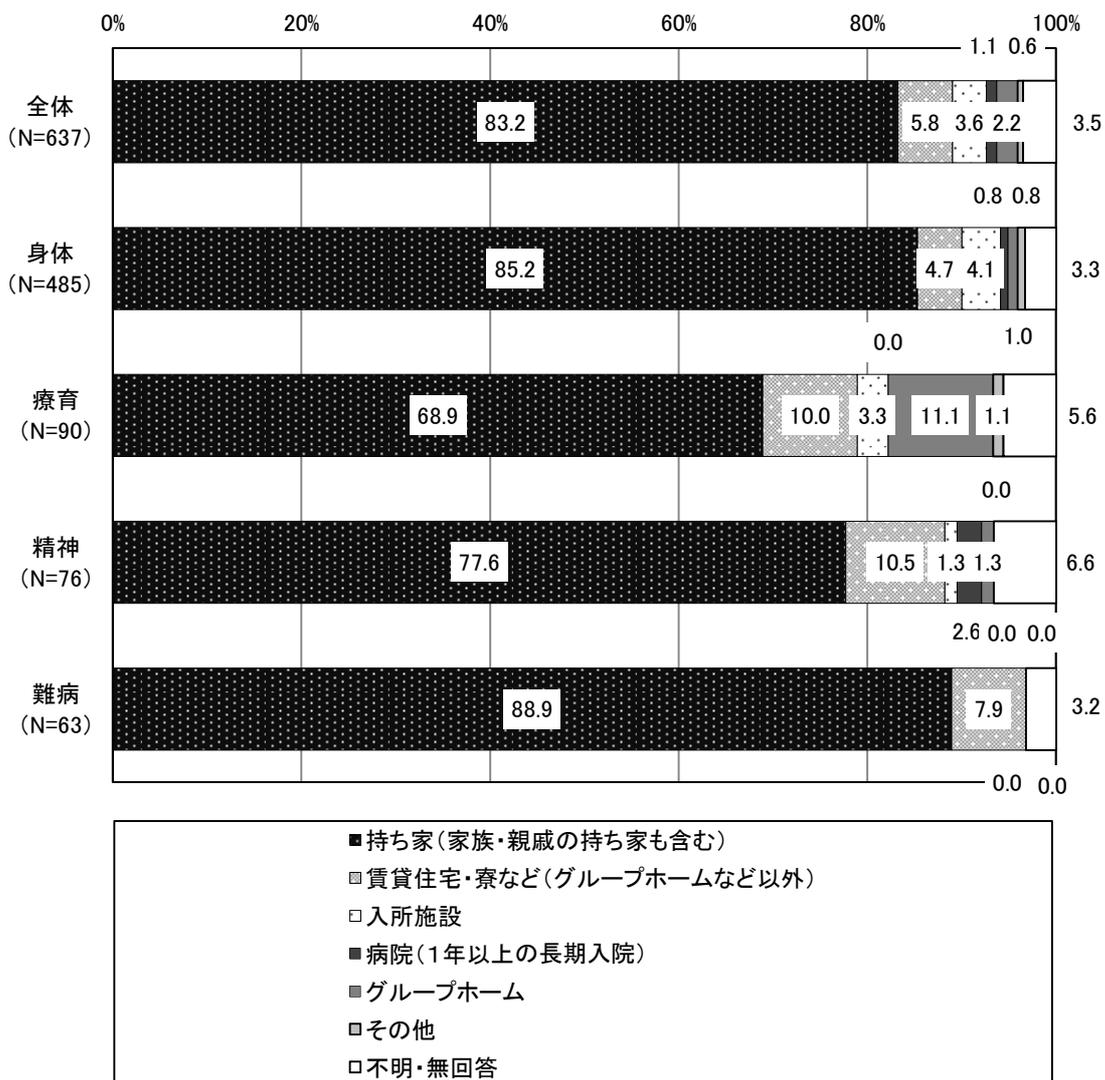
2-2 生活支援について

問 12 あなたはどこで暮らしていますか。(1つに○)

どこで暮らしているかについてみると、全体では「持ち家」が83.2%と最も高く、次いで「賃貸住宅・寮など」が5.8%となっています。

障害者手帳および難病認定別でみると、いずれも「持ち家」が最も高く、身体では85.2%、療育では68.9%、精神では77.6%、難病では88.9%となっています。

次いで、「賃貸住宅・寮など」が、身体では4.7%、精神では10.5%、難病では7.9%となっています。療育では「グループホーム」が11.1%となっています。

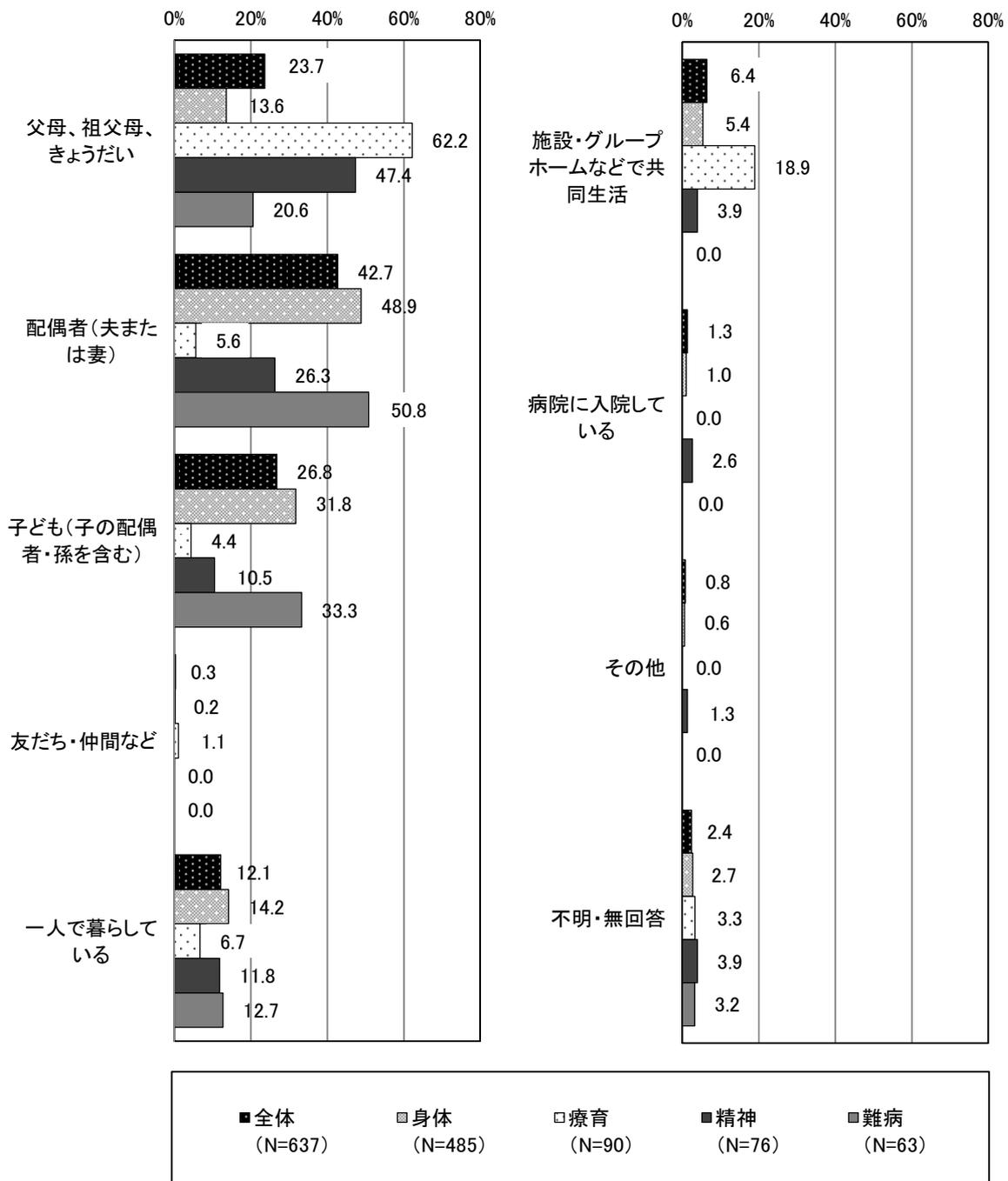


問 13 あなたと一緒に暮らしている人は、どなたですか。(〇はいくつでも)

一緒に暮らしている人についてみると、全体では「配偶者」が42.7%と最も高く、次いで「子ども」が26.8%となっています。

障害者手帳および難病認定別でみると、身体・難病では「配偶者」が最も高く、身体では48.9%、難病では50.8%となっています。療育・精神では「父母、祖父母、きょうだい」が最も高く、療育では62.2%、精神では47.4%となっています。

次いで、身体および難病では「子ども」が31.8%、療育では「施設・グループホームなどで共同生活」が18.9%、精神では、「配偶者」が26.3%となっています。

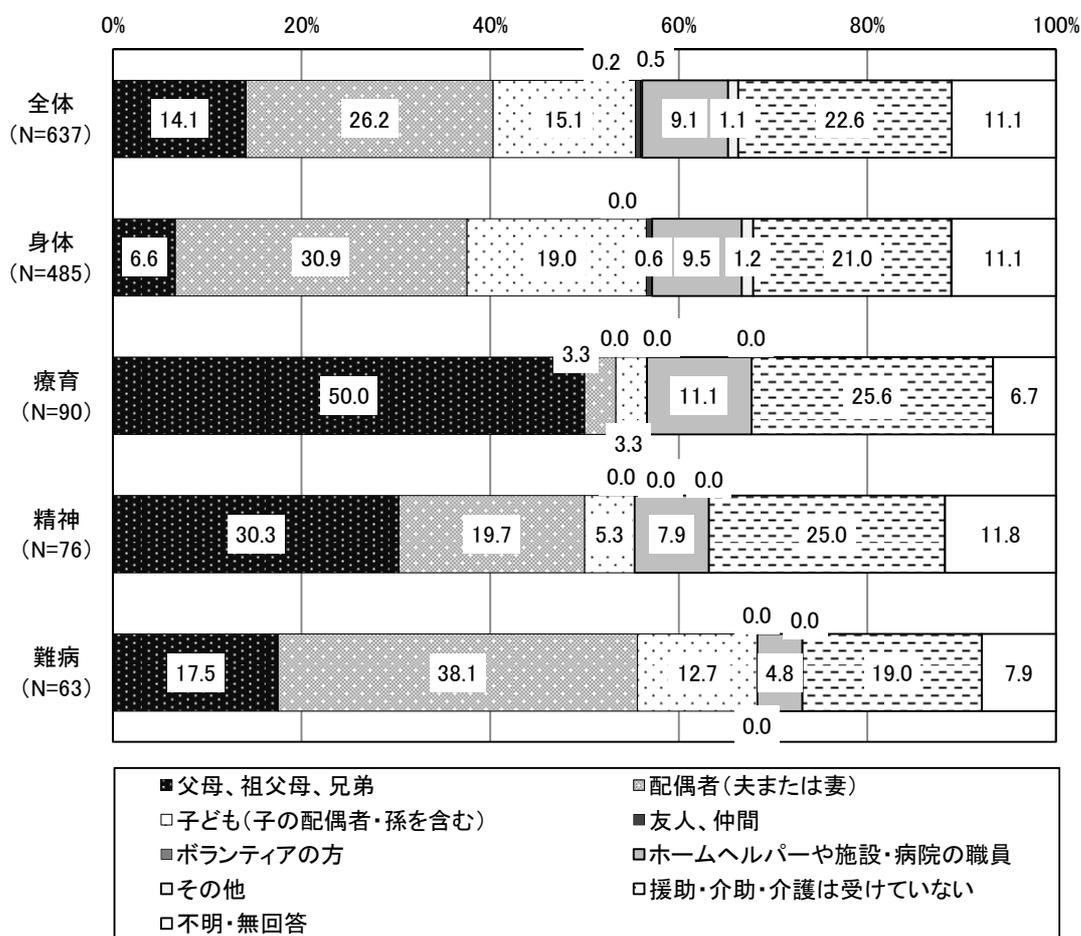


問 14 日頃、日常生活に支援が必要な場合、あなたを主に介護しているのは、どなたですか。(1つに○)

日常生活で主に支援している人についてみると、全体では「配偶者」が26.2%と最も高く、次いで「子ども」が15.1%となっています。

障害者手帳および難病認定別でみると、身体・難病では「配偶者」が最も高く、身体では30.9%、難病では38.1%となっています。療育・精神では「父母、祖父母、兄弟」が最も高く、療育では50.0%、精神では30.3%となっています。

次いで、身体では「子ども」が19.0%、療育では「ホームヘルパーや施設・病院の職員」が11.1%、精神では「配偶者」が19.7%、難病では「父母、祖父母、兄弟」が17.5%となっています。



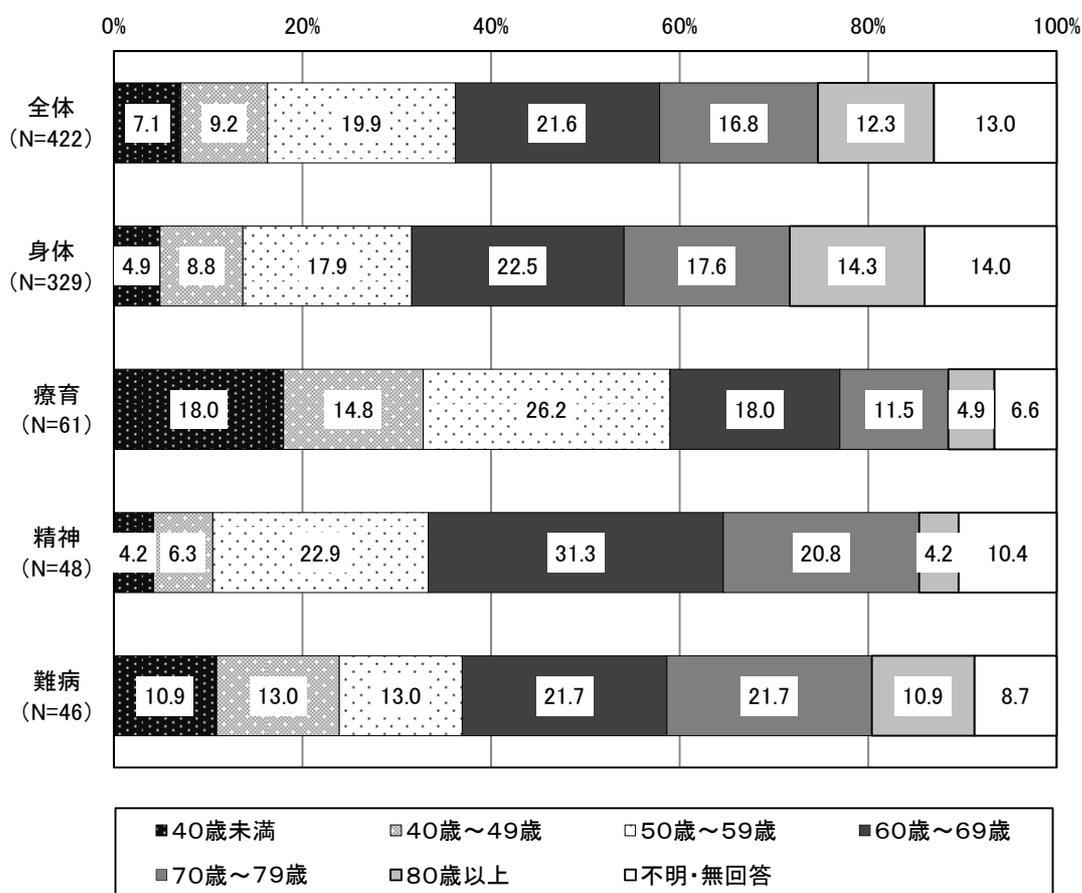
問 15 主に支援（援助・介助・介護）をしている方の年齢はいくつですか。（1つに○）

主に支援をしている方の年齢についてみると、全体では「60～69歳」が21.6%と最も高く、次いで「50～59歳」が19.9%となっています。

障害者手帳および難病認定別でみると、身体・精神では「60～69歳」が最も高く、身体では22.5%、精神では31.3%となっています。次いで「50～59歳」が身体では17.9%、精神では22.9%となっています。

療育では「50～59歳」が26.2%と最も高く、次いで「40歳未満」と「60～69歳」がともに18.0%となっています。

難病では「60～69歳」および「70～79歳」がともに21.7%と最も高く、次いで「40～49歳」および「50～59歳」がともに13.0%となっています。

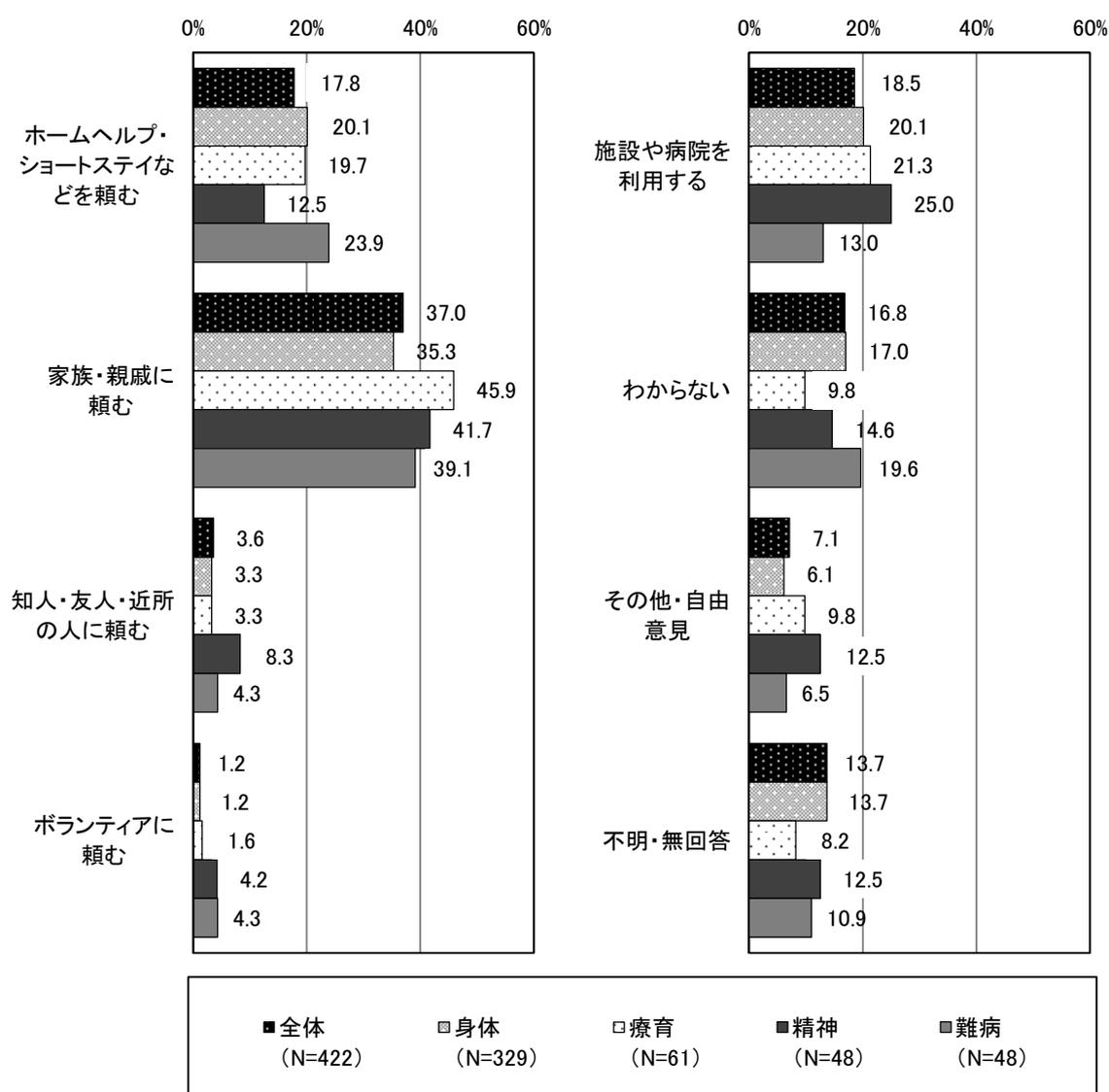


問 16 あなたの介助者が、一時的にあなたの介助ができなくなった場合、どのようにしていますか。(〇はいくつでも)

主な介助者が一時的に介助できなくなった場合の対処についてみると、全体では「家族・親戚に頼む」が37.0%と最も高く、次いで「施設や病院を利用する」が18.5%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「家族・親戚に頼む」が最も高く、身体では35.3%、療育では45.9%、精神では41.7%、難病では39.1%となっています。

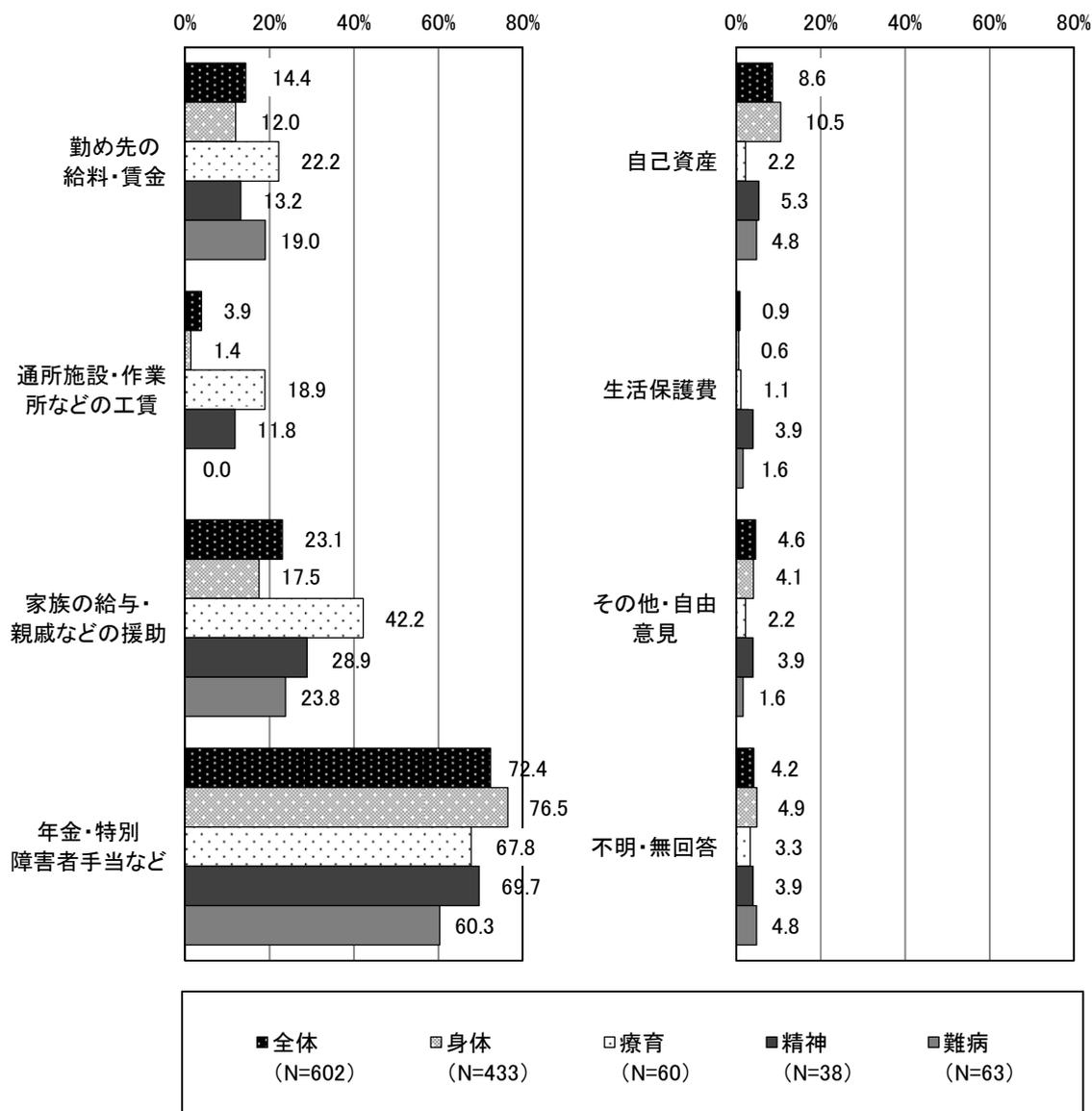
次いで、「施設や病院を利用する」が身体では20.1%、療育では21.3%、精神では25.0%となっています。また、難病では「ホームヘルプ・ショートステイなどを頼む」が23.9%となっています。



問 17 あなたの生活を支えている主な収入は何ですか。(〇はいくつでも)

主な収入についてみると、全体では「年金・特別障害者手当など」が72.4%と最も高く、次いで「家族の給与・親戚などの援助」が23.1%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「年金・特別障害者手当など」が最も高く、身体では76.5%、療育では67.8%、精神では69.7%、難病では60.9%となっています。次いで、「家族の給与・親戚などの援助」が身体で17.5%、療育で42.2%、精神で28.9%、難病で23.8%となっています。



問 18 あなたはどんなとき、どなたの手助けが必要ですか。

(1) 手助けが必要と思うのは、どのようなときですか。(①～⑪それぞれで1つに○)

※(1)で「2」か「3」に○をつけた方

(2) 手助けをお願いするのはどなたですか。(○はいくつでも)

①食事をするとき

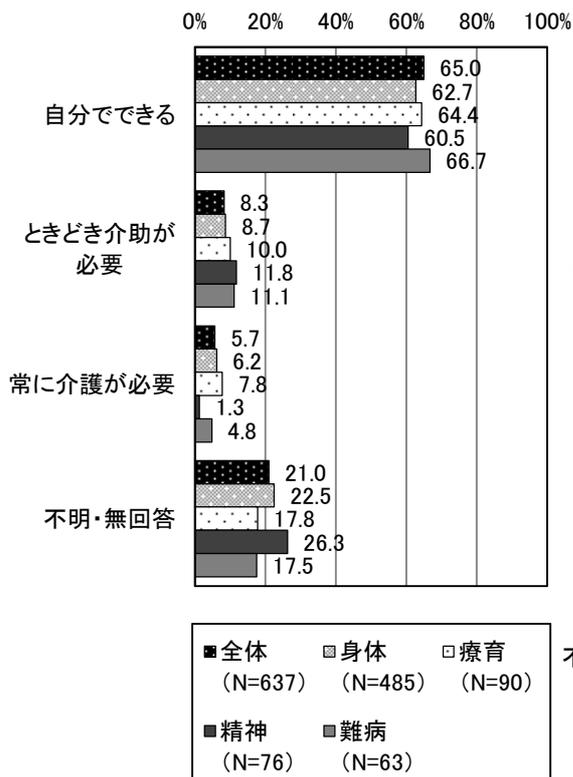
食事をするとき手助けが必要かについてみると、全体では「自分でできる」が65.0%と最も高く、次いで「ときどき介助が必要」が8.3%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「自分でできる」が最も高く、身体では62.7%、療育では64.4%、精神では60.5%、難病では66.7%となっています。

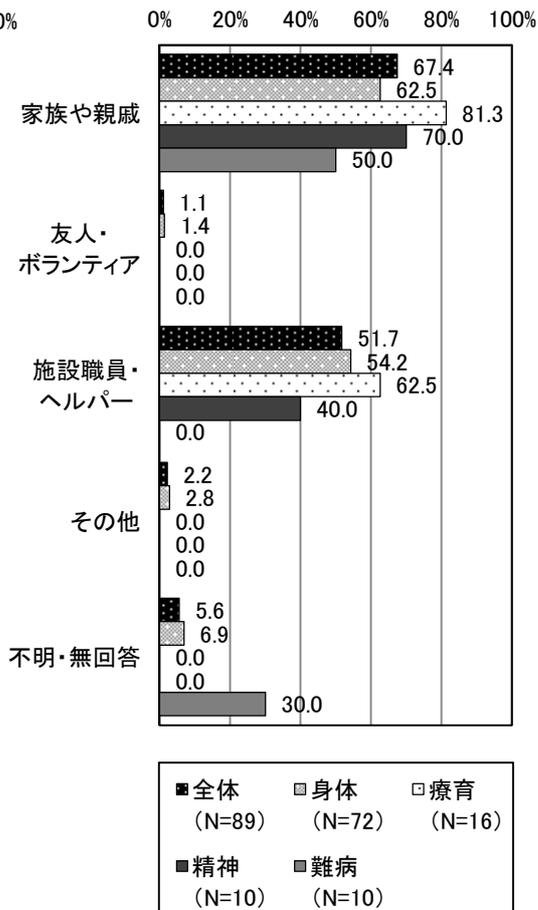
介助が必要な場合、手助けをする人についてみると、全体では「家族や親戚」が67.4%と最も高く、次いで「施設職員・ヘルパー」が51.7%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「家族や親戚」が最も高く、身体では62.5%、療育では81.3%、精神では70.0%、難病では50.0%となっています。

(1) 手助けについて



(2) 手助けをする人



②薬を飲んだり保管するとき

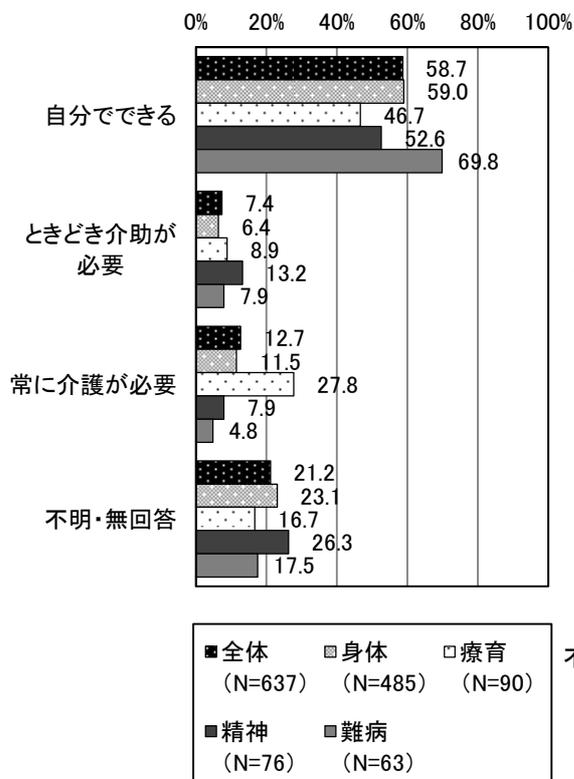
薬を飲んだり保管するときに手助けが必要かについてみると、全体では「自分でできる」が58.7%と最も高く、次いで「常に介護が必要」が12.7%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「自分でできる」が最も高く、身体では59.0%、療育では46.7%、精神では52.6%、難病では69.8%となっています。

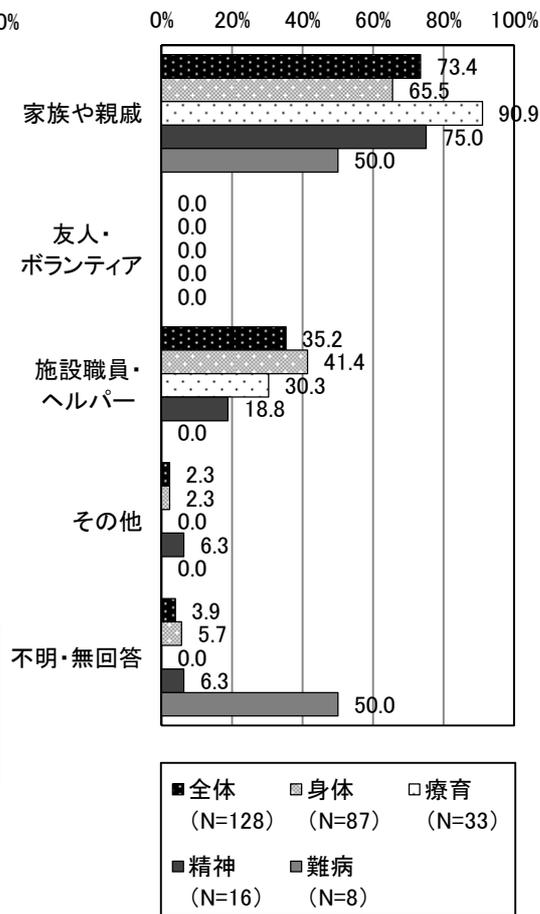
介助が必要な場合、手助けをする人についてみると、全体では「家族や親戚」が73.4%と最も高く、次いで「施設職員・ヘルパー」が35.2%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「家族や親戚」が最も高く、身体では65.5%、療育では90.9%、精神では75.0%、難病では50.0%となっています。

(1) 手助けについて



(2) 手助けをする人



③トイレを利用するとき

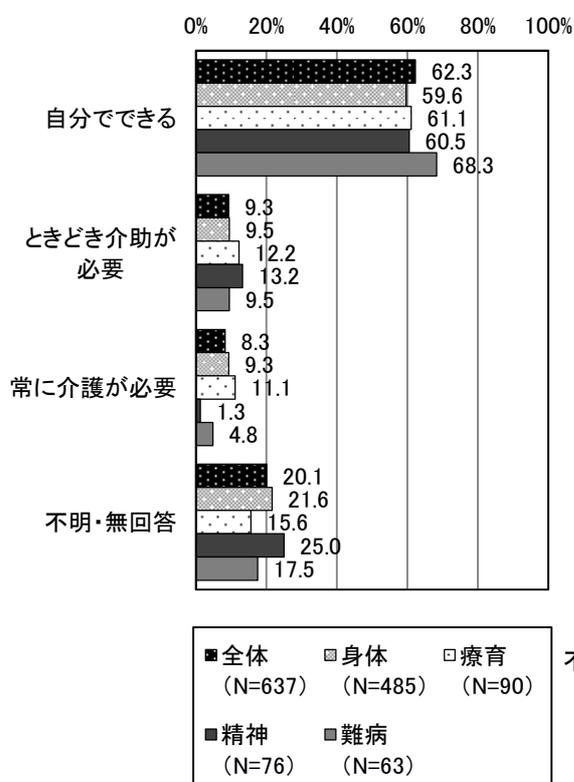
トイレを利用するとき手助けが必要かについてみると、全体では「自分でできる」が62.3%と最も高く、次いで「ときどき介助が必要」が9.3%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「自分でできる」が最も高く、身体では59.6%、療育では61.1%、精神では60.5%、難病では68.3%となっています。

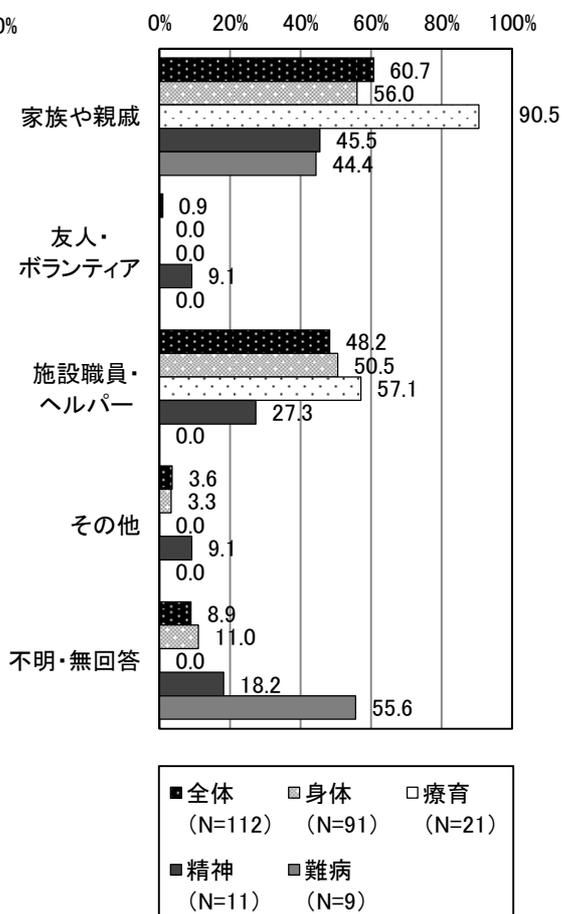
介助が必要な場合、手助けをする人についてみると、全体では「家族や親戚」が60.7%と最も高く、次いで「施設職員・ヘルパー」が48.2%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「家族や親戚」が最も高く、身体では56.0%、療育では90.5%、精神では45.5%、難病では44.4%となっています。また、身体・療育では「施設職員・ヘルパー」の割合が5割を超えています。

(1) 手助けについて



(2) 手助けをする人



④着替えをするとき

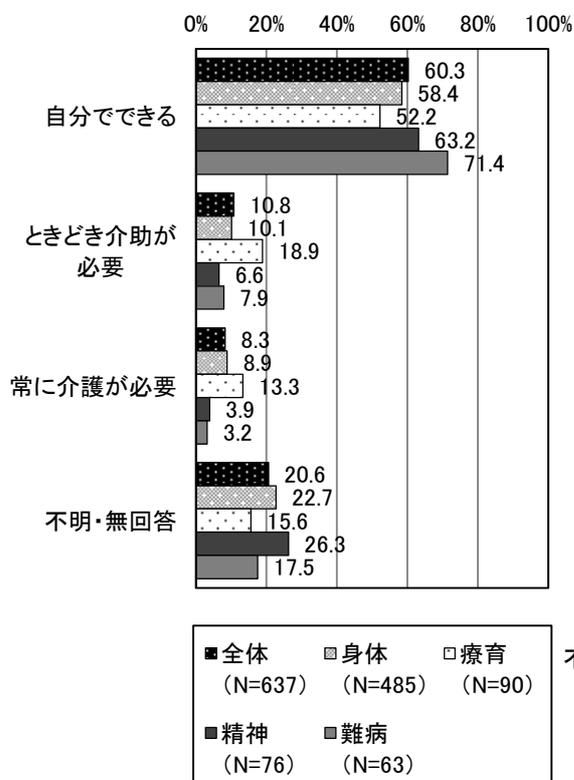
着替えをするときに手助けが必要かについてみると、全体では「自分でできる」が60.3%と最も高く、次いで「ときどき介助が必要」が10.8%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「自分でできる」が最も高く、身体では58.4%、療育では52.2%、精神では63.2%、難病では71.4%となっています。

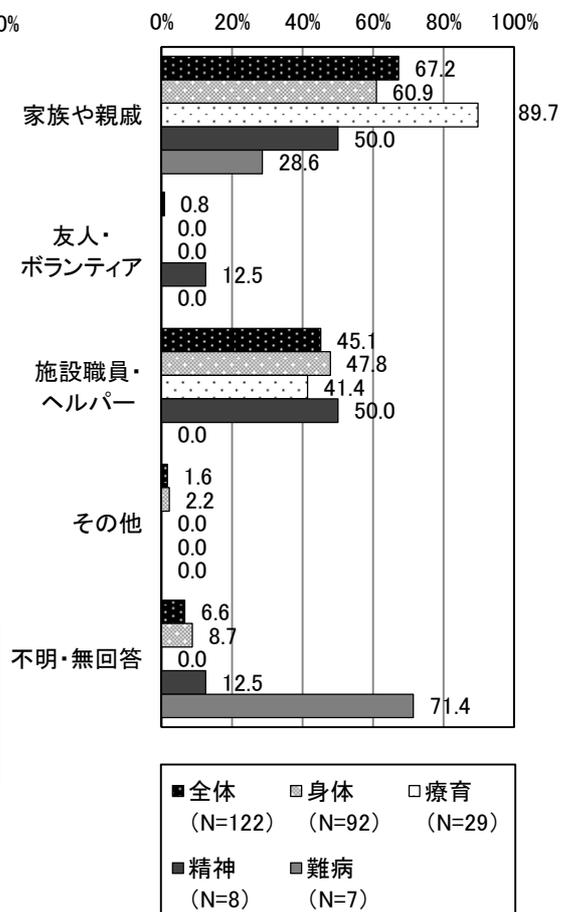
介助が必要な場合、手助けをする人についてみると、全体では「家族や親戚」が67.2%と最も高く、次いで「施設職員・ヘルパー」が45.1%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「家族や親戚」が最も高く、身体では60.9%、療育では89.7%、難病では28.6%となっています。精神では「家族や親戚」「施設職員・ヘルパー」がともに50.0%となっています。

(1) 手助けについて



(2) 手助けをする人



⑤料理・掃除・洗濯をするとき

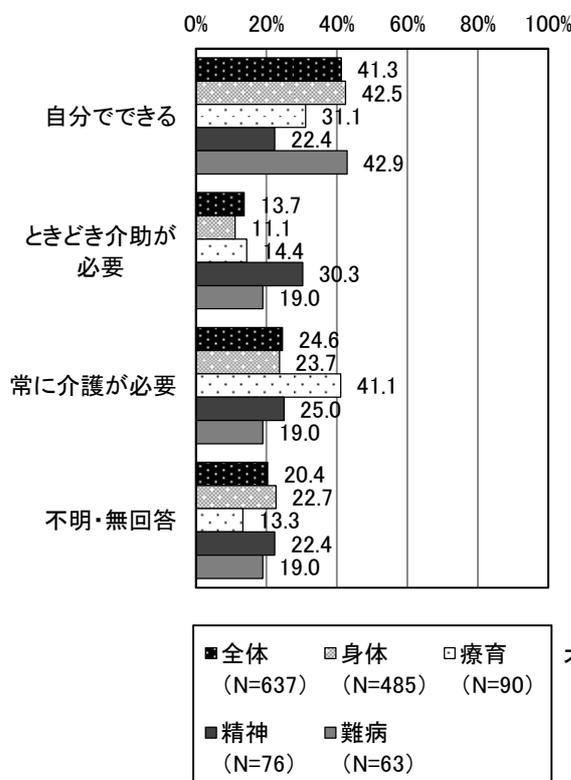
料理・掃除・洗濯をするときに手助けが必要かについてみると、全体では「自分でできる」が41.3%と最も高く、次いで「常に介護が必要」が24.6%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体・難病では「自分でできる」が最も高く、それぞれ42.5%、42.9%となっています。療育では「常に介護が必要」が41.1%と最も高く、精神では「ときどき介助が必要」が30.3%と最も高くなっています。

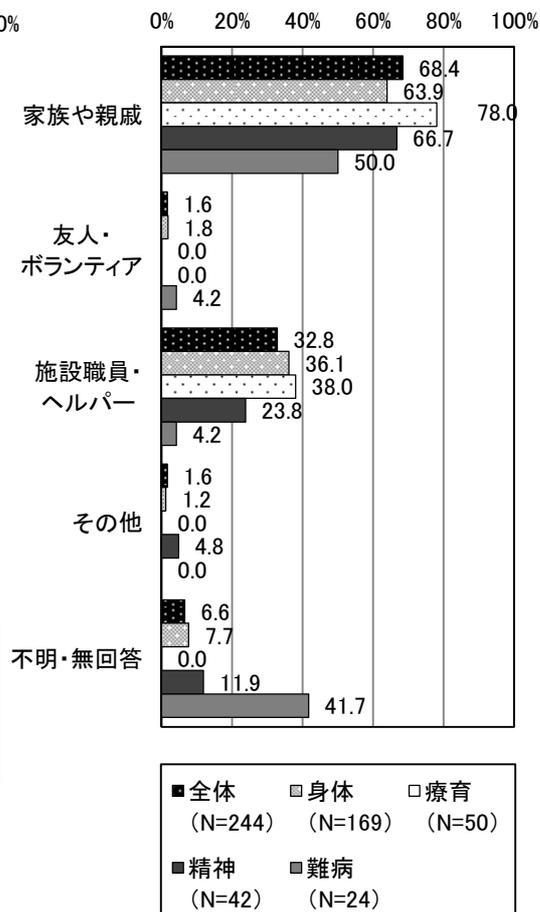
介助が必要な場合、手助けをする人についてみると、全体では「家族や親戚」が68.4%と最も高く、次いで「施設職員・ヘルパー」が32.8%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「家族や親戚」が最も高く、身体では63.9%、療育では78.0%、精神では66.7%、難病では50.0%となっています。

(1) 手助けについて



(2) 手助けをする人



⑥外出するとき

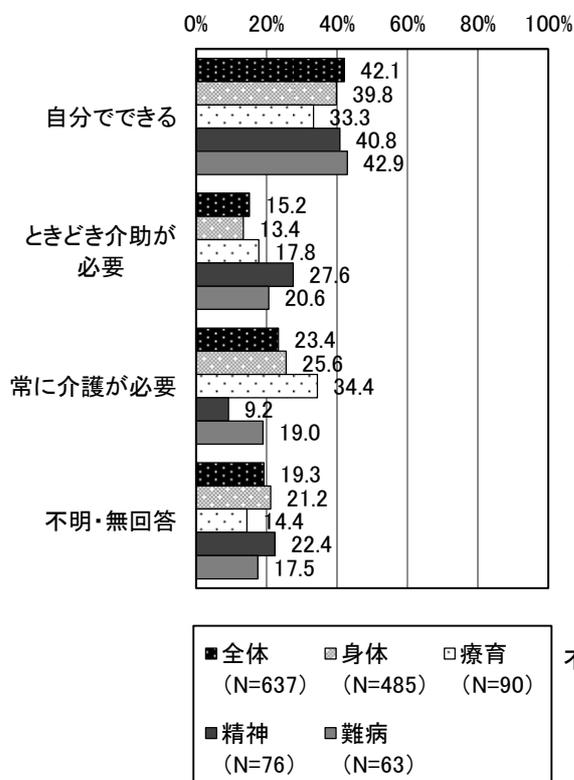
外出するときの手助けが必要かについてみると、全体では「自分でできる」が42.1%と最も高く、次いで「常に介護が必要」が23.4%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体・精神・難病では「自分でできる」が最も高く、身体では39.8%、精神では40.8%、難病では42.9%となっています。療育では「常に介護が必要」が34.4%と最も高くなっていますが、「自分でできる」も3割を超えて高くなっています。

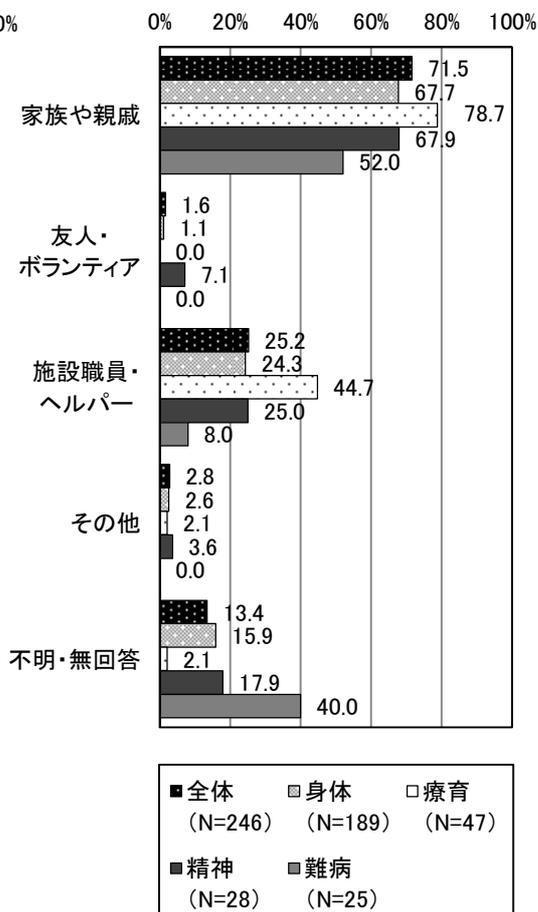
介助が必要な場合、手助けをする人についてみると、全体では「家族や親戚」が71.5%と最も高く、次いで「施設職員・ヘルパー」が25.2%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「家族や親戚」が最も高く、身体では67.7%、療育では78.7%、精神では67.9%、難病では52.0%となっています。

(1) 手助けについて



(2) 手助けをする人



⑦お金を管理するとき

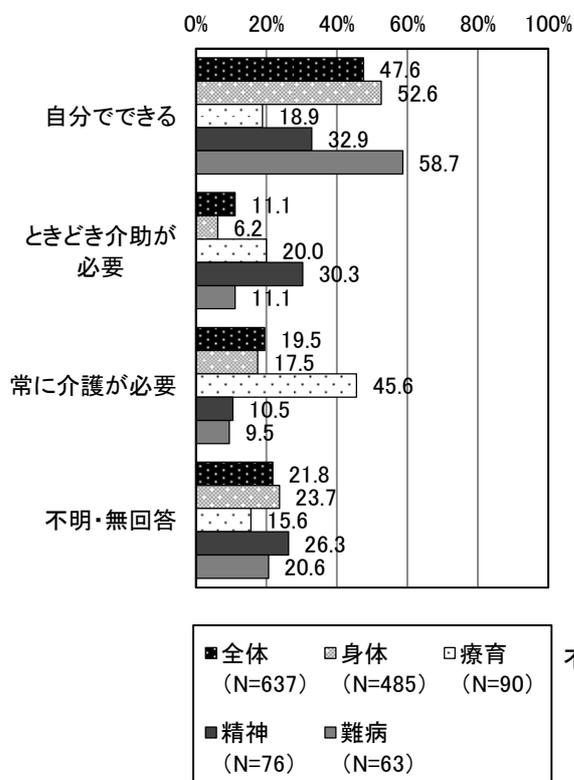
お金を管理するときの手助けが必要かについてみると、全体では「自分でできる」が47.6%と最も高く、次いで「常に介護が必要」が19.5%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体・精神・難病では「自分でできる」が最も高く、身体では52.6%、精神では32.9%、難病では58.7%となっています。療育では「常に介護が必要」が45.6%と最も高くなっています。

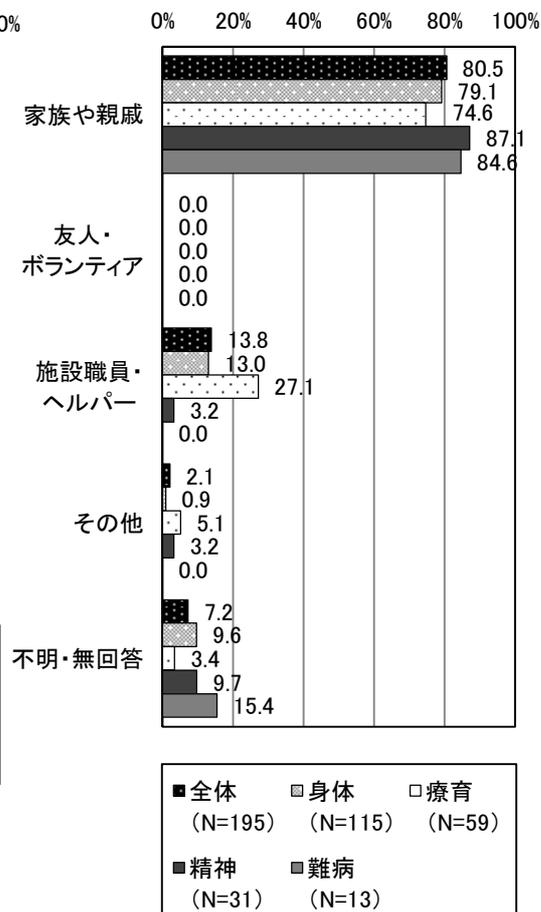
介助が必要な場合、手助けをする人についてみると、全体では「家族や親戚」が80.5%と最も高く、次いで「施設職員・ヘルパー」が13.8%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「家族や親戚」が最も高く、身体では79.1%、療育では74.6%、精神では87.1%、難病では84.6%となっています。

(1) 手助けについて



(2) 手助けをする人



⑧自分の考えを伝えたいとき

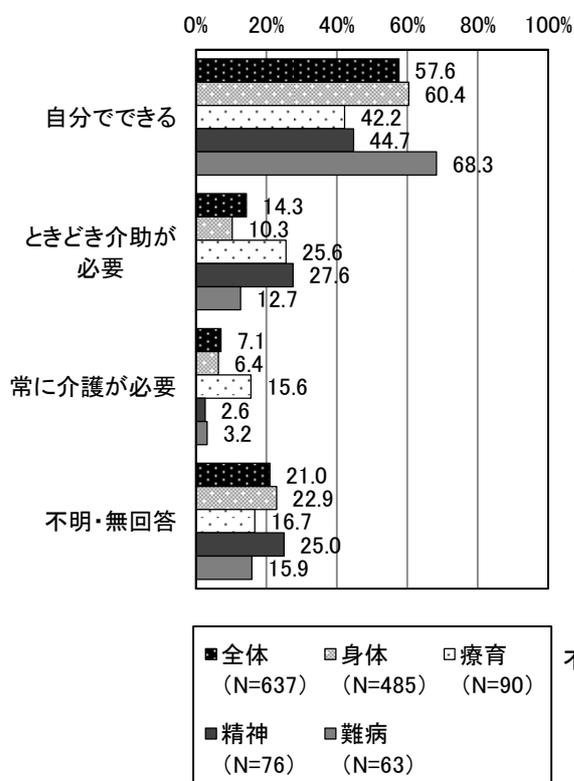
自分の考えを伝えたいときに手助けが必要かについてみると、全体では「自分でできる」が57.6%と最も高く、次いで「ときどき介助が必要」が14.3%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「自分でできる」が最も高く、身体では60.4%、療育では42.2%、精神では44.7%、難病では68.3%となっています。

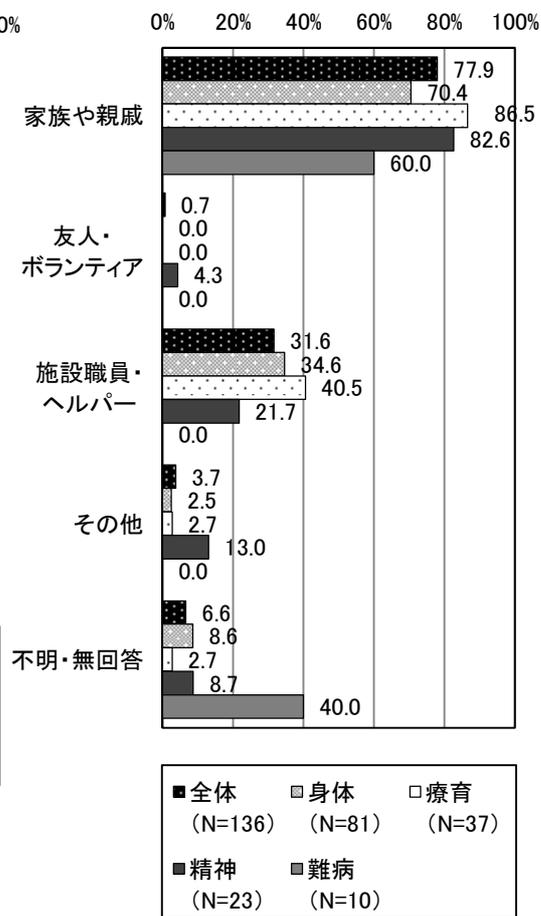
介助が必要な場合、手助けをする人についてみると、全体では「家族や親戚」が77.9%と最も高く、次いで「施設職員・ヘルパー」が31.6%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「家族や親戚」が最も高く、身体では70.4%、療育では86.5%、精神では60.0%、難病では82.6%となっています。

(1) 手助けについて



(2) 手助けをする人



⑨日常生活に必要な事務手続き

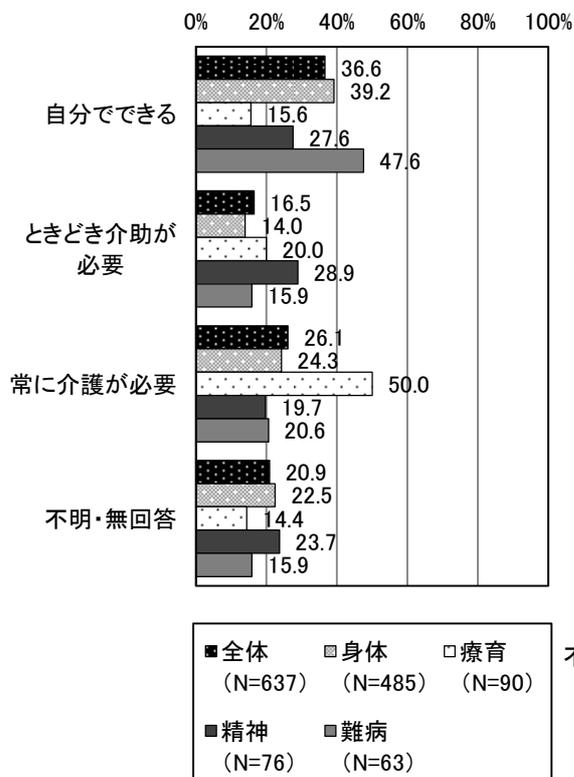
日常生活に必要な事務手続きに手助けが必要かについてみると、全体では「自分でできる」が36.6%と最も高く、次いで「常に介護が必要」が26.1%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体・難病では「自分でできる」が最も高く、それぞれ39.2%、47.6%となっています。療育では「常に介護が必要」が50.0%と最も高く、精神では「ときどき介助が必要」が28.9%と最も高くなっているものの、「自分でできる」も27.6%と、3割弱を占めています。

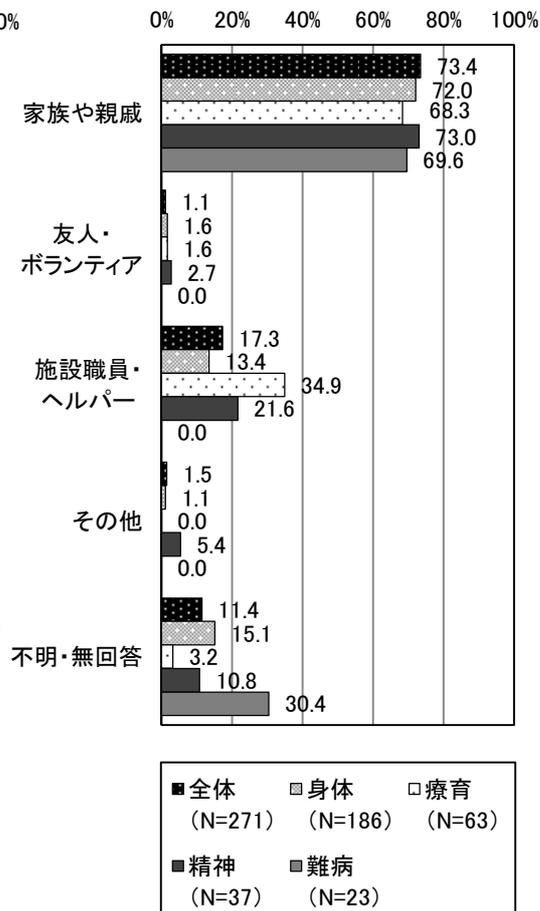
介助が必要な場合、手助けをする人についてみると、全体では「家族や親戚」が73.4%と最も高く、次いで「施設職員・ヘルパー」が17.3%となっています。

障害者手帳種別にみると、いずれも「家族や親戚」が最も高く、身体では72.0%、療育では68.3%、精神では73.0%、難病では69.6%となっています。

(1) 手助けについて



(2) 手助けをする人



⑩緊急時に避難・連絡したいとき

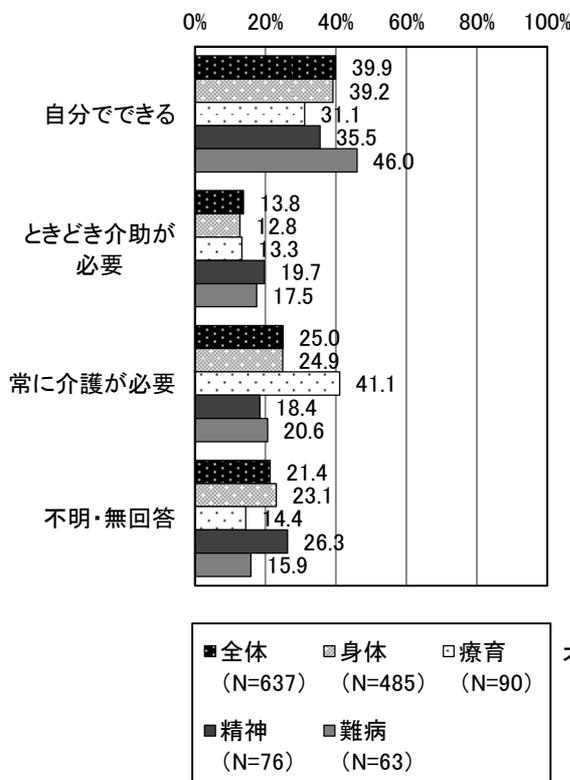
緊急時に避難・連絡したいときに手助けが必要かについてみると、全体では「自分でできる」が39.9%と最も高く、次いで「常に介護が必要」が25.0%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体・精神・難病では「自分でできる」が最も高く、身体では39.2%、精神では35.5%、難病では46.0%となっています。療育では「常に介護が必要」が41.1%と最も高くなっています。

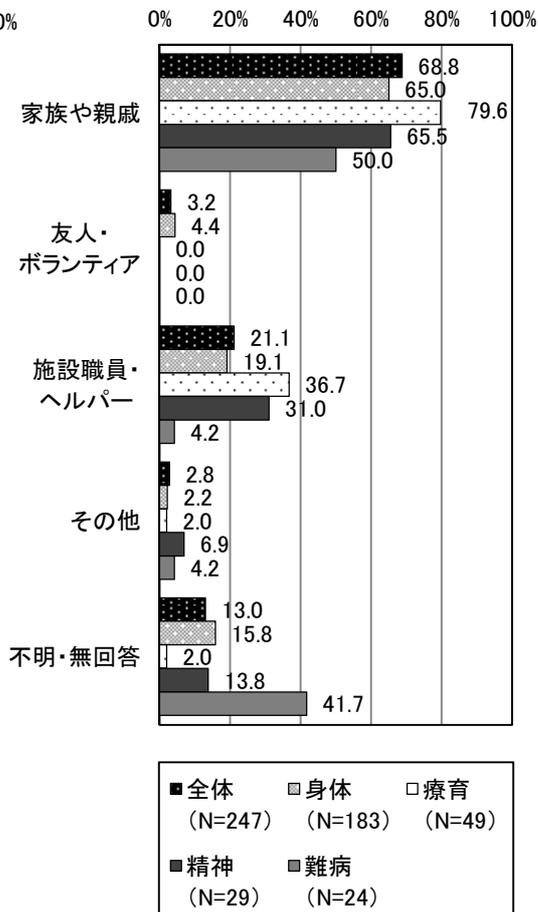
介助が必要な場合、手助けをする人についてみると、全体では「家族や親戚」が68.8%と最も高く、次いで「施設職員・ヘルパー」が21.1%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「家族や親戚」が最も高く、身体では65.0%、療育では79.6%、精神では65.5%、難病では50.0%となっています。

(1) 手助けについて



(2) 手助けをする人



⑪入浴するとき

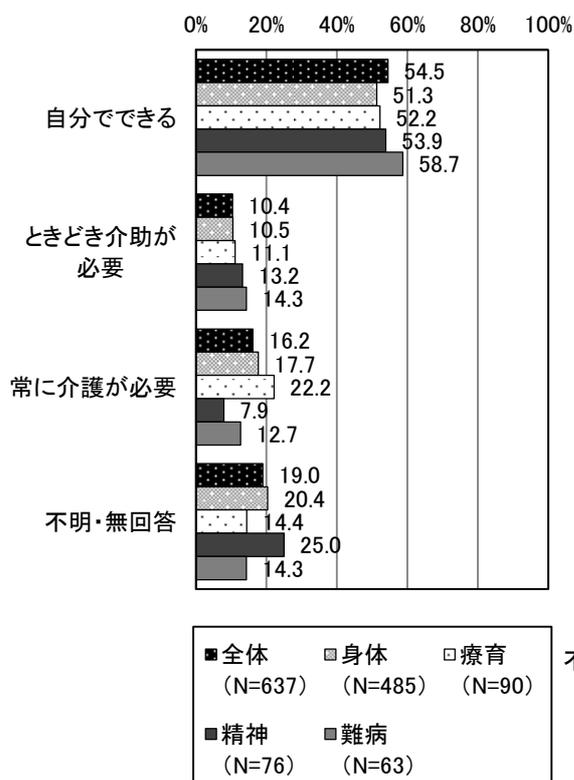
入浴するときに手助けが必要かについてみると、全体では「自分でできる」が54.5%と最も高く、次いで「常に介護が必要」が16.2%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「自分でできる」が最も高く、身体では51.3%、療育では52.2%、精神では53.9%、難病では58.7%となっています。

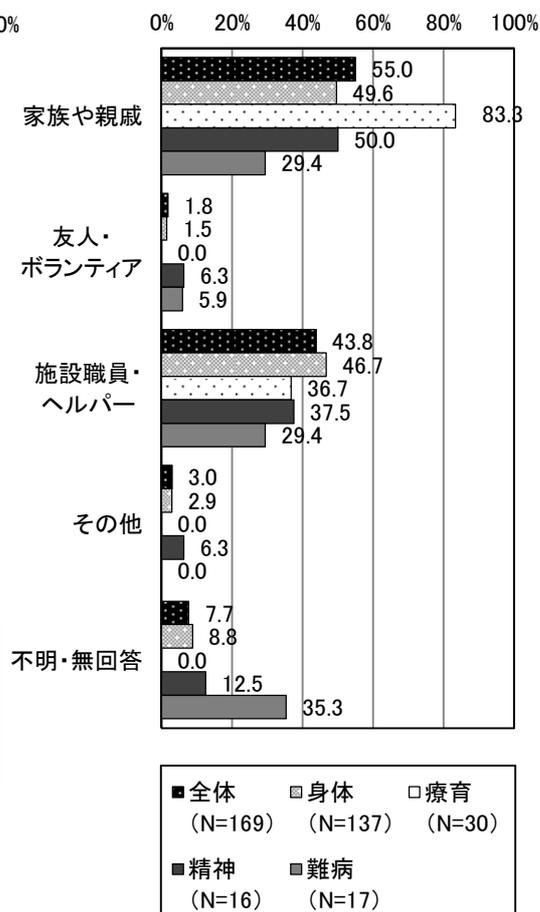
介助が必要な場合、手助けをする人についてみると、全体では「家族や親戚」が55.0%と最も高く、次いで「施設職員・ヘルパー」が43.8%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体・療育・精神において「家族や親戚」が最も高く、身体では49.6%、療育では83.3%、精神では50.0%となっています。また、身体では「施設職員・ヘルパー」も4割を超えて高くなっています。難病では「家族や親戚」および「施設職員・ヘルパー」が最も高く、それぞれ29.4%となっています。

(1) 手助けについて



(2) 手助けをする人

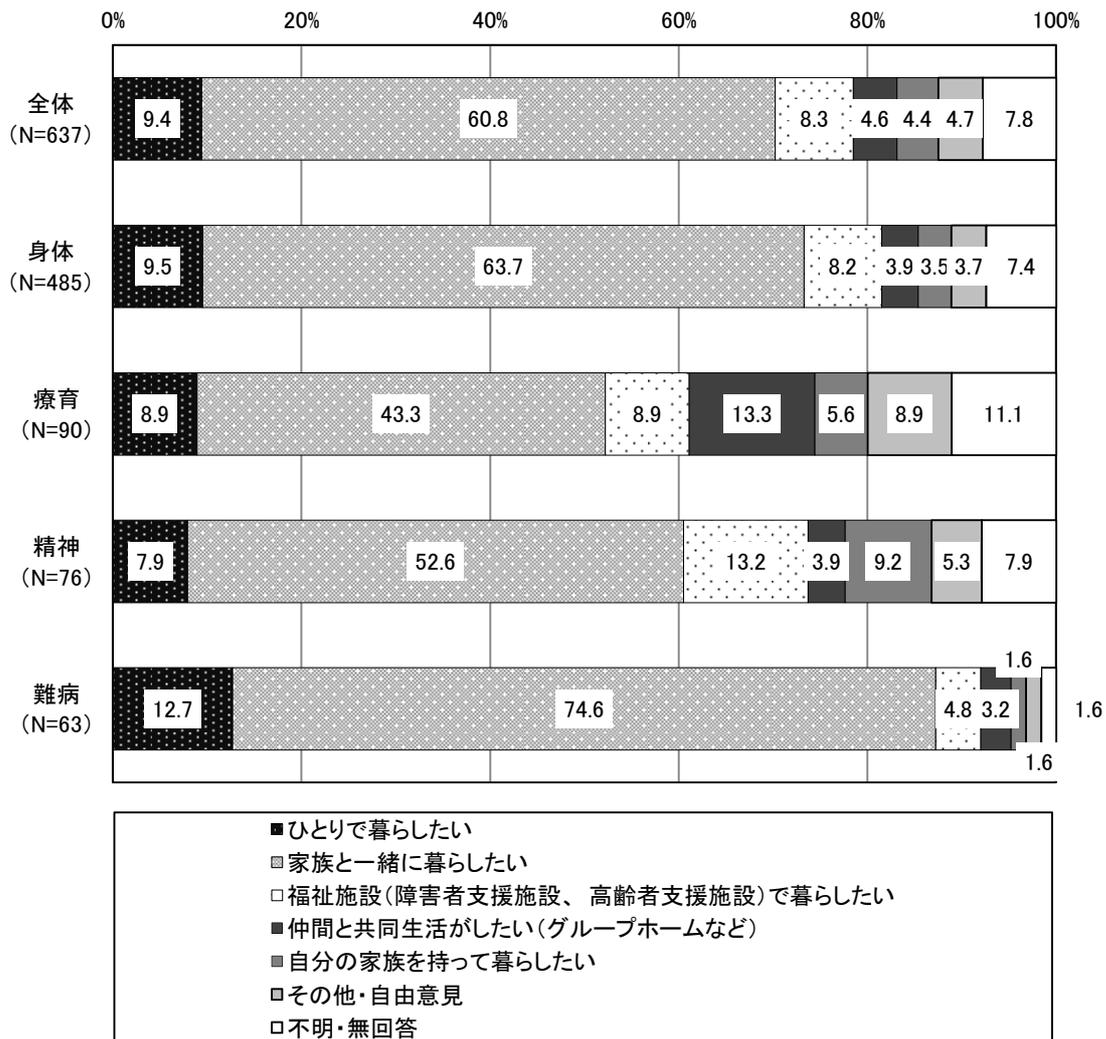


問 19 あなたは今後、どのように暮らしたいですか。(1つに○)

今後どのように暮らしたいかについてみると、全体では「家族と一緒に暮らしたい」が60.8%と最も高く、次いで「ひとりで暮らしたい」が9.4%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「家族と一緒に暮らしたい」が最も高く、身体では63.7%、療育では43.3%、精神では52.6%、難病では74.6%となっています。

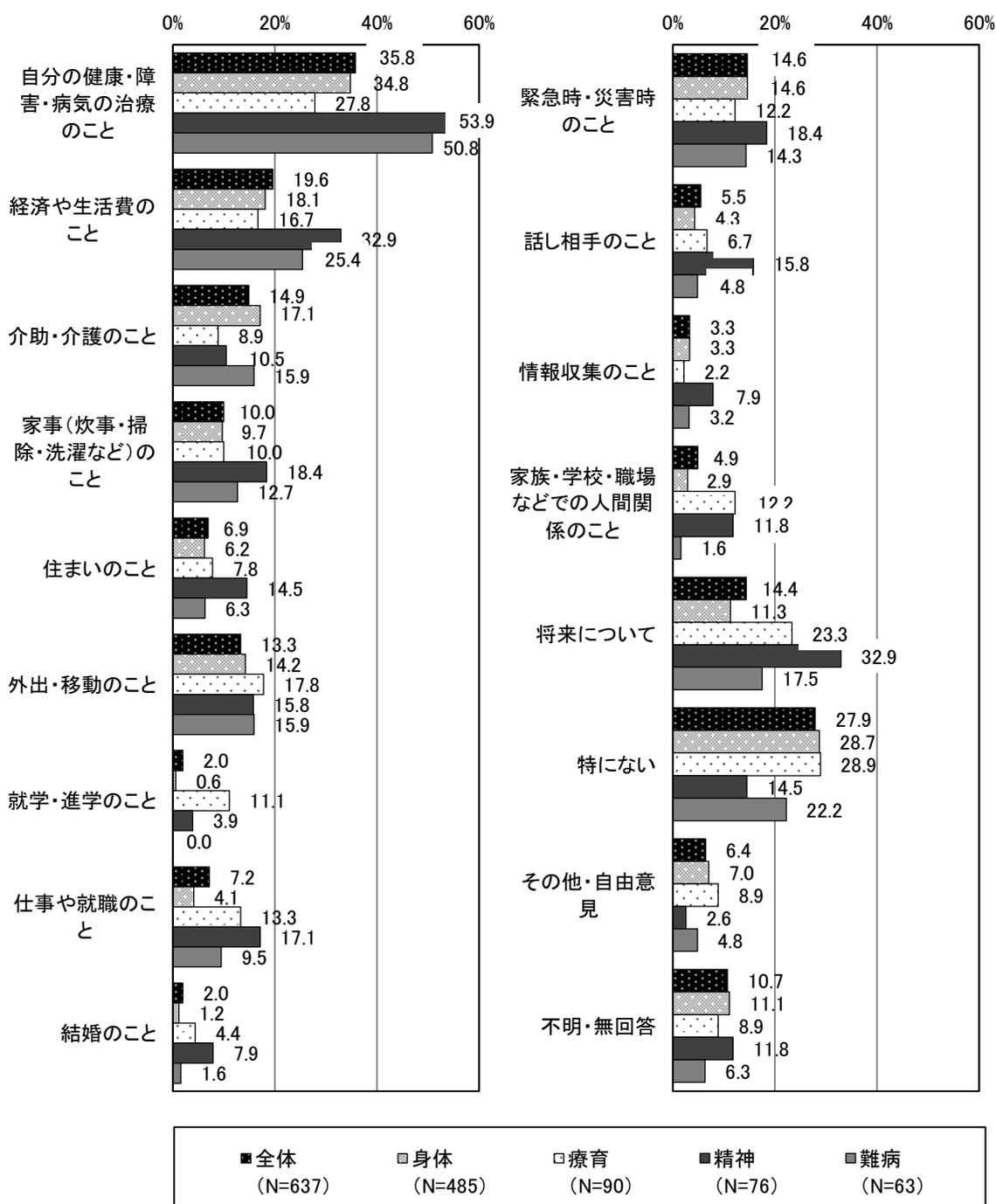
次いで、身体・難病では「ひとりで暮らしたい」がそれぞれ9.5%、12.7%、療育では「仲間と共同生活がしたい」が13.3%、精神では「福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしたい」が13.2%となっています。



問 20 現在、あなたは、悩んでいることや、誰かに相談したいことがありますか。
(〇はいくつでも)

現在悩んでいることや相談したいことについてみると、全体では「自分の健康・障害・病気の治療のこと」が35.8%と最も高く、次いで「経済や生活費のこと」が19.6%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「自分の健康・障害・病気の治療のこと」が最も高く、身体では34.8%、療育では27.8%、精神では53.9%、難病では50.8%となっています。次いで、身体・難病では「経済や生活費のこと」がそれぞれ18.1%、25.4%、療育では「将来について」が23.3%となっています。精神では「経済や生活費のこと」「将来について」がともに32.9%となっています。

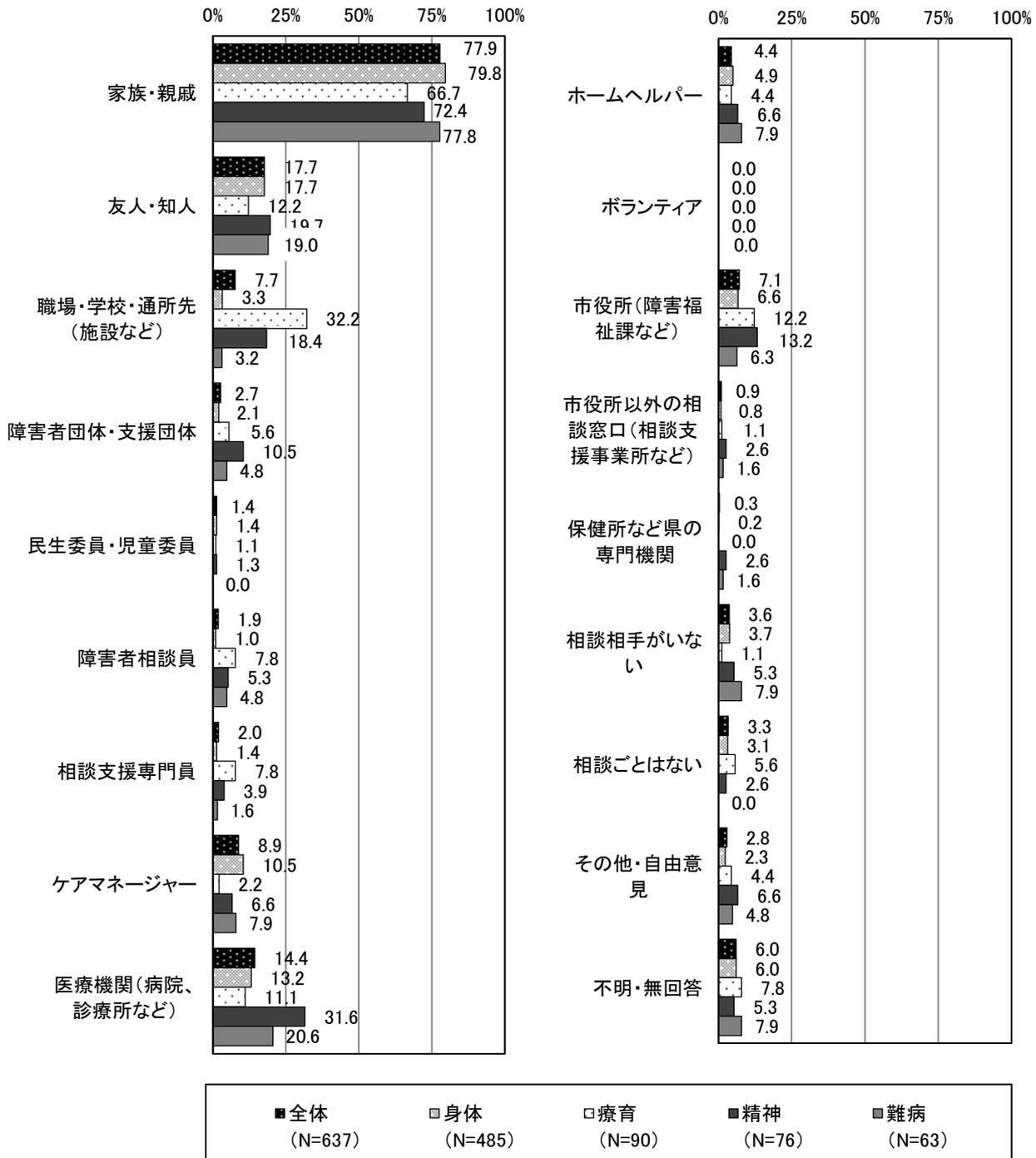


問 21 あなたが主に相談する人は、どなたですか。(〇はいくつでも)

主な相談相手についてみると、全体では「家族・親戚」が77.9%と最も高く、次いで「友人・知人」が17.7%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「家族・親戚」が最も高く、身体では79.8%、療育では66.7%、精神では72.4%、難病では77.8%となっています。

次いで、身体では「友人・知人」が17.7%、療育では「職場・学校・通所先（施設など）」が32.2%、精神・難病では「医療機関（病院、診療所など）」が精神で31.6%、難病で20.6%となっています。

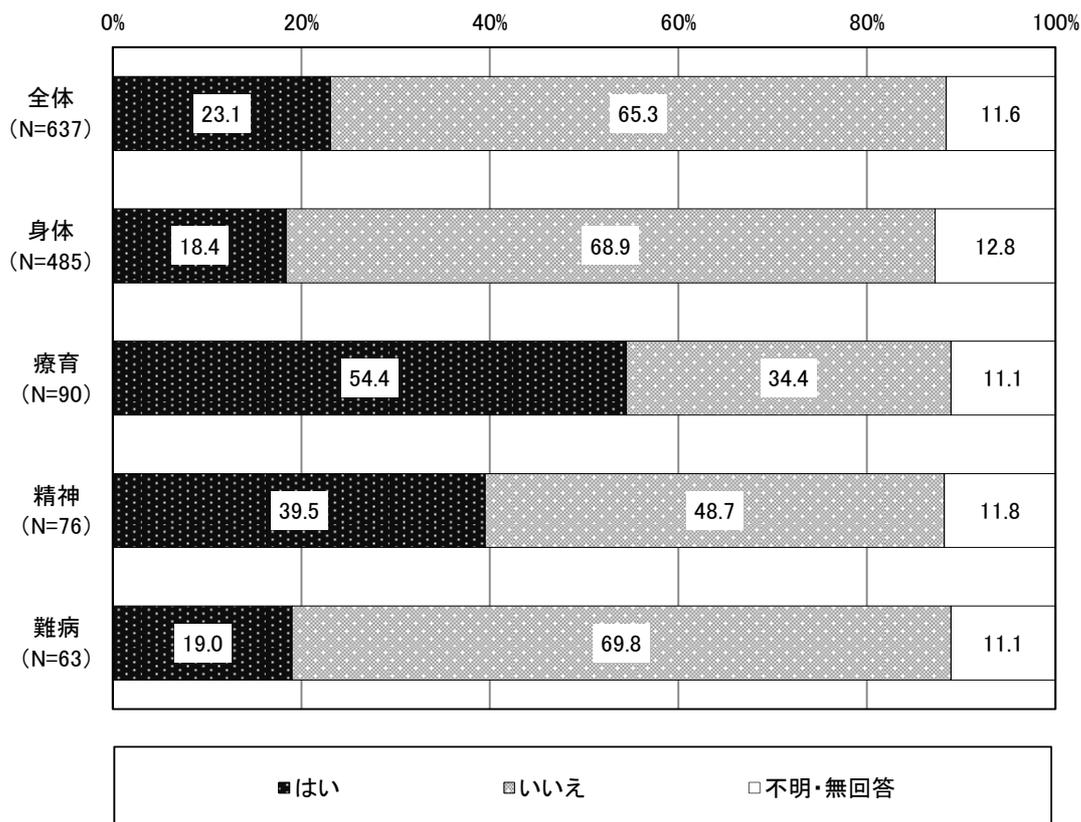


問 22 あなたは現在、障害福祉サービスなどを利用していますか。(1つに○)

※介護保険制度の利用分は除き、障害福祉サービスの利用についてのみお答えください。

現在、障害福祉サービスなどを利用しているかについてみると、全体では「いいえ」が65.3%、「はい」が23.1%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体では「いいえ」が68.9%と高くなっています。療育では「はい」が54.4%と高くなっています。精神では「いいえ」が48.7%と高くなっているものの、「はい」も39.5%と4割弱を占めています。難病では「いいえ」が69.8%と高くなっています。



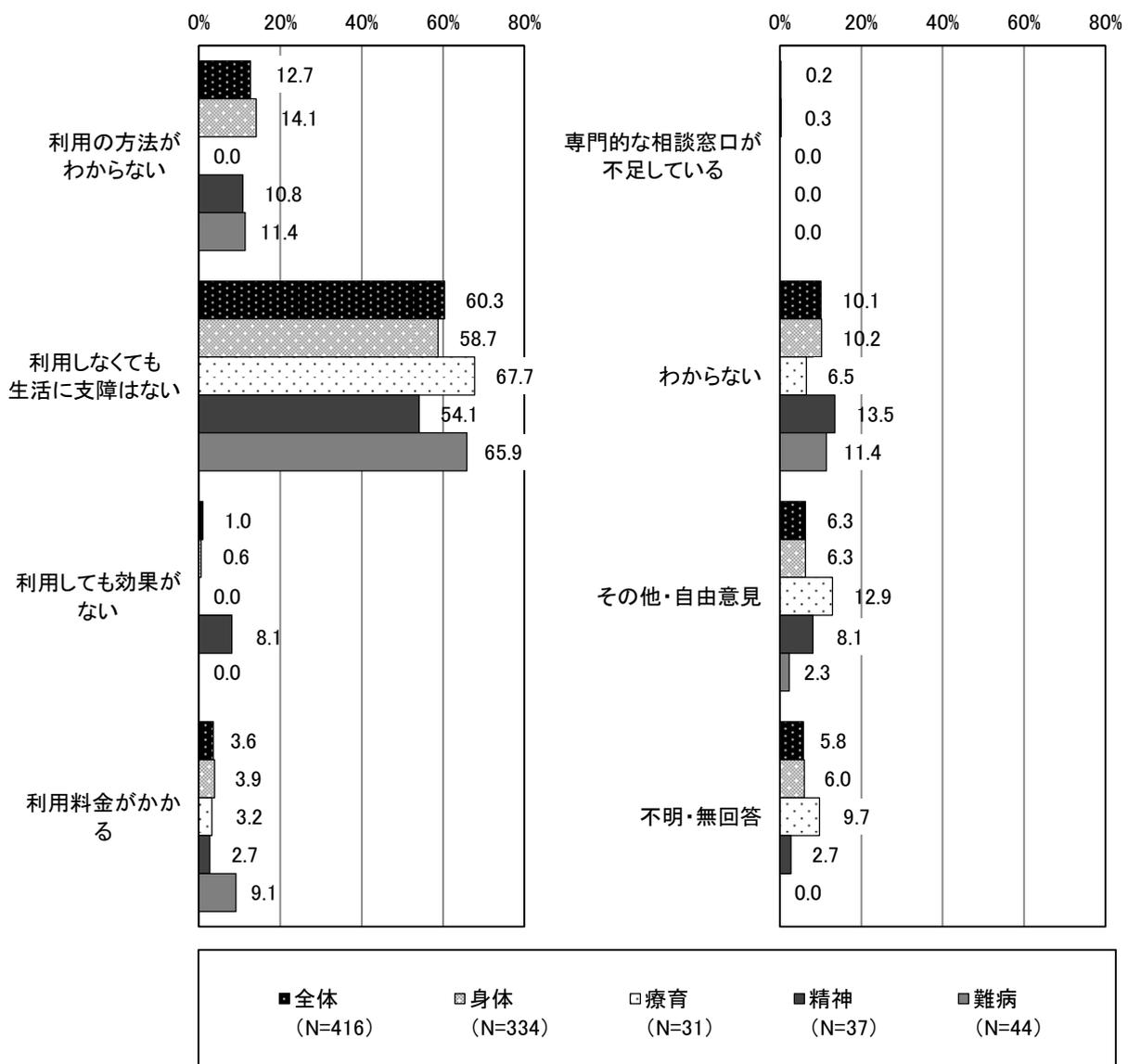
※問 22 で「2 いいえ」と回答した方

問 23 障害福祉サービスなどを利用していない理由は何ですか。(1つに○)

利用していない理由についてみると、全体では「利用しなくても生活に支障はない」が60.3%と最も高く、次いで「利用の方法がわからない」が12.7%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「利用しなくても生活に支障はない」が最も高く、身体では58.7%、療育では67.7%、精神では54.1%、難病では65.9%となっています。

次いで、身体では「利用の方法がわからない」が14.1%、療育では「利用料金がかかる」が3.2%、精神では「わからない」が13.5%となっています。難病では「利用の方法がわからない」および「わからない」がそれぞれ11.4%となっています。

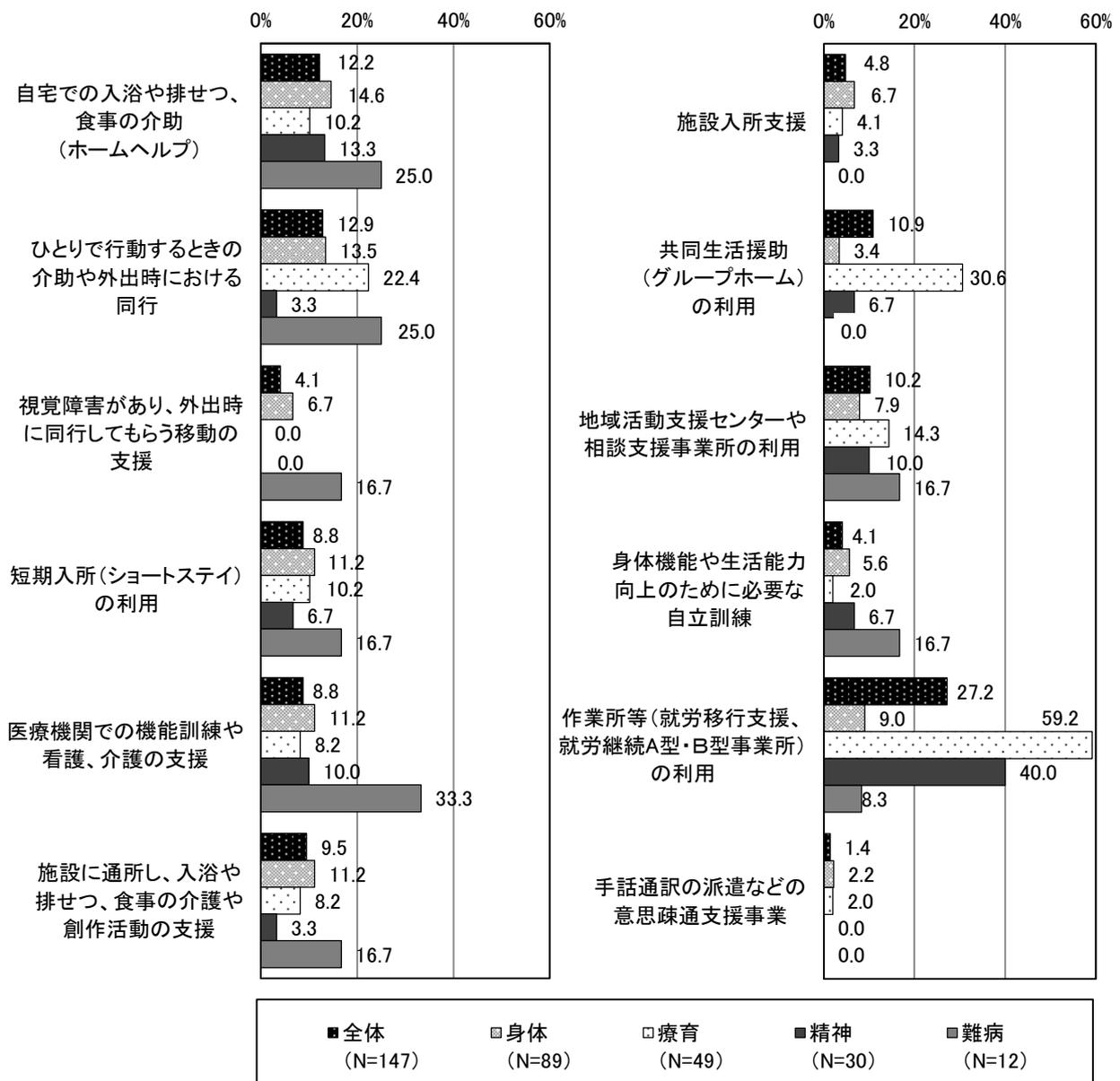


問 24 現在、どのような福祉サービスを利用していますか。(〇はいくつでも)

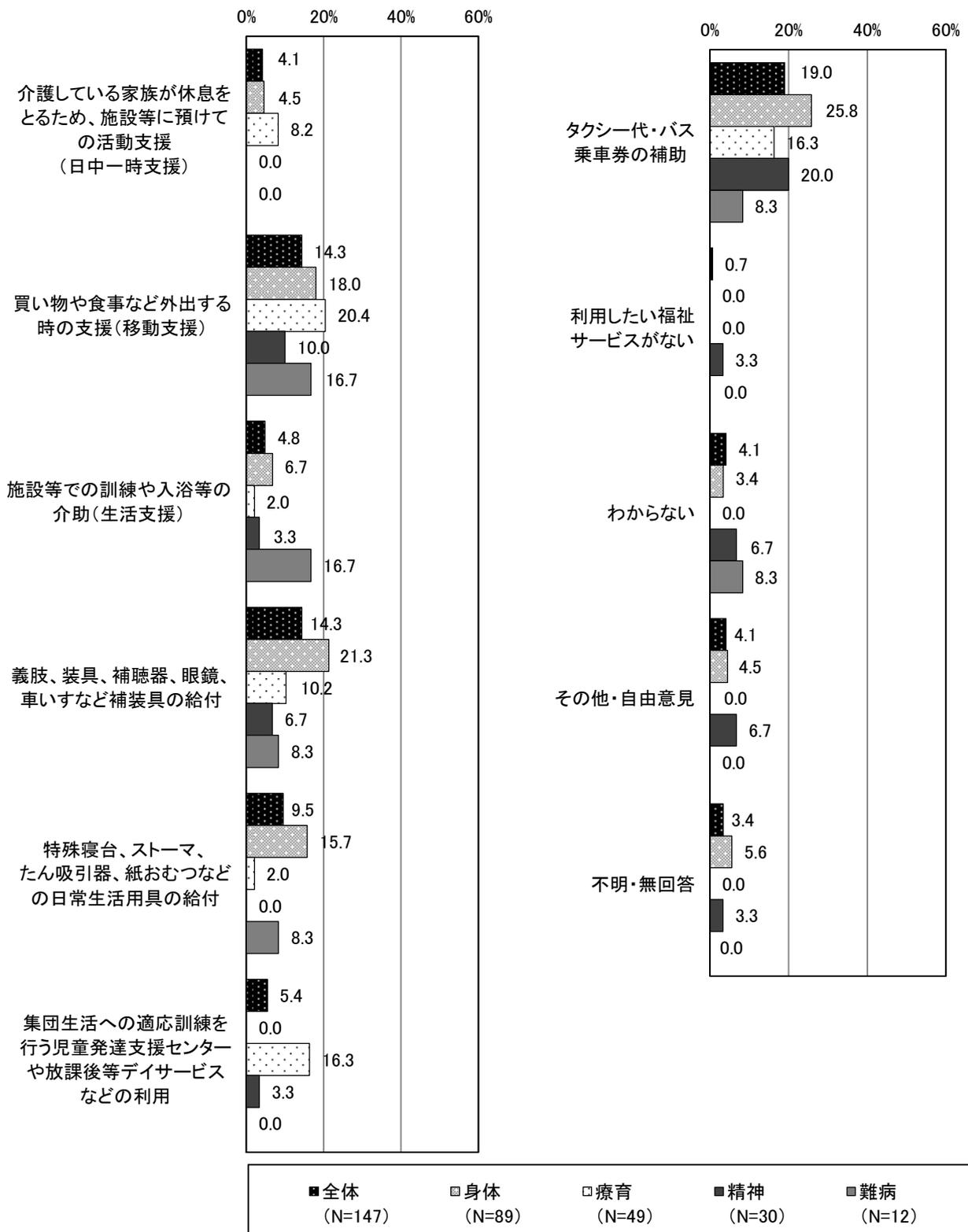
現在、どのような福祉サービスを利用しているかについてみると、全体では「作業所等（就労移行支援、就労継続 A 型・B 型事業所）の利用」が 27.2%と最も高く、次いで「タクシー代・バス乗車券の補助」が 19.0%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体では「タクシー代・バス乗車券の補助」が 25.8%と最も高く、療育・精神では「作業所等（就労移行支援、就労継続 A 型・B 型事業所）の利用」が最も高く、それぞれ 59.2%、40.0%となっています。難病では「医療機関での機能訓練や看護、介護の支援」が 33.3%と最も高くなっています。

次いで、身体では「義肢、装具、補聴器、眼鏡、車いすなど補装具の給付」が 21.3%、療育では「共同生活援助（グループホーム）の利用」が 30.6%、精神では「タクシー代・バス乗車券の補助」が 20.0%、難病では「自宅での入浴や排せつ、食事の介助（ホームヘルプ）」および「ひとりで行動するときの介助や外出時における同行」がそれぞれ 25.0%となっています。



問 24 現在、どのような福祉サービスを利用していますか。



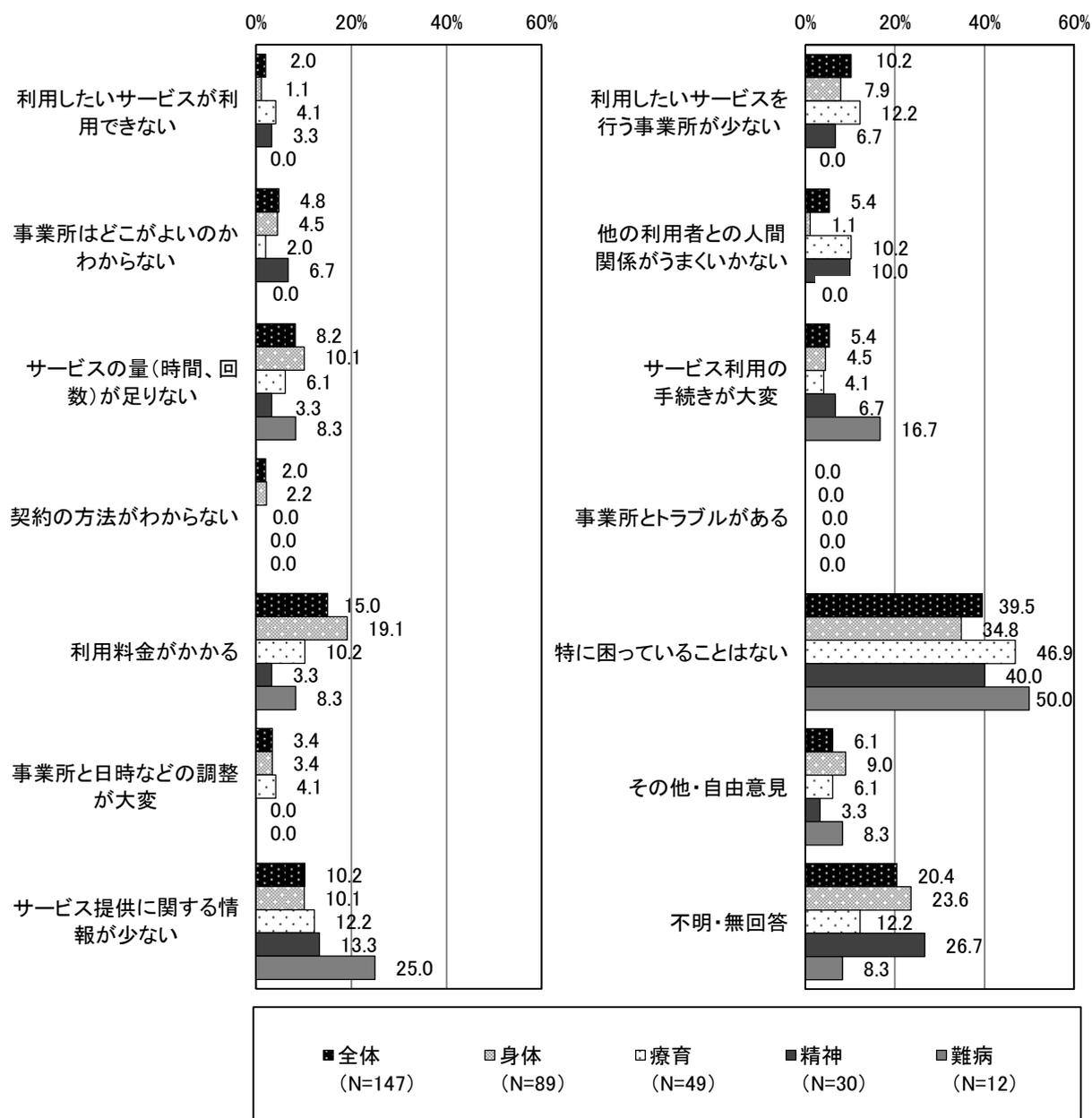
問 25 福祉サービスを利用して、何か不便なことや困っていることはありますか。

(〇はいくつでも)

福祉サービスを利用して不便なことや困っていることについてみると、全体では「特に困っていることはない」が39.5%と最も高く、次いで「利用料金がかかる」が15.0%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「特に困っていることはない」が最も高く、身体では34.8%、療育では46.9%、精神では40.0%、難病では50.0%となっています。

次いで、身体では「利用料金がかかる」が19.1%となっています。療育・精神・難病では「サービス提供に関する情報が少ない」が、療育では12.2%、精神では13.3%、難病では25.0%となっています。また、療育では「利用したいサービスを行う事業所が少ない」も12.2%となっています。

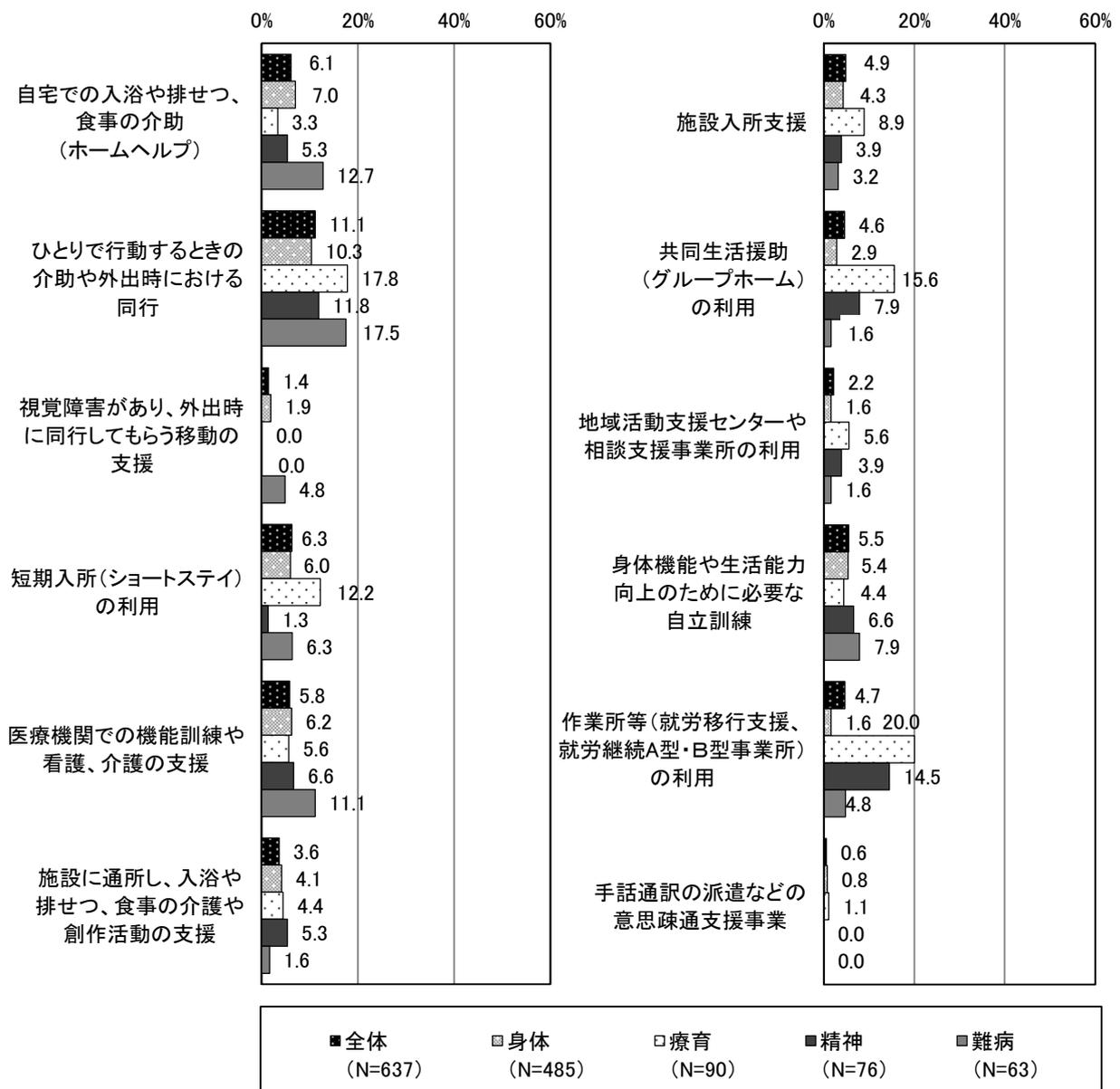


問 26 今後、利用したい福祉サービスはありますか。(〇はいくつでも)

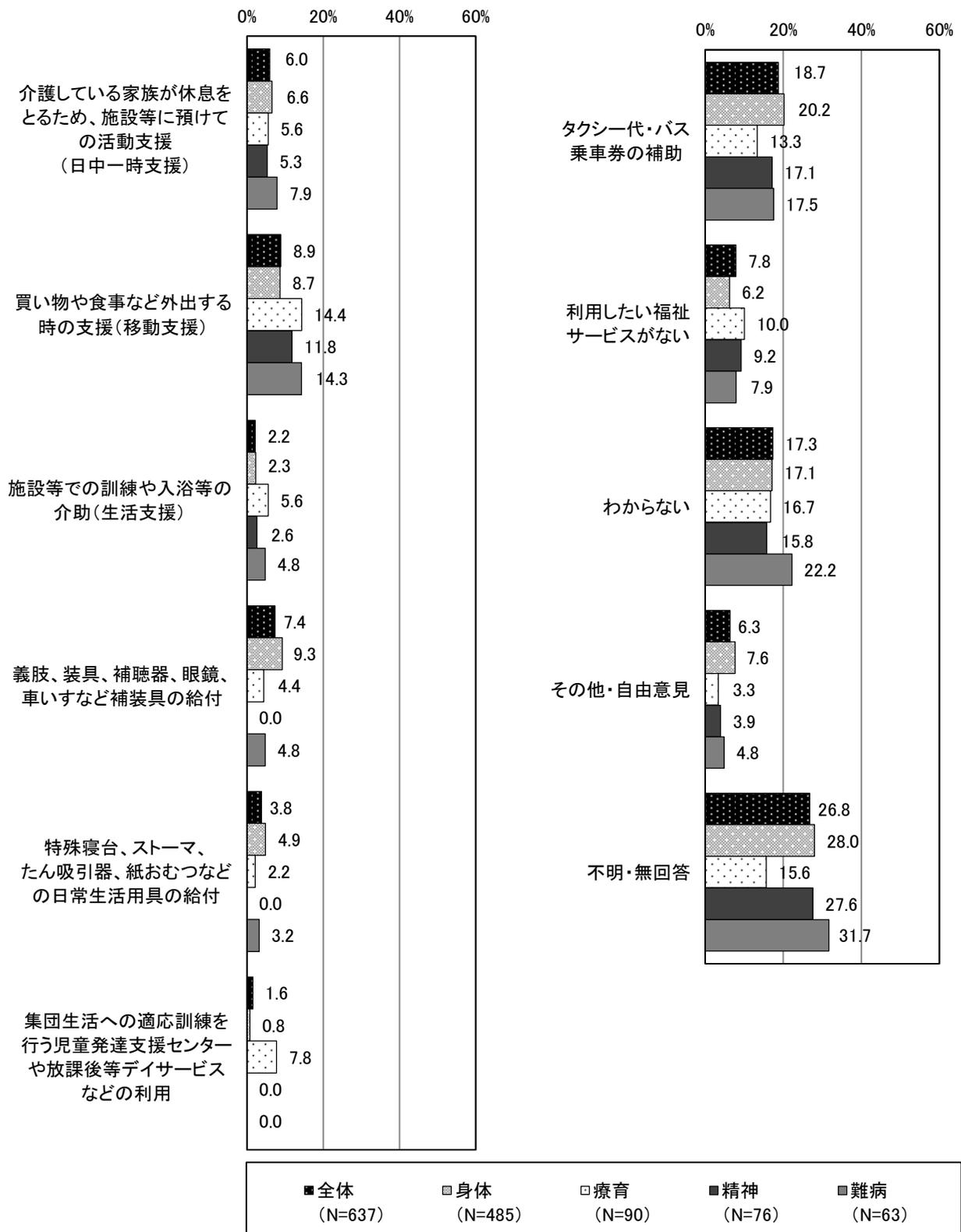
今後利用したい福祉サービスについてみると、全体では「タクシー代・バス乗車券の補助」が18.7%と最も高く、次いで「ひとりで行動するときの介助や外出時における同行」が11.1%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体・精神では「タクシー代・バス乗車券の補助」が最も高く、身体では20.2%、精神では17.1%となっています。療育では「作業所等（就労移行支援、就労継続A型・B型事業所）の利用」が20.2%と最も高くなっており、難病では「ひとりで行動するときの介助や外出時における同行」および「タクシー代・バス乗車券の補助」がそれぞれ17.5%となっています。

次いで、身体では「ひとりで行動するときの介助や外出時における同行」が10.3%、療育では「ひとりで行動するときの介助や外出時における同行」が17.8%、精神では「作業所等（就労移行支援、就労継続A型・B型事業所）の利用」が14.5%、難病では「買い物や食事など外出する時の支援（移動支援）」が14.3%となっています。



問 26 今後、利用したい福祉サービスはありますか。(〇はいくつでも)

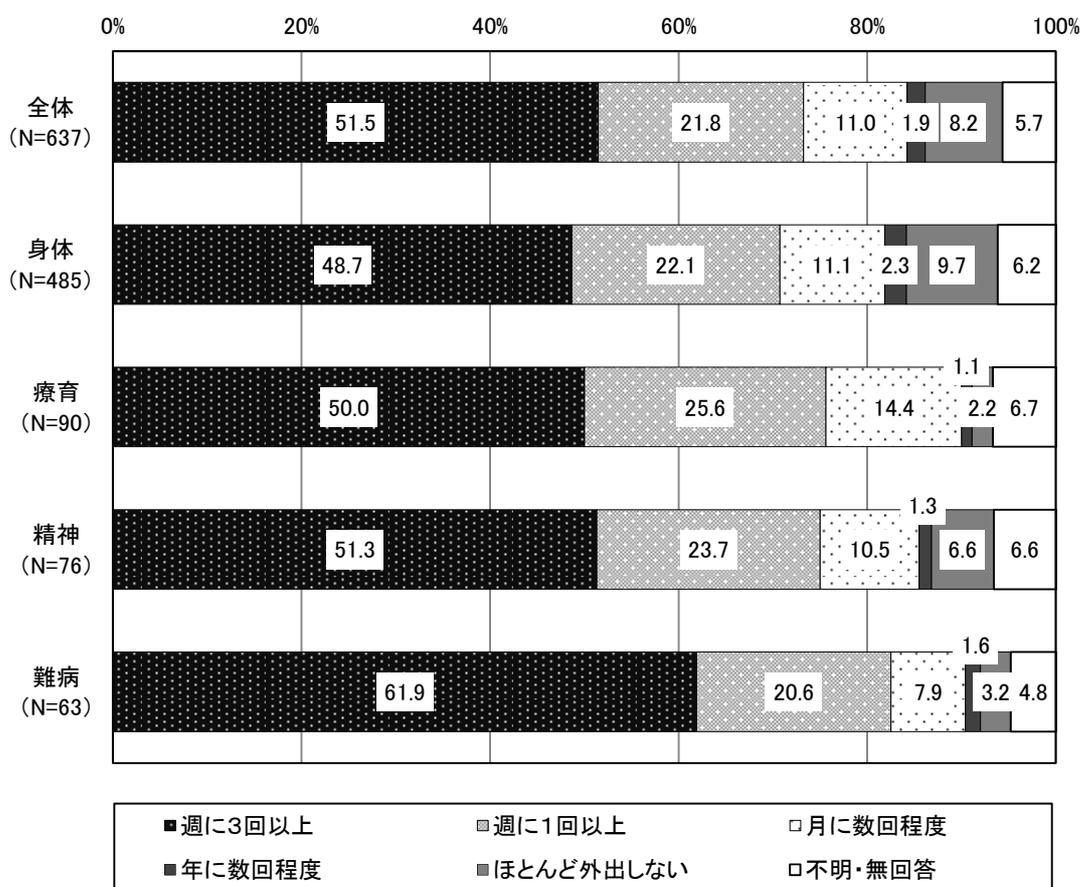


2-3 外出について

問 27 あなたは、どのくらいの頻度で外出しますか。(1つに○)

外出の頻度についてみると、全体では「週に3回以上」が51.5%と最も高く、次いで「週に1回以上」が21.8%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「週に3回以上」が最も高く、身体では48.7%、療育では50.0%、精神では51.3%、難病では61.9%となっています。次いで「週に1回以上」が身体では22.1%、療育では25.6%、精神では23.7%、難病では20.6%となっています。

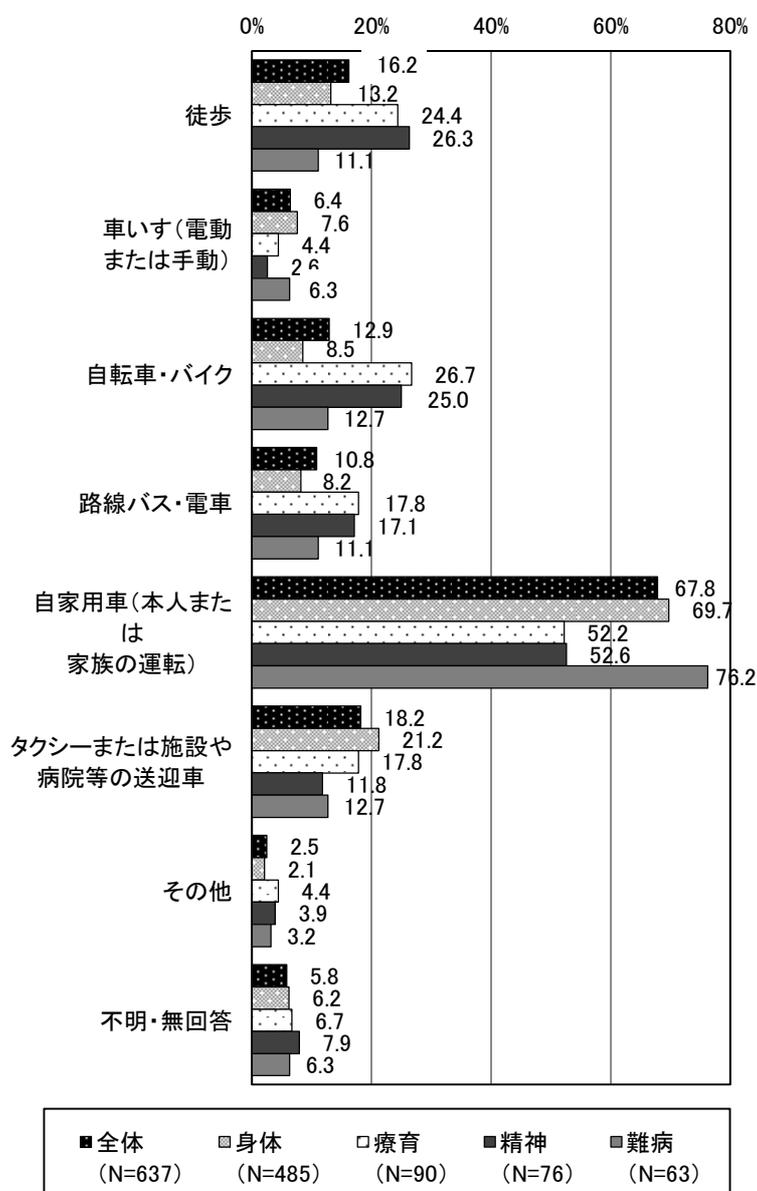


問 28 あなたが外出するときの主な交通手段は、何ですか。(〇はいくつでも)

外出するときの主な交通手段についてみると、全体では「自家用車（本人または家族の運転）」が 67.8%と最も高く、次いで「タクシーまたは施設や病院等の送迎車」が 18.2%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「自家用車（本人または家族の運転）」が最も高く、身体では 69.7%、療育では 52.2%、精神では 52.6%、難病では 75.2%となっています。

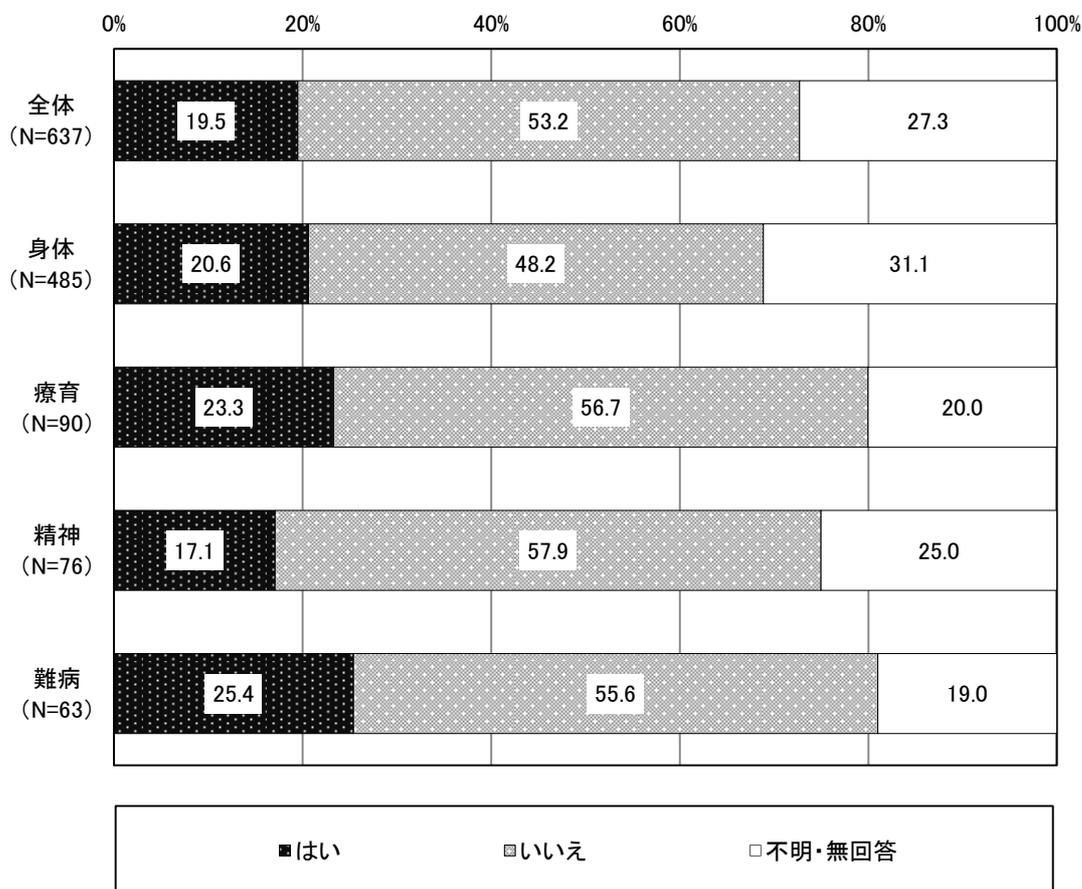
次いで、身体では「タクシーまたは施設や病院等の送迎車」が 21.2%、療育では「自転車・バイク」が 26.7%、精神では「徒歩」が 26.3%、難病では「自転車・バイク」および「タクシーまたは施設や病院等の送迎車」が 12.7%となっています。



問 29 市内の公共施設について、利用時に不便を感じたことはありますか。(1つに○)

市内の公共施設を利用するとき不便を感じるかについてみると、全体では「いいえ」が53.2%、「はい」が19.5%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「いいえ」が高く、身体では48.2%、療育では56.7%、精神では57.9%、難病では55.6%となっています。

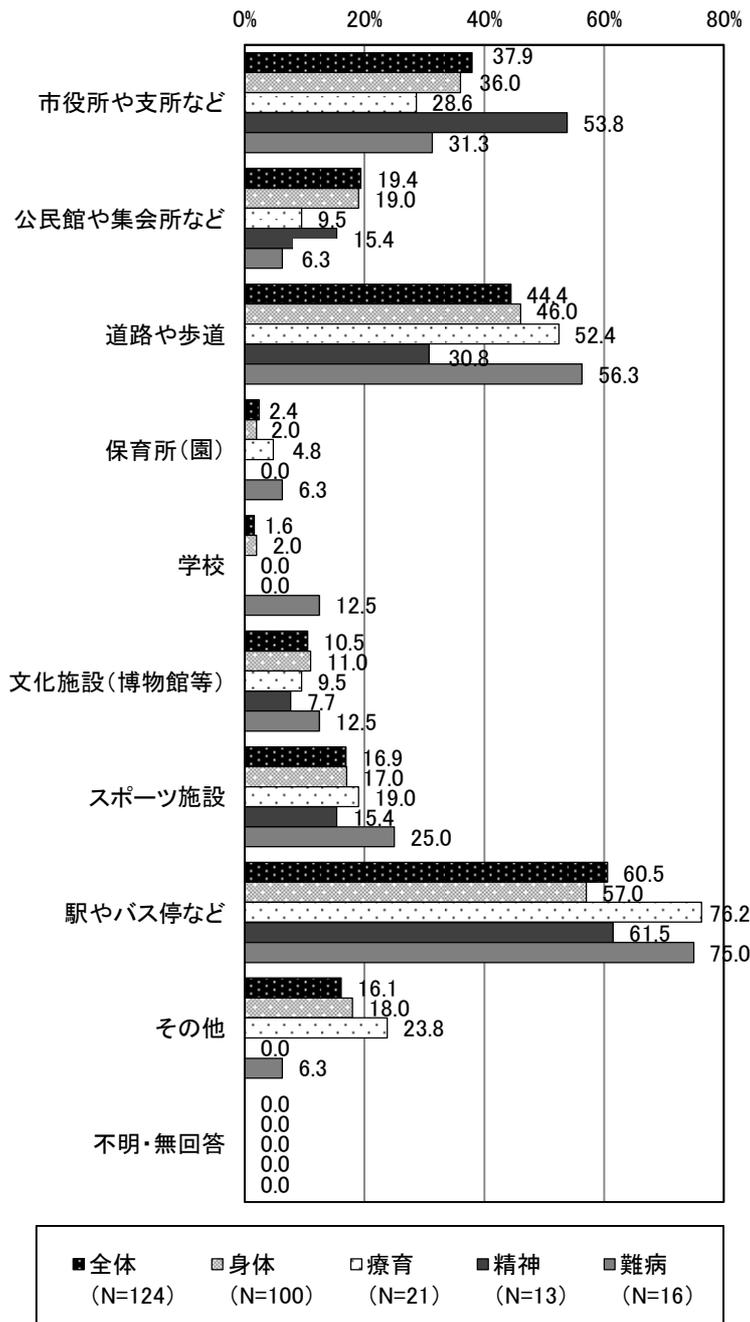


※問 29 で「はい」と回答した方

問 30 どの施設で不便を感じられましたか。(〇はいくつでも)

どの施設で不便を感じたかについてみると、全体では「駅やバス停など」が60.5%と最も高く、次いで「道路や歩道」が44.4%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「駅やバス停など」が最も高く、身体では57.0%、療育では76.2%、精神では61.5%、難病では75.0%となっています。次いで、身体・療育・難病では「道路や歩道」が、身体では46.0%、精神では52.4%、難病では56.3%となっています。精神では「市役所や支所など」が53.8%となっています。

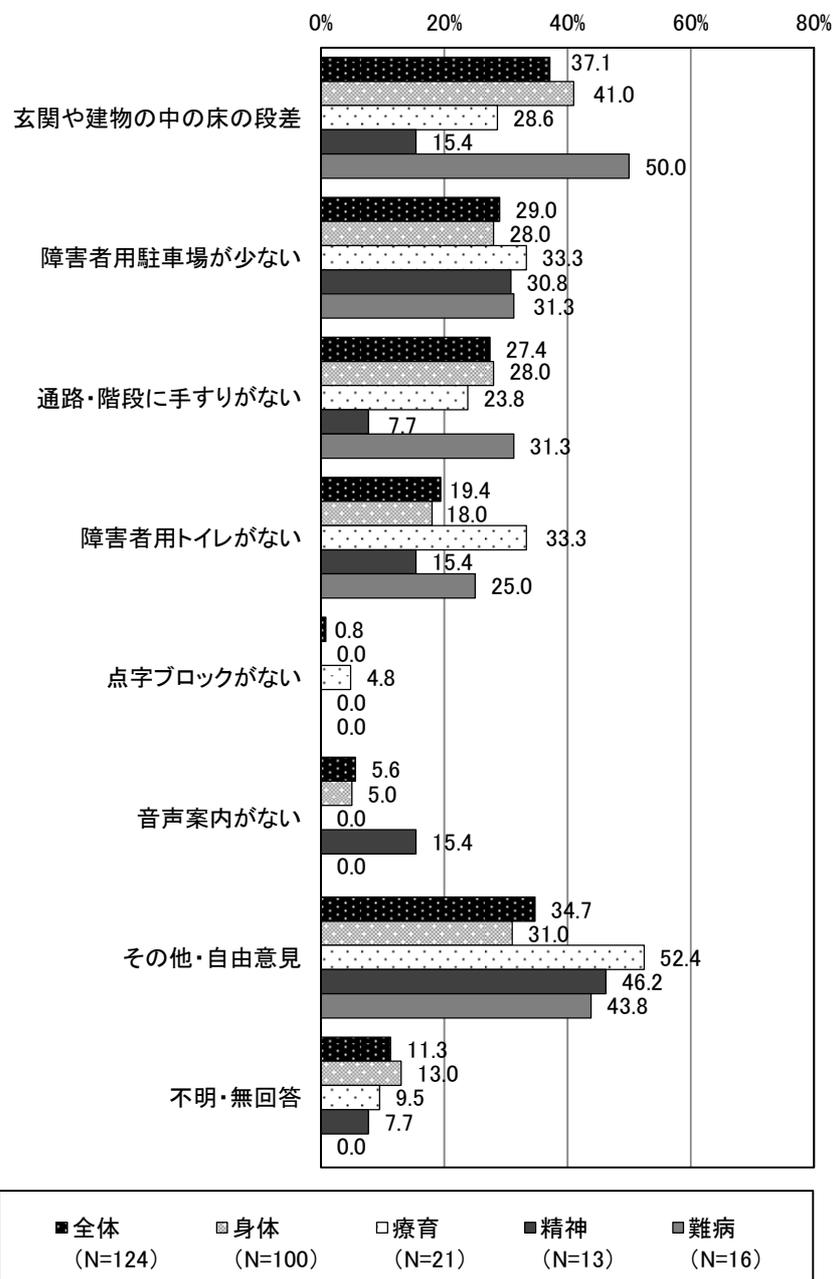


※問 29 で「はい」と回答した方

問 31 それはどのように不便でしたか。(〇はいくつでも)

不便を感じた点についてみると、全体では「玄関や建物の中の床の段差」が37.1%と最も高く、次いで「障害者用駐車場が少ない」が29.0%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体では「玄関や建物の中の床の段差」が41.0%と最も高く、次いで「障害者用駐車場が少ない」「通路・階段に手すりがない」がともに28.0%となっています。療育では「障害者用駐車場が少ない」「障害者用トイレがない」がともに33.3%と最も高く、次いで「玄関や建物の中の床の段差」が28.6%となっています。精神では「障害者用駐車場が少ない」が30.8%と最も高く、次いで「玄関や建物の中の床の段差」「障害者用トイレがない」「音声案内がない」がともに15.4%となっています。難病では、「玄関や建物の中の床の段差」が50.0%と最も高く、次いで「障害者用駐車場が少ない」「通路・階段に手すりがない」がそれぞれ31.3%となっています。

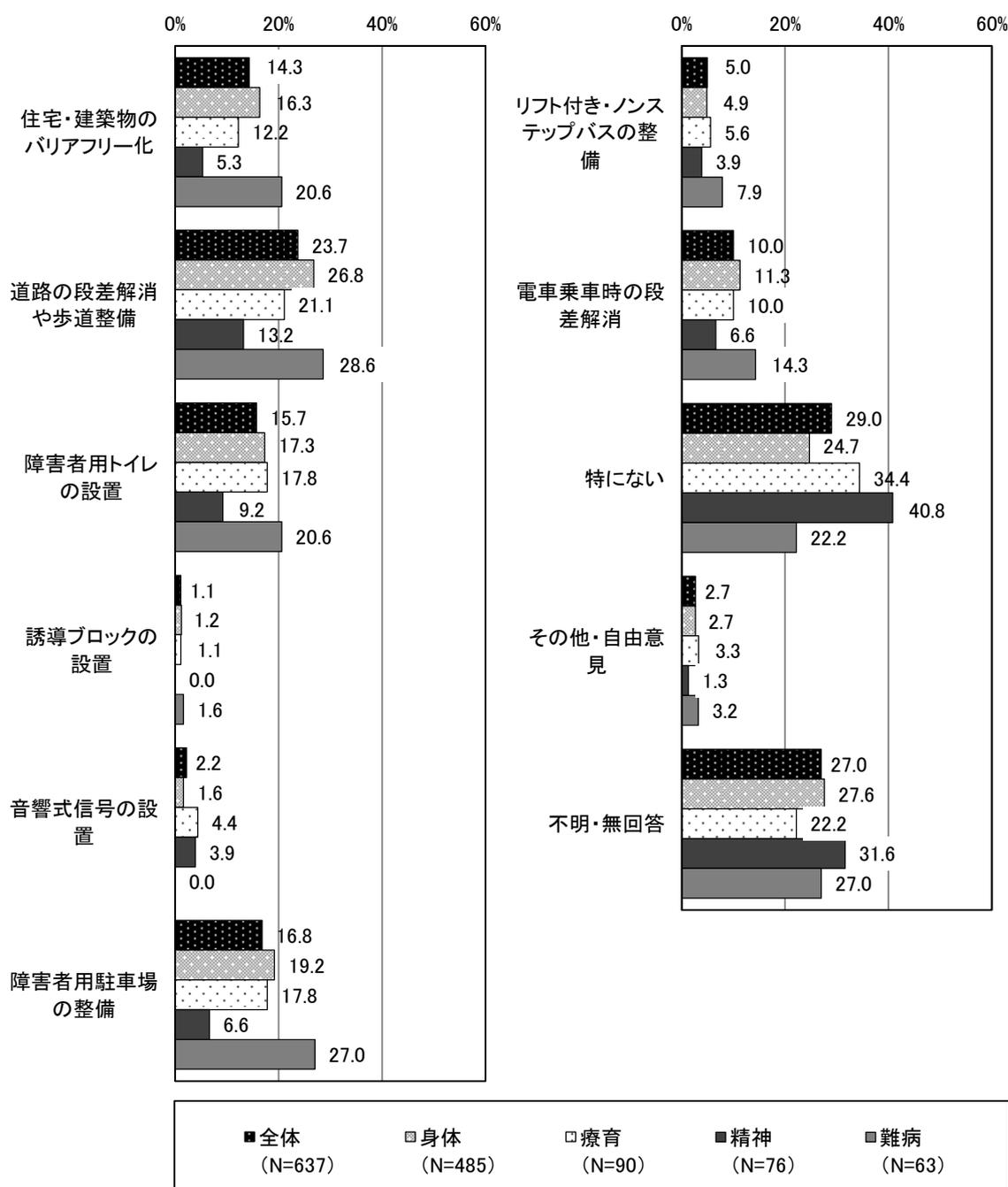


問 32 あなたが外出するために、整備が必要だと思うものは、何ですか。

(○はいくつでも)

外出するために整備が必要だと思うものについてみると、全体では「道路の段差解消や歩道整備」が23.7%と最も高く、次いで「障害者用駐車場の整備」が16.8%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「道路の段差解消や歩道整備」が最も高く、身体では26.8%、療育では21.1%、精神では13.2%、難病では28.6%となっています。次いで、身体では「障害者用駐車場の整備」が19.2%、療育では「障害者用トイレの設置」「障害者用駐車場の整備」がともに17.8%となっています。精神では「障害者用トイレの設置」が9.2%となっています。難病では「障害者用駐車場の整備」が27.0%となっています。



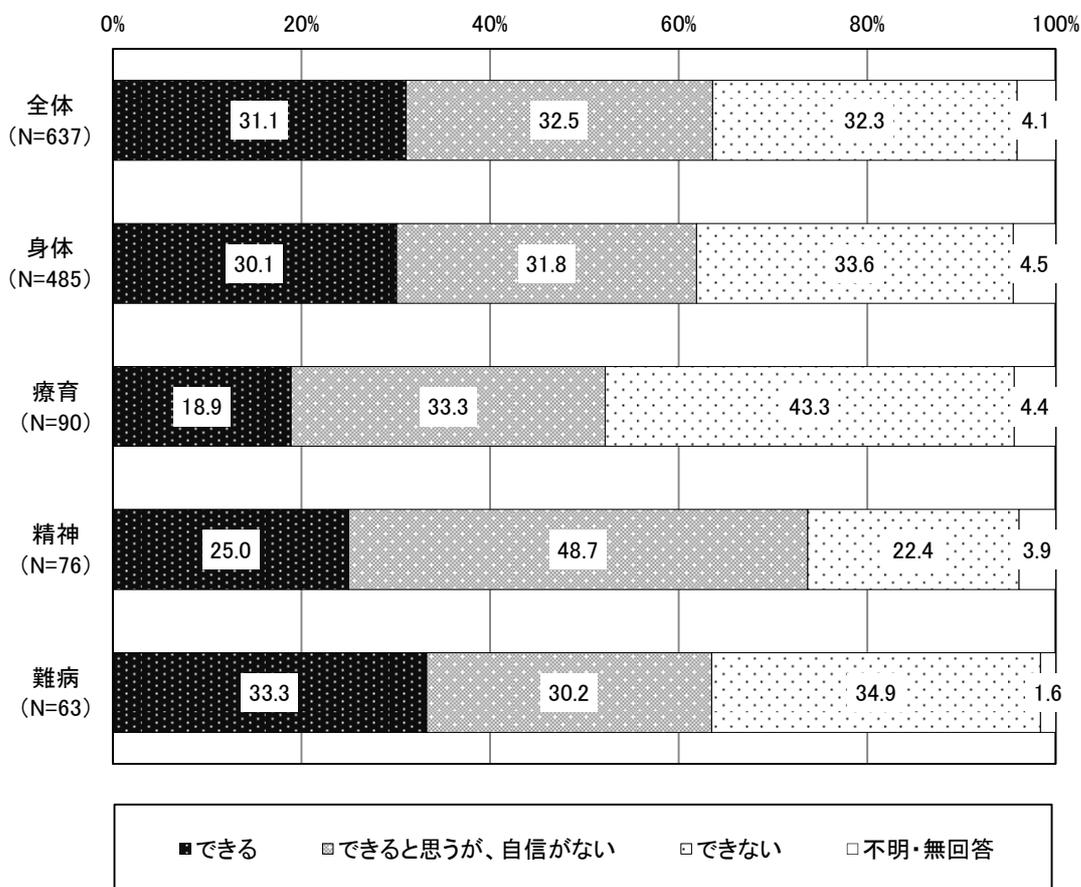
2-4 地域防災について

問 33 あなたは災害時にひとりで避難できますか。(1つに○)

災害時にひとりで避難できるかについてみると、全体では「できると思うが、自信がない」が32.5%と最も高く、次いで「できない」が32.3%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体・療育・難病では「できない」が最も高く、身体では33.6%、療育では43.3%、難病では34.9%となっています。精神では「できると思うが、自信がない」が48.7%となっています。

次いで、身体・療育では「できると思うが、自信がない」が、身体では31.8%、療育では33.3%となっています。精神・難病では「できる」が、精神では25.0%、難病では33.3%となっています。

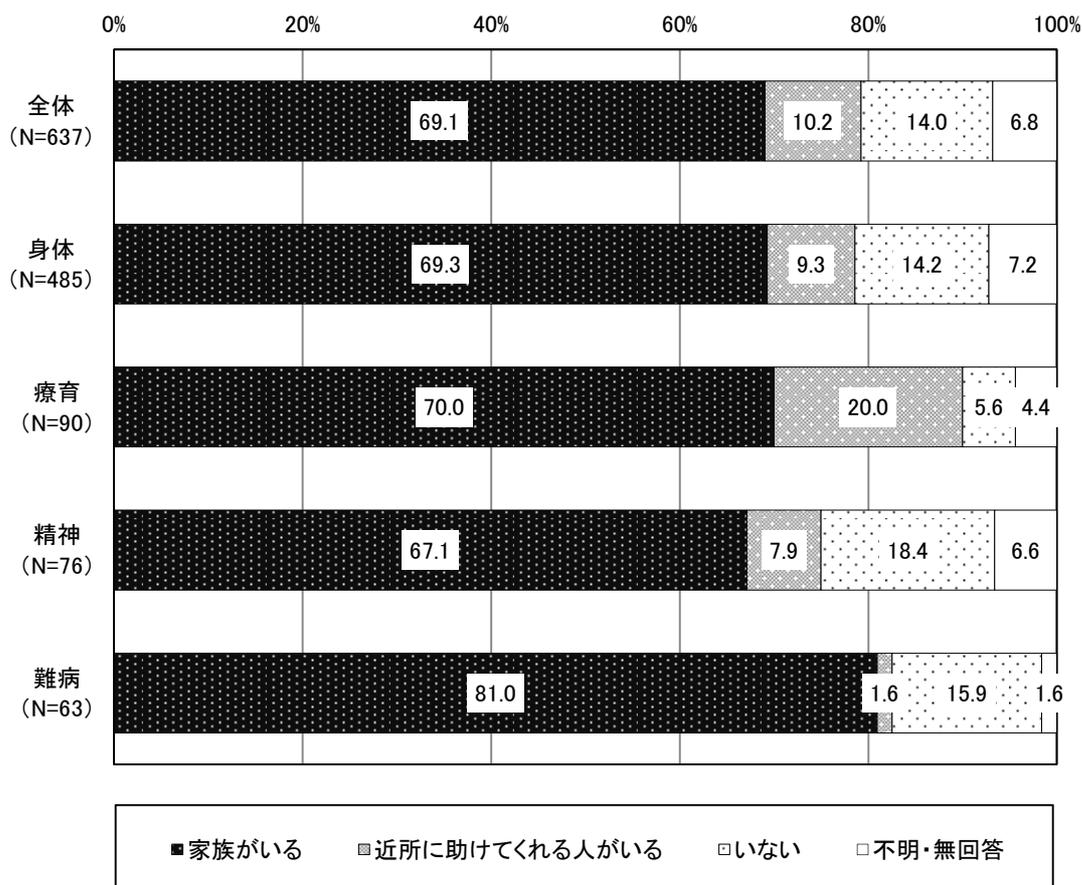


問 34 あなたは、災害時に助けてくれる人がいますか。(1つに○)

災害時に助けてくれる人がいるかについてみると、全体では「家族がいる」が69.1%と最も高く、次いで「いない」が14.0%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「家族がいる」が最も高く、身体では69.3%、療育では70.0%、精神では67.1%、難病では81.0%となっています。

次いで、身体・精神・難病では「いない」が、身体では14.2%、精神では18.4%、難病では15.9%となっています。療育では「近所に助けてくれる人がいる」が20.0%となっています。

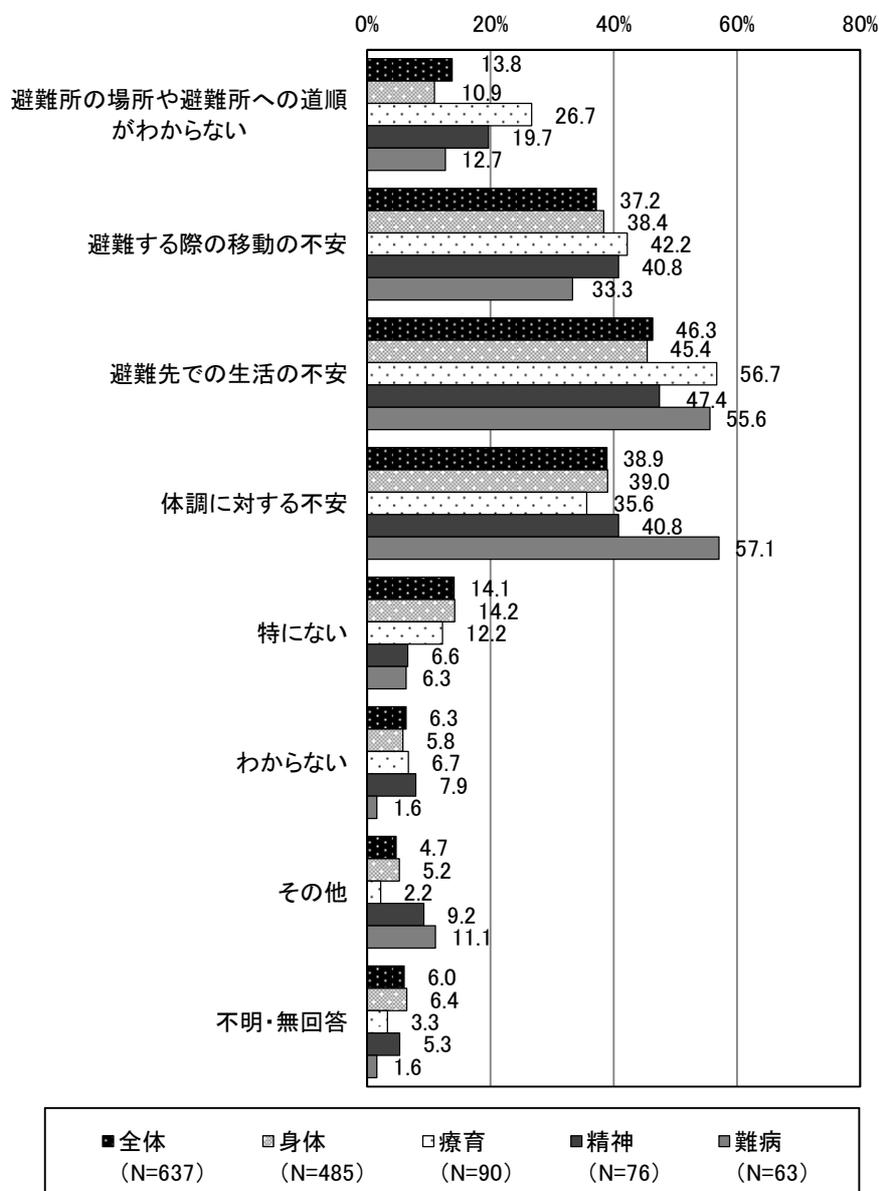


問 35 万一、災害が起こった際の不安は何ですか。(〇はいくつでも)

万一、災害が起こった際の不安についてみると、全体では「避難先での生活の不安」が46.3%と最も高く、次いで「体調に対する不安」が38.9%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体・療育・精神では「避難先での生活の不安」が最も高く、身体では45.4%、療育では56.7%、精神では47.4%となっています。また、難病では「体調に対する不安」が57.1%と最も高くなっています。

次いで、身体では「体調に対する不安」が39.0%、療育では「避難する際の移動の不安」が42.2%となっています。精神では「避難する際の移動の不安」「体調に対する不安」がともに40.8%となっています。難病では「避難先での生活の不安」が55.6%となっています。



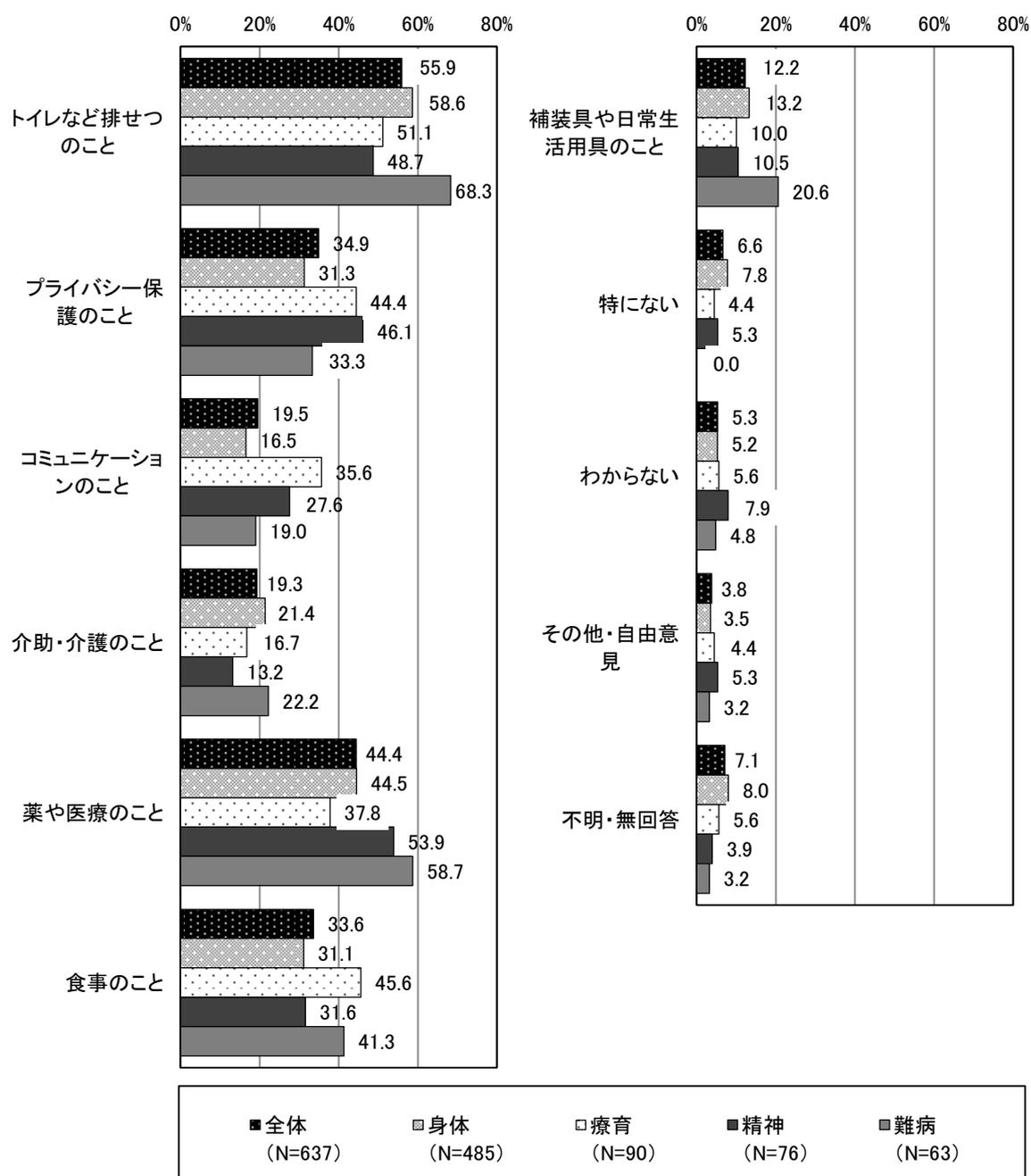
問 36 災害時に、避難所などで具体的に困ると思われることは何ですか。

(〇はいくつでも)

災害時に避難所などで具体的に困ると思われることについてみると、全体では「トイレなど排せつのこと」が55.9%と最も高く、次いで「薬や医療のこと」が44.4%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体・療育・難病では「トイレなど排せつのこと」が最も高く、身体では58.6%、療育では51.1%、難病では68.3%となっています。精神では「薬や医療のこと」が53.9%と最も高くなっています。

次いで、身体・難病では「薬や医療のこと」が身体では44.5%、難病では58.7%、療育では「食事のこと」が45.6%、精神では「トイレなど排せつのこと」が48.7%となっています。

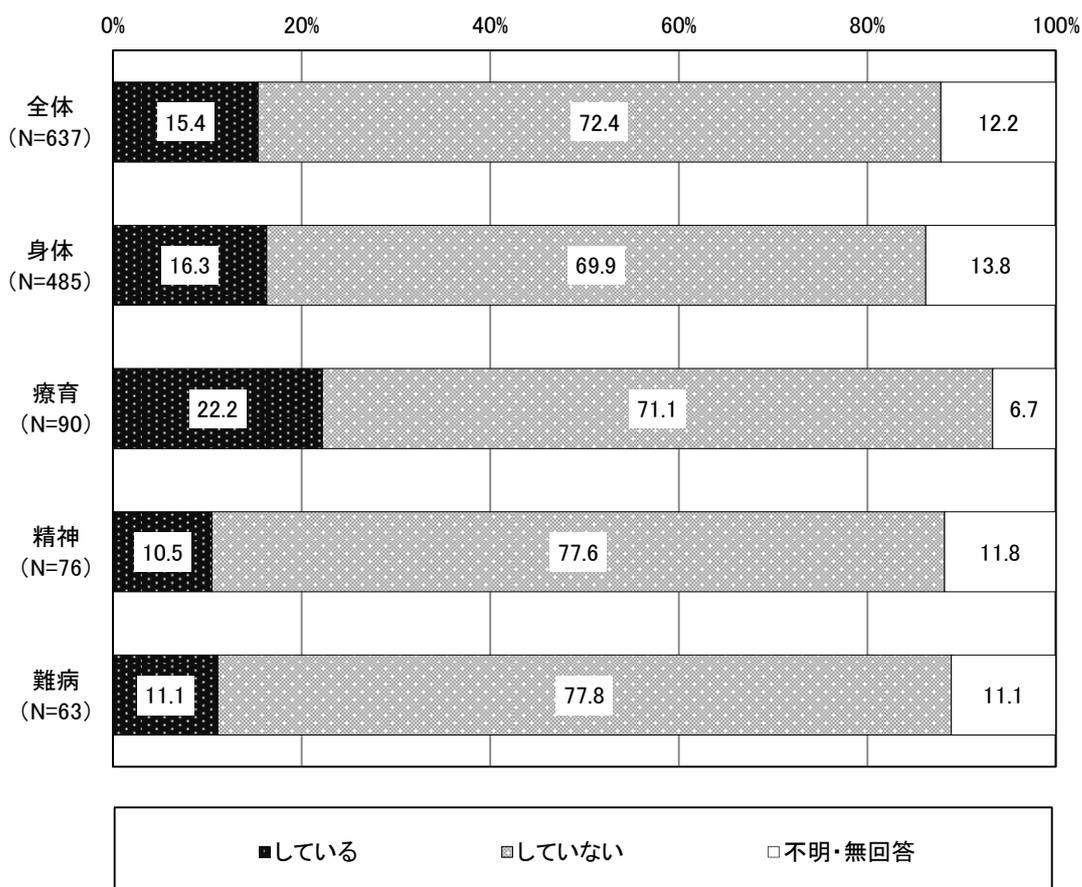


2-5 社会参加・地域参加について

問 37 障害児者団体へ加入していますか。(1つに○)

障害児者団体へ加入しているかについてみると、全体では「していない」が72.4%、「している」が15.4%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、いずれも「していない」が高く、身体では69.9%、療育では71.1%、精神では77.6%、難病では77.8%となっています。

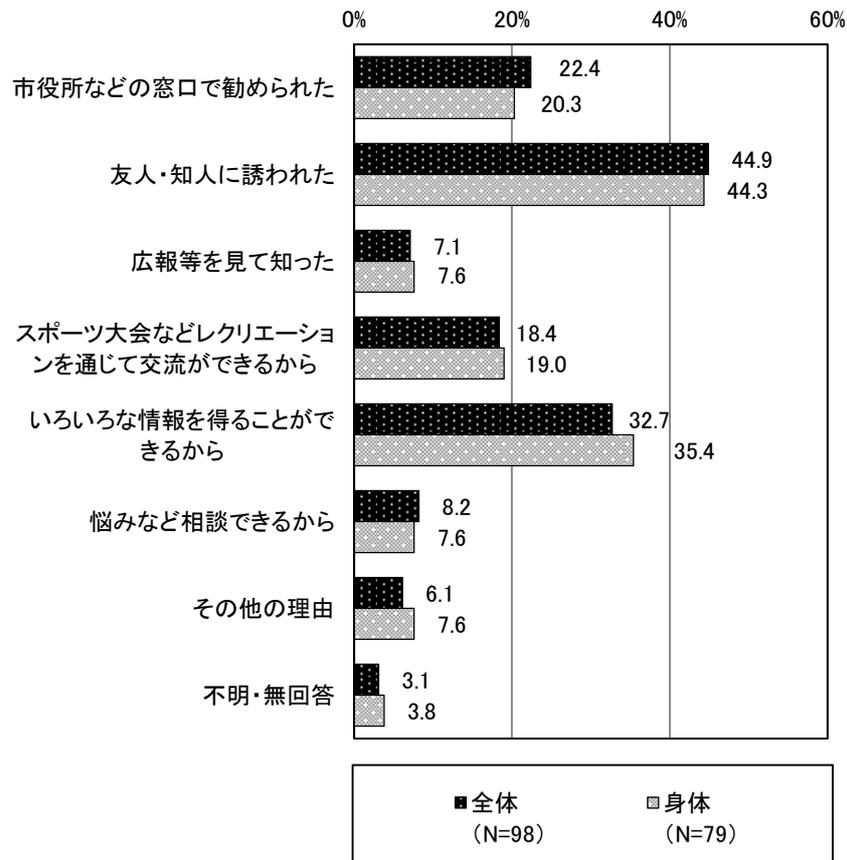


※問 37 で「している」と回答した方

問 38 団体に加入している理由をおしえてください。(〇はいくつでも)

団体に加入している理由についてみると、全体では「友人・知人に誘われた」が 44.9% と最も高く、次いで「いろいろな情報を得ることができるから」が 32.7% となっています。

障害者手帳種別にみると、身体では「友人・知人に誘われた」が 44.3% と最も高くなっており、次いで「いろいろな情報を得ることができるから」が 35.4% となっています。



	上段:度数	問38 団体に加入している理由								
	下段:%	合計	市役所などの窓口で勧められた	友人・知人に誘われた	広報等を見て知った	スポーツ大会などレクリエーションを通じて交流ができるから	いろいろな情報を得ることができるから	悩みなど相談できるから	その他の理由	不明・無回答
問4 障害者手帳・問8 難病認定	療育手帳	20	9	9	1	5	4	2	0	0
		100.0	45.0	45.0	5.0	25.0	20.0	10.0	0.0	0.0
	精神障害者保健福祉手帳	8	1	4	2	0	4	2	0	0
	100.0	12.5	50.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	
	7	0	4	3	0	5	2	0	0	
	100.0	0.0	57.1	42.9	0.0	71.4	28.6	0.0	0.0	

※療育手帳所持者・精神障害者保健福祉手帳所持者・難病認定者のデータは、件数が少ないために表による掲載としています。

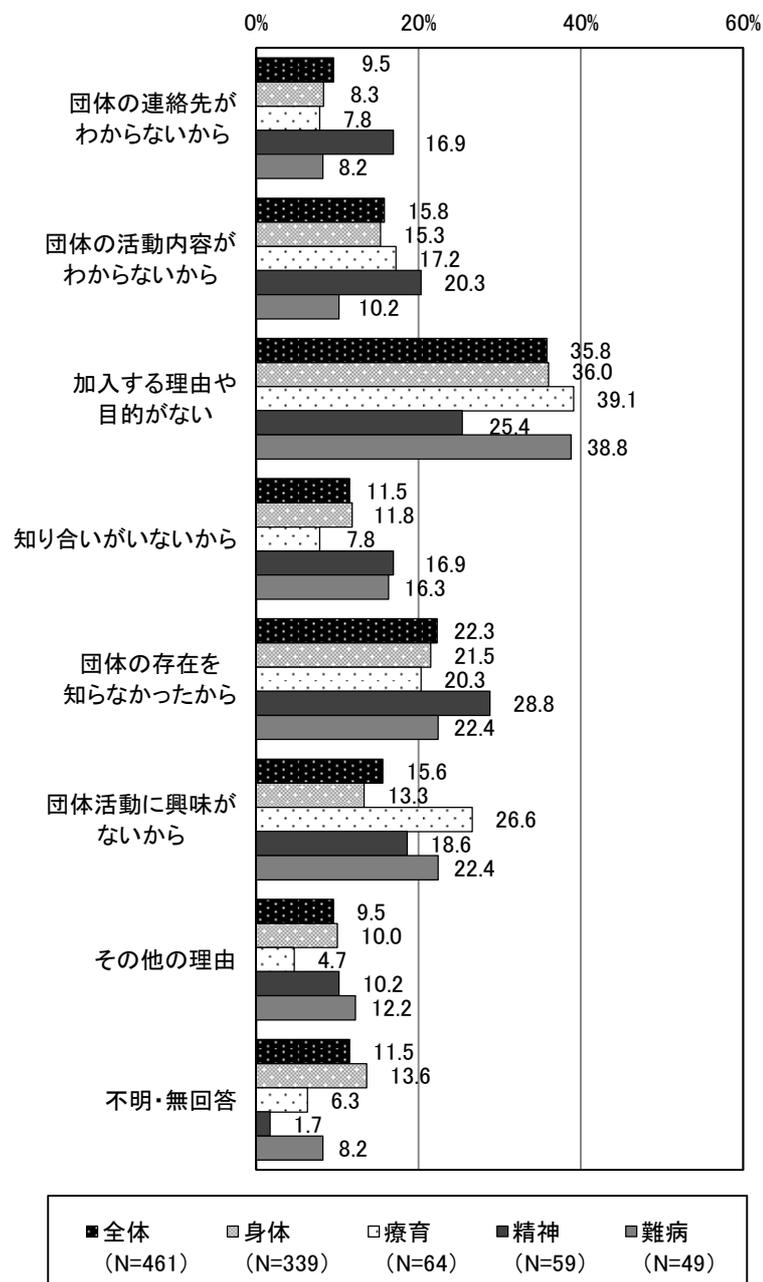
※問 37 で「していない」と回答した方

問 39 加入していない理由をおしえてください。(〇はいくつでも)

団体に加入していない理由についてみると、全体では「加入する理由や目的がない」が35.8%と最も高く、次いで「団体の存在を知らなかったから」が22.3%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体・療育・難病では「加入する理由や目的がない」が最も高く、身体では36.0%、療育では39.1%、難病では38.8%となっています。精神では「団体の存在を知らなかったから」が28.8%と最も高くなっています。

次いで、身体では「団体の存在を知らなかったから」が21.5%、療育では「団体活動に興味がないから」が26.6%、精神では「加入する理由や目的がない」が25.4%、難病では「団体の存在を知らなかったから」「団体活動に興味がないから」がそれぞれ22.4%となっています。

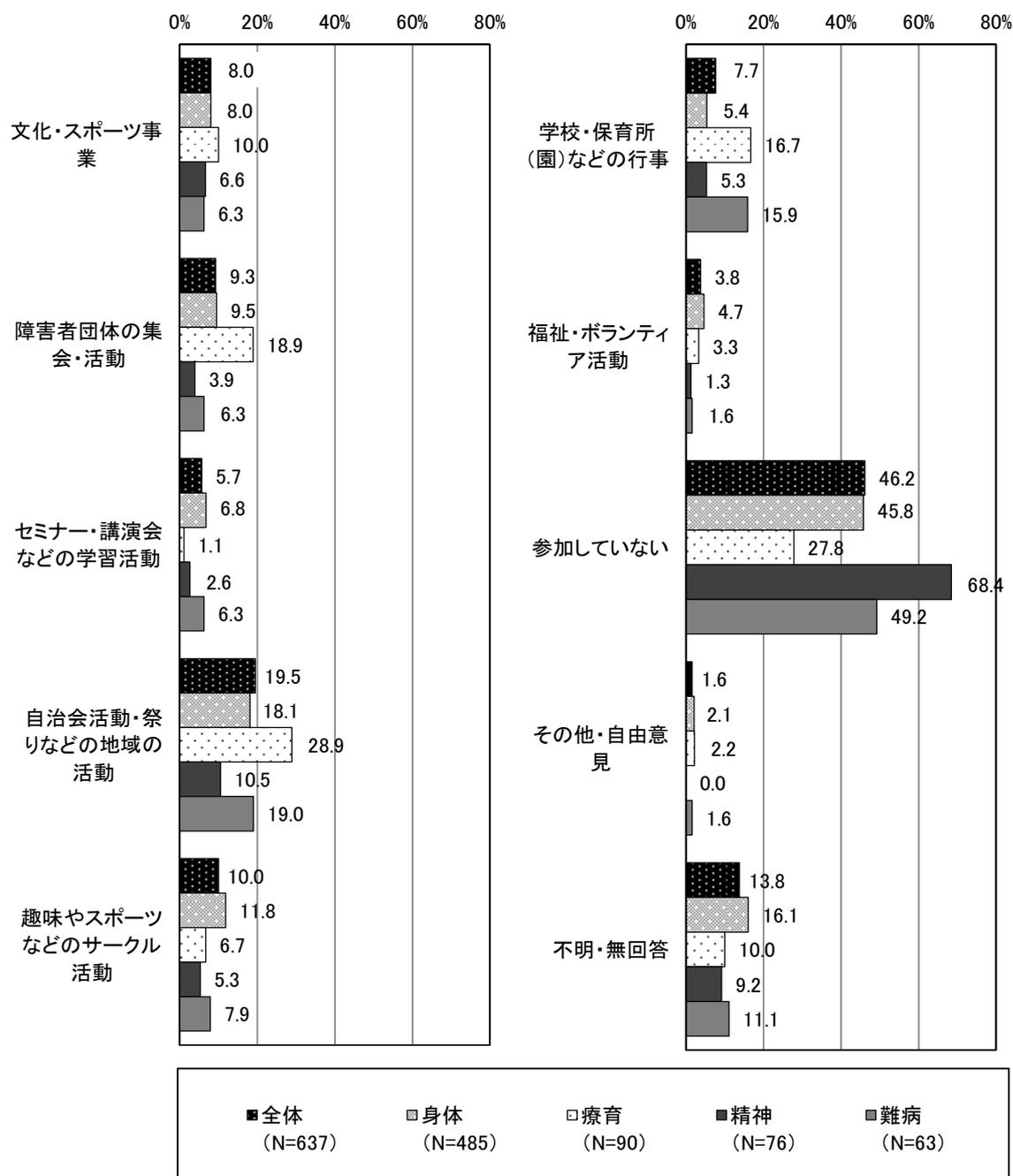


問 40 最近1年間、あなたは、地域の行事や活動に参加しましたか。(〇はいくつでも)

最近1年間、地域の行事や活動に参加したかについてみると、全体では「参加していない」が46.2%と最も高く、次いで「自治会活動・祭りなどの地域の活動」が19.5%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体・精神・難病では「参加していない」が最も高く、身体では45.8%、精神では68.4%、難病では49.2%となっています。療育では「自治会活動・祭りなどの地域の活動」が28.9%と最も高くなっています。

次いで、身体・精神・難病では「自治会活動・祭りなどの地域の活動」が、身体では18.1%、精神では10.5%、難病では19.0%となっています。療育では「参加していない」が27.8%となっています。

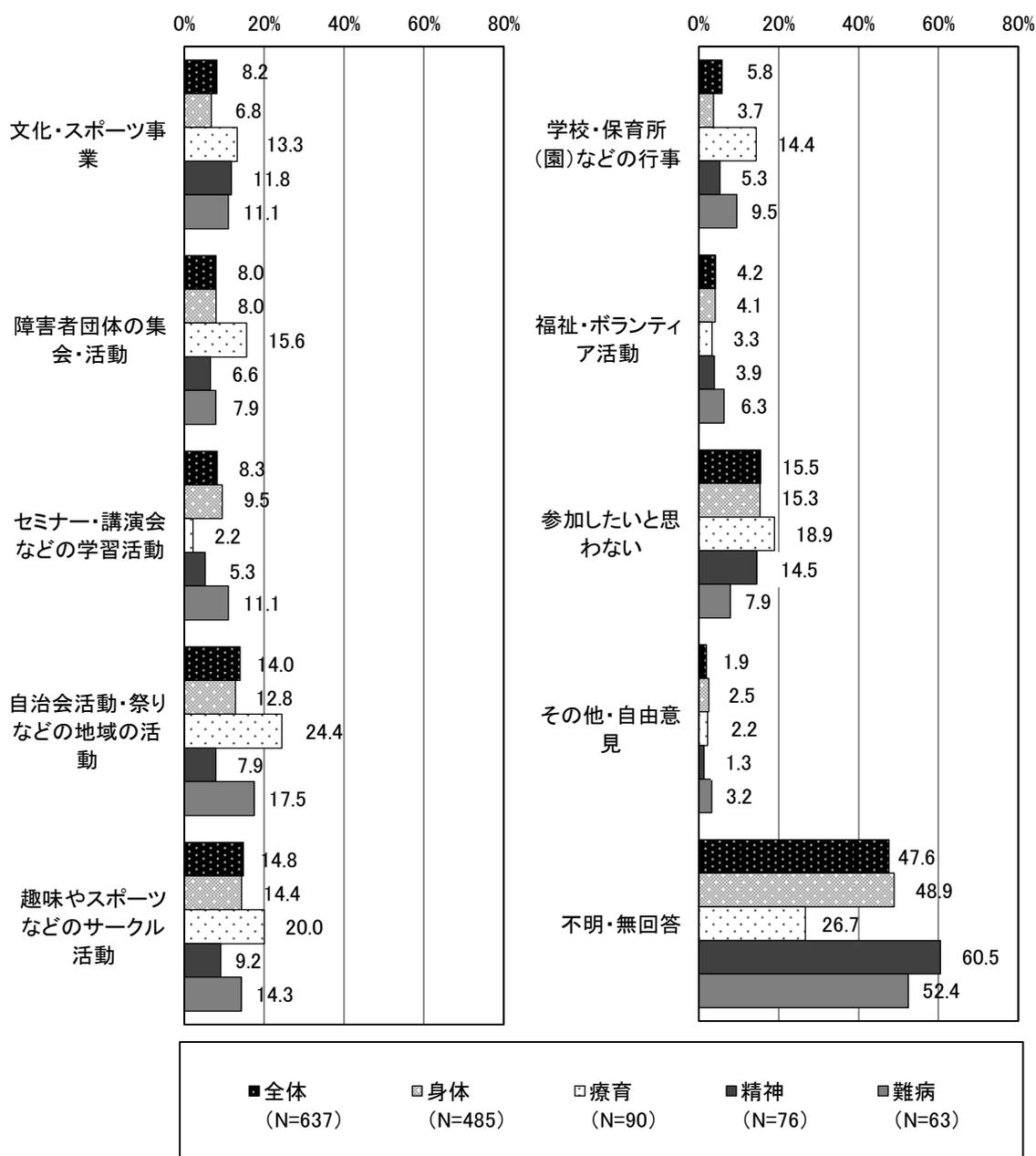


問 41 今後、あなたは、どのような行事や活動に参加したいですか。(〇はいくつでも)

今後どのような行事や活動に参加したいかについてみると、全体では「参加したいと思わない」が15.5%と最も高く、次いで「趣味やスポーツなどのサークル活動」が14.8%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体・精神では「参加したいと思わない」が最も高く、身体では15.3%、精神では14.5%となっています。療育・難病では「自治会活動・祭りなどの地域の活動」が最も高く、療育では24.4%、難病では17.5%となっています。

次いで、身体・療育・難病では「趣味やスポーツなどのサークル活動」が、身体では14.4%、療育では20.0%、難病では14.3%となっています。精神では「文化・スポーツ事業」が11.8%となっています。



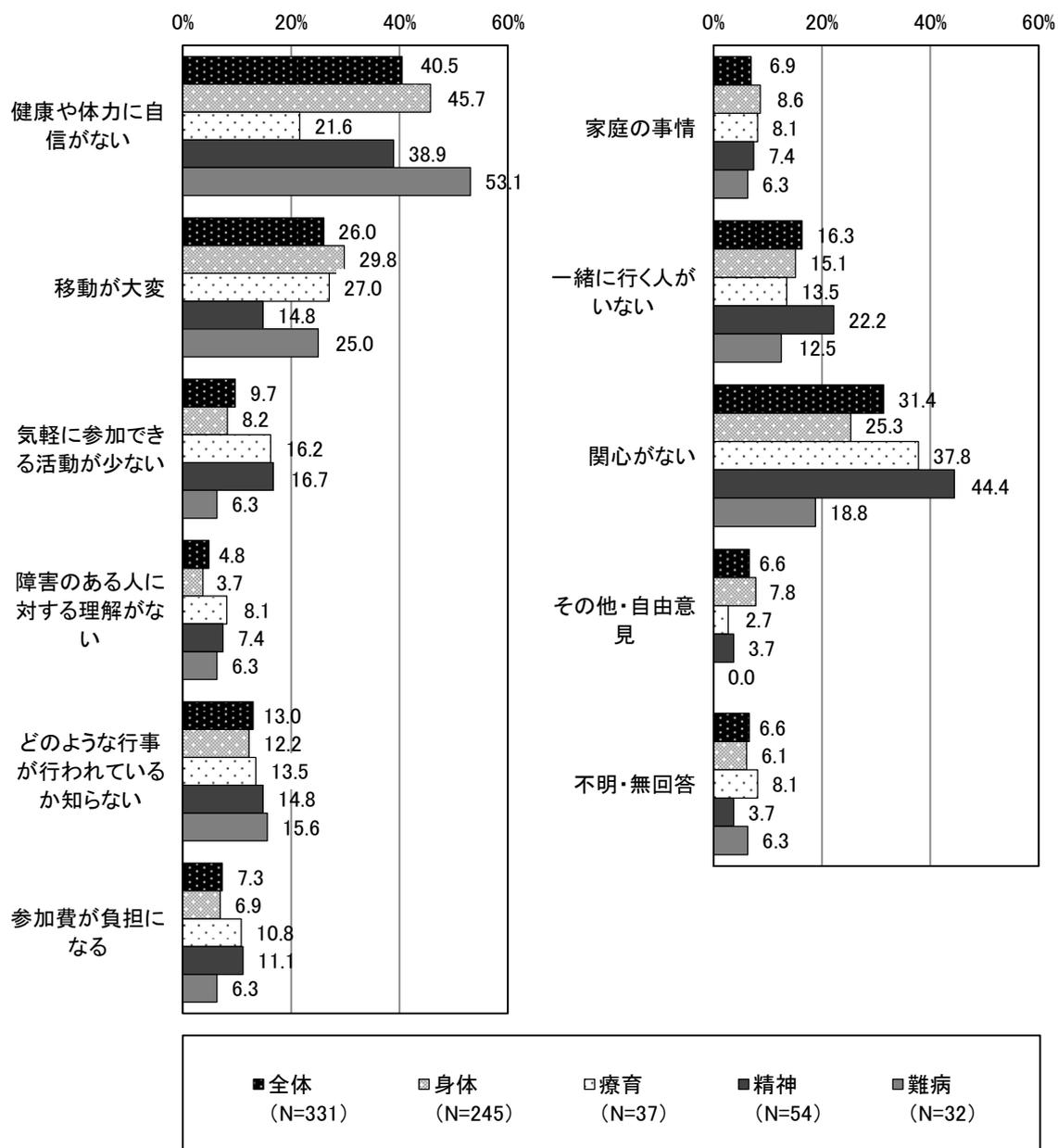
※問 40,41 で「参加していない」「参加したいと思わない」と回答した方

問 42 参加していない、参加したいと思わない方は、なぜですか。(〇はいくつでも)

参加したいと思わない理由についてみると、全体では「健康や体力に自信がない」が40.5%と最も高く、次いで「関心がない」が31.4%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体・難病では「健康や体力に自信がない」が最も高く、身体では45.7%、難病では53.1%となっています。療育・精神では「関心がない」が最も高く、療育では37.8%、精神では44.4%となっています。

次いで、身体・療育・難病では「移動が大変」が、身体では29.8%、療育では27.0%、難病では25.0%となっています。精神では「健康や体力に自信がない」が38.9%となっています。



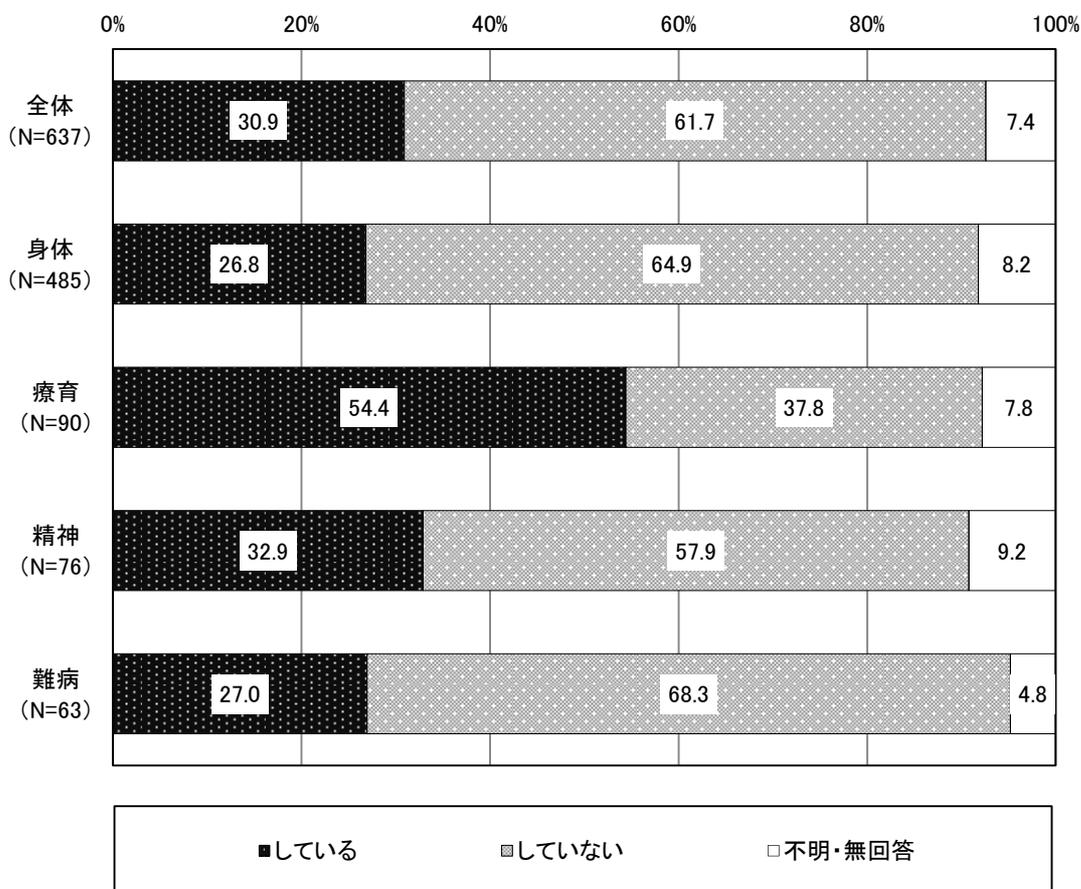
2-6 雇用・就業について

問 43 あなたは現在、仕事をしていますか。

(会社・福祉施設・作業所などでの就労も含む)

現在仕事をしているかについてみると、全体では「していない」が61.7%、「している」が30.9%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体・精神・難病では「していない」が高く、身体では64.9%、精神では57.9%、難病では68.3%となっています。療育では「している」が54.4%と高くなっています。



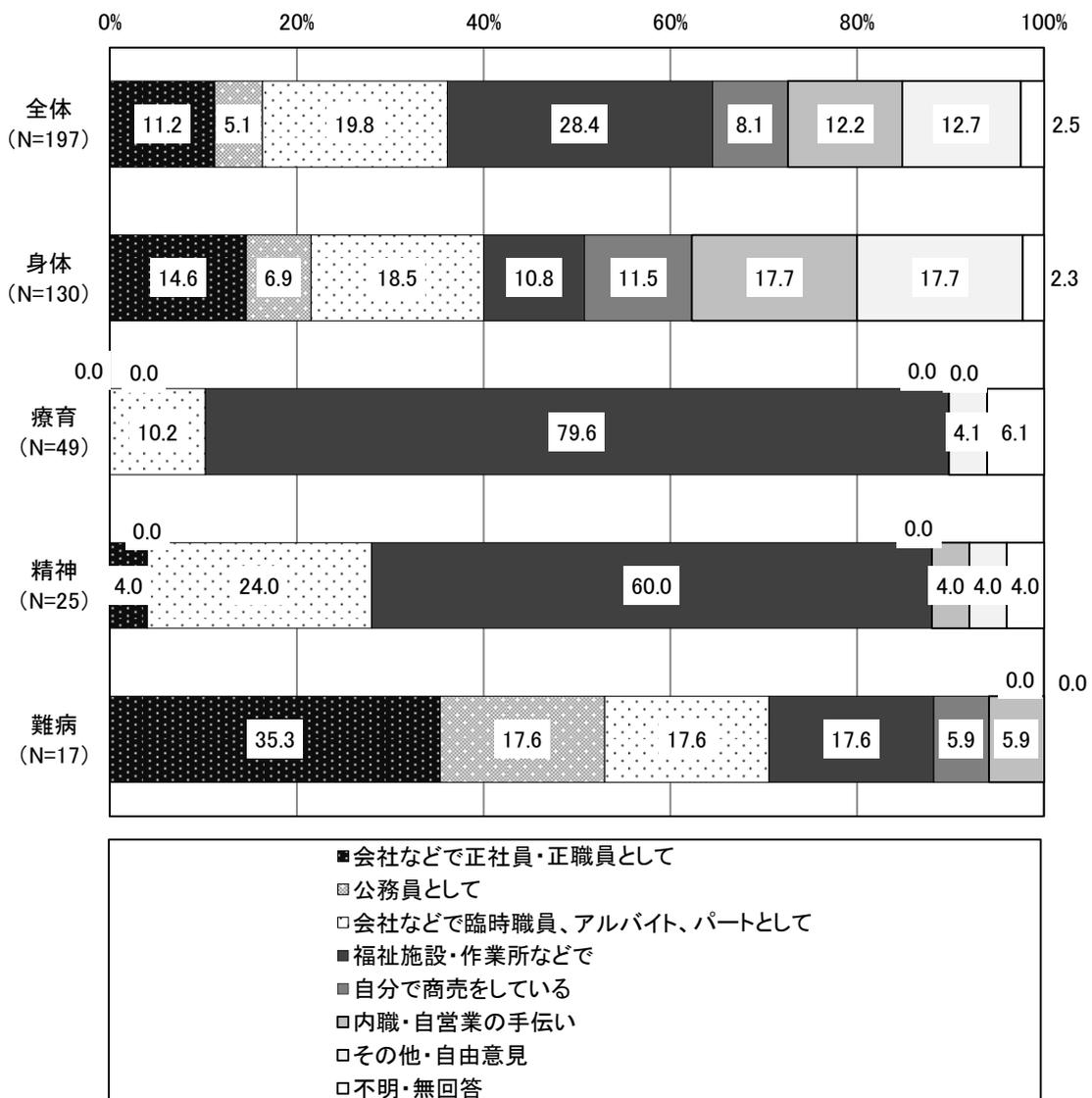
※問 43 で「している」と回答した方

問 44 どこで働いていますか。(1つに○)

どこで働いているかについてみると、全体では「福祉施設・作業所などで」が28.4%と最も高く、次いで「会社などで臨時職員、アルバイト、パートとして」が19.8%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体では「会社などで臨時職員、アルバイト、パートとして」が18.5%と最も高くなっています。療育・精神では「福祉施設・作業所などで」が最も高く、療育では79.6%、精神では60.0%となっています。難病では「会社などで正社員・正職員として」が35.3%と最も高くなっています。

次いで、身体では「内職・自営業の手伝い」が17.7%、療育・精神では「会社などで臨時職員、アルバイト、パートとして」が、療育では10.2%、精神では24.0%となっています。難病では「公務員として」「会社などで臨時職員、アルバイト、パートとして」「福祉施設・作業所などで」がそれぞれ17.6%となっています。

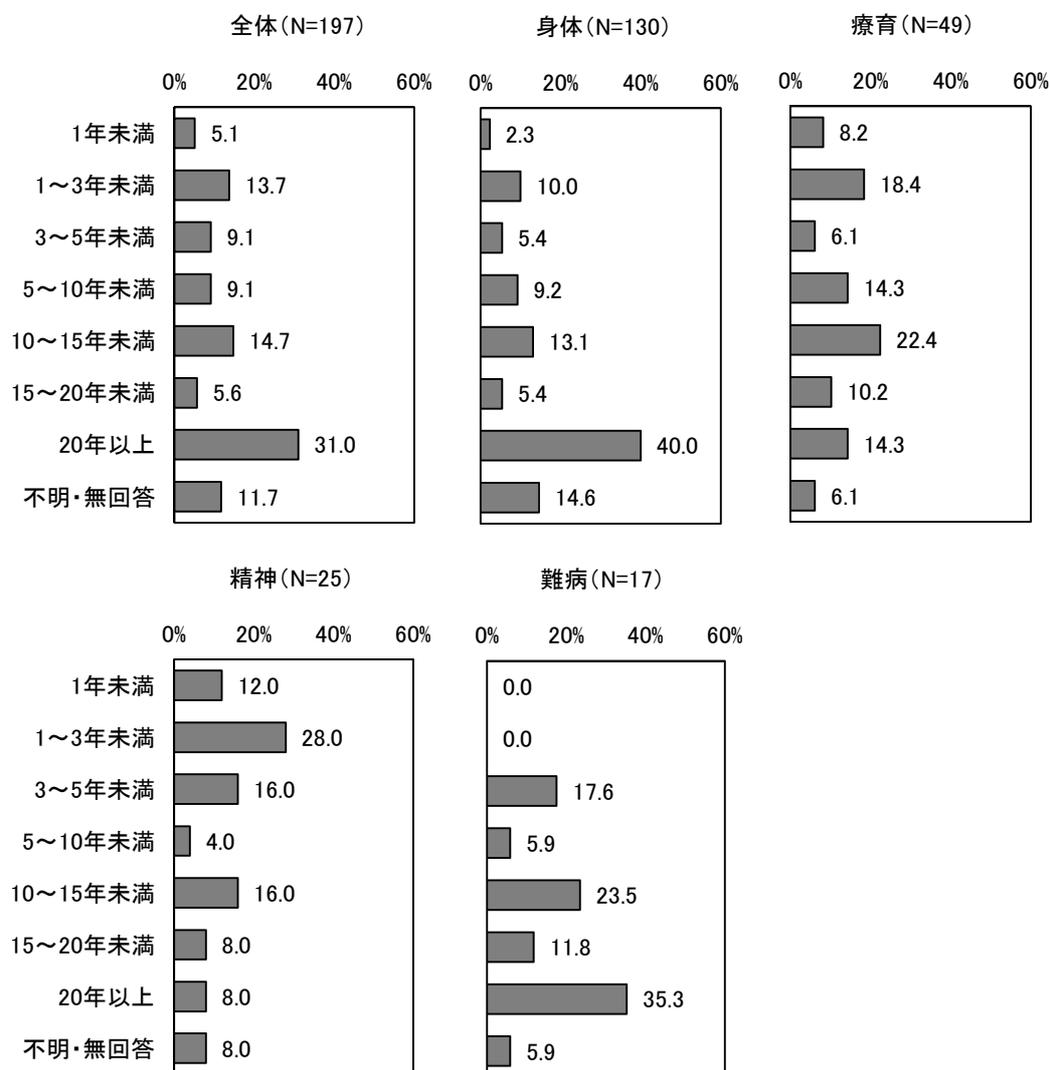


問 45 現在の仕事場で何年働いていますか。(1つに○)

現在の仕事場で何年働いているかについてみると、全体では「20年以上」が31.0%と最も高く、次いで「1～3年未満」が13.7%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体・難病では「20年以上」が最も高くなっており、身体では40.0%、難病では35.3%となっています。療育では「10～15年未満」が22.4%と最も高く、精神では「1～3年未満」が28.0%と最も高くなっています。

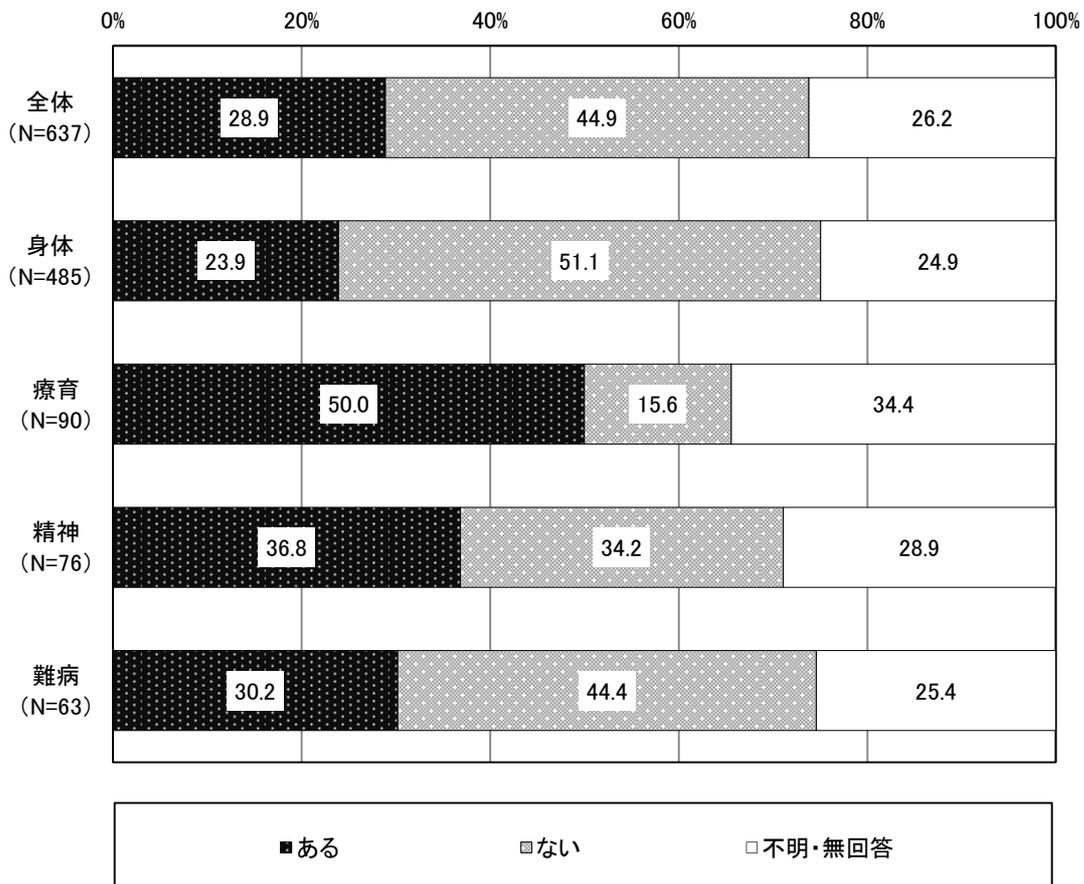
次いで、身体・難病では「10～15年未満」が、身体では13.1%、難病では23.5%、療育では「1～3年未満」が18.4%、精神では「10～15年未満」が16.0%となっています。



問 46 あなたは、働く希望はありますか。(1つに○)

働く希望があるかについてみると、全体では「ない」が44.9%、「ある」が28.9%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体・難病では「ない」が高く、身体では51.1%、難病では44.4%となっています。療育・精神では「ある」が高く、療育では50.0%、精神では36.8%となっています。

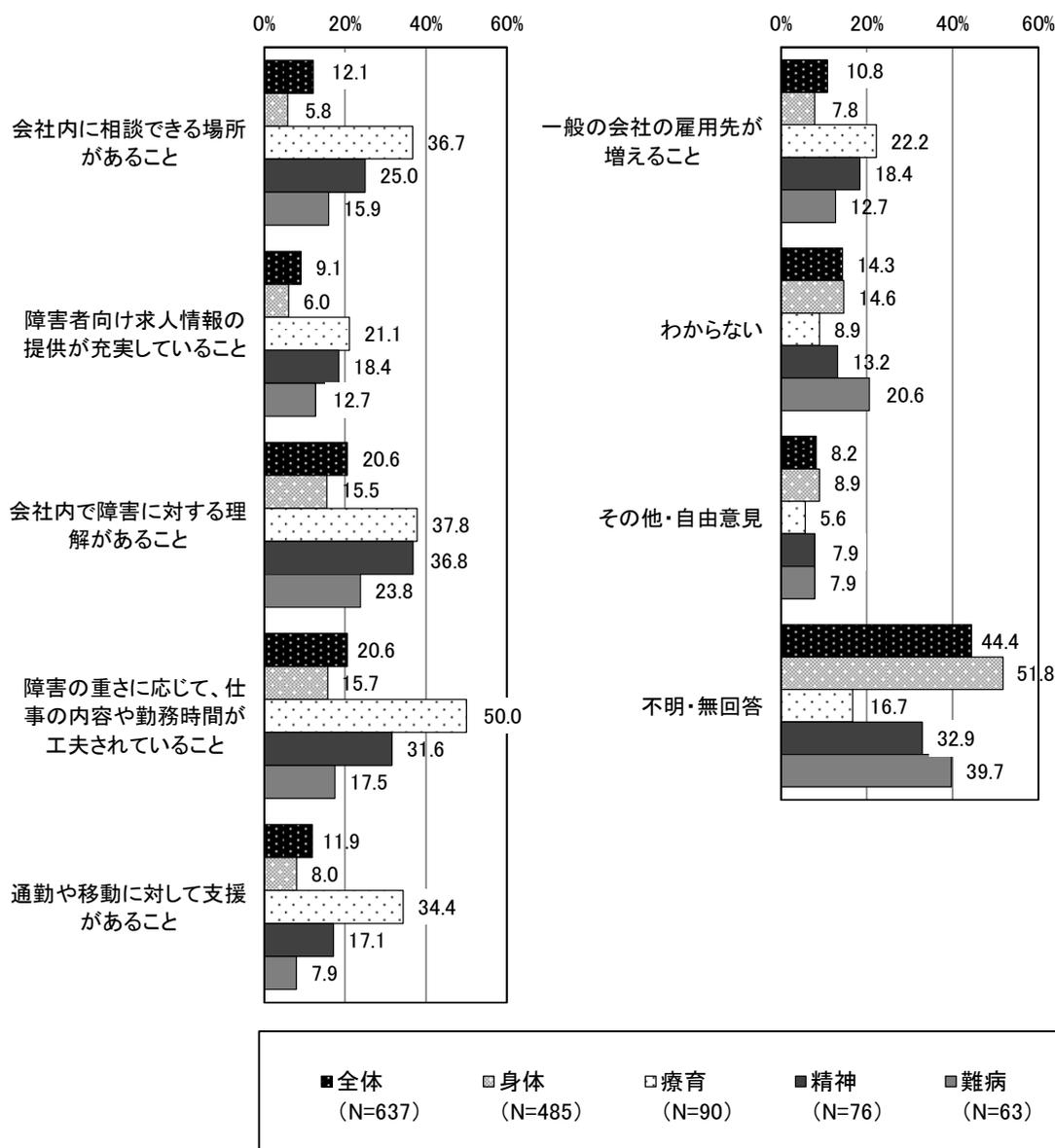


問 47 あなたは、働くにあたり、どのような配慮を必要としますか。(〇はいくつでも)

働くにあたり、どのような配慮を必要とするかについてみると、全体では「会社内で障害に対する理解があること」および「障害の重さに応じて、仕事の内容や勤務時間が工夫されていること」が20.6%と最も高く、次いで「会社内に相談できる場所があること」が12.1%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体・療育では「障害の重さに応じて、仕事の内容や勤務時間が工夫されていること」が最も高くなっており、それぞれ15.7%、50.0%となっています。精神・難病では「会社内で障害に対する理解があること」が最も高くなっており、それぞれ36.8%、23.8%となっています。

次いで、身体・療育では「会社内で障害に対する理解があること」がそれぞれ15.5%、37.8%となっており、精神・難病では「障害の重さに応じて、仕事の内容や勤務時間が工夫されていること」がそれぞれ31.6%、17.5%となっています。



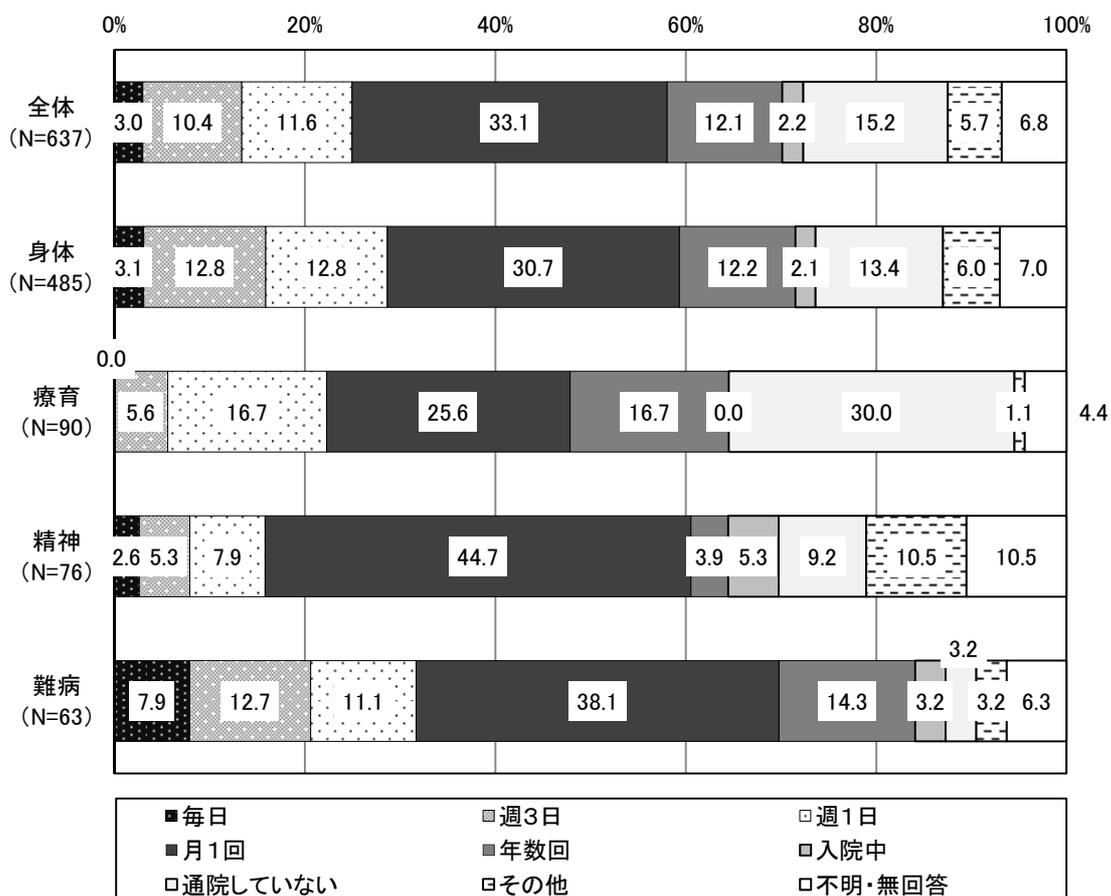
2-7 保健・医療について

問 48 あなたは現在、通院（リハビリを含む）していますか。（1つに○）

現在、通院しているかについてみると、全体では「月1回」が33.1%と最も高く、次いで「通院していない」が15.2%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体・精神・難病では「月1回」がそれぞれ30.7%、44.7%、38.1%と最も高くなっています。療育では「通院していない」が30.0%と最も高くなっています。

次いで、身体および精神では「通院していない」がそれぞれ13.4%、9.2%となっており、療育では「月1回」が25.6%となっています。難病では「年数回」が14.3%となっています。

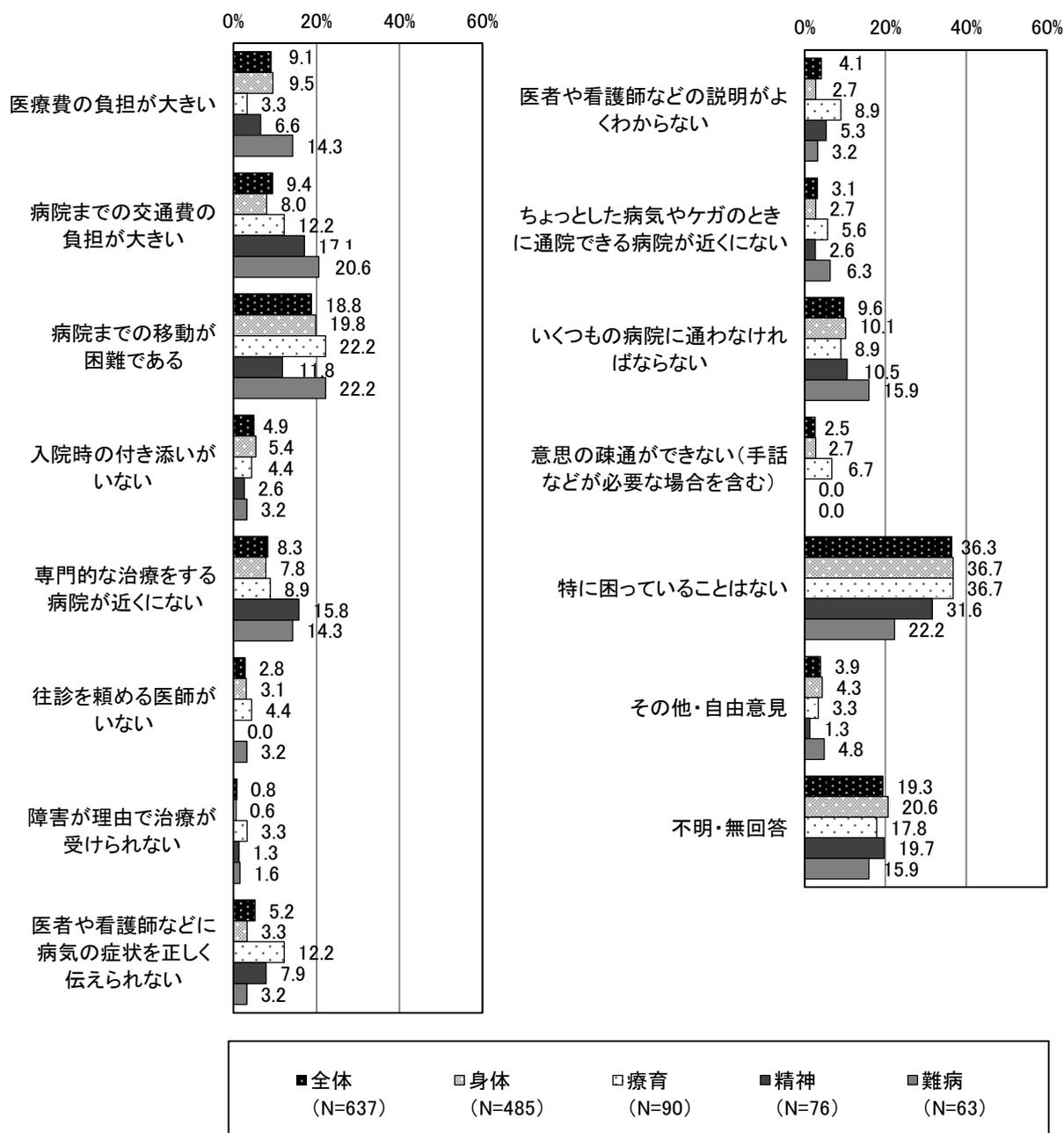


問 49 通院するうえで困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

通院するうえで困っていることについてみると、「病院までの移動が困難である」が18.8%と最も高くなっており、次いで「いくつもの病院に通わなければならない」が9.6%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体・療育・難病では「病院までの移動が困難である」がそれぞれ19.8%、22.2%、22.2%と最も高くなっています。精神では「病院までの交通費の負担が大きい」が17.1%と最も高くなっています。

次いで、身体では「いくつもの病院に通わなければならない」が10.1%、療育・難病では「病院までの交通費の負担が大きい」がそれぞれ12.2%、20.6%、精神では「専門的な治療をする病院が近くにない」が15.8%となっています。



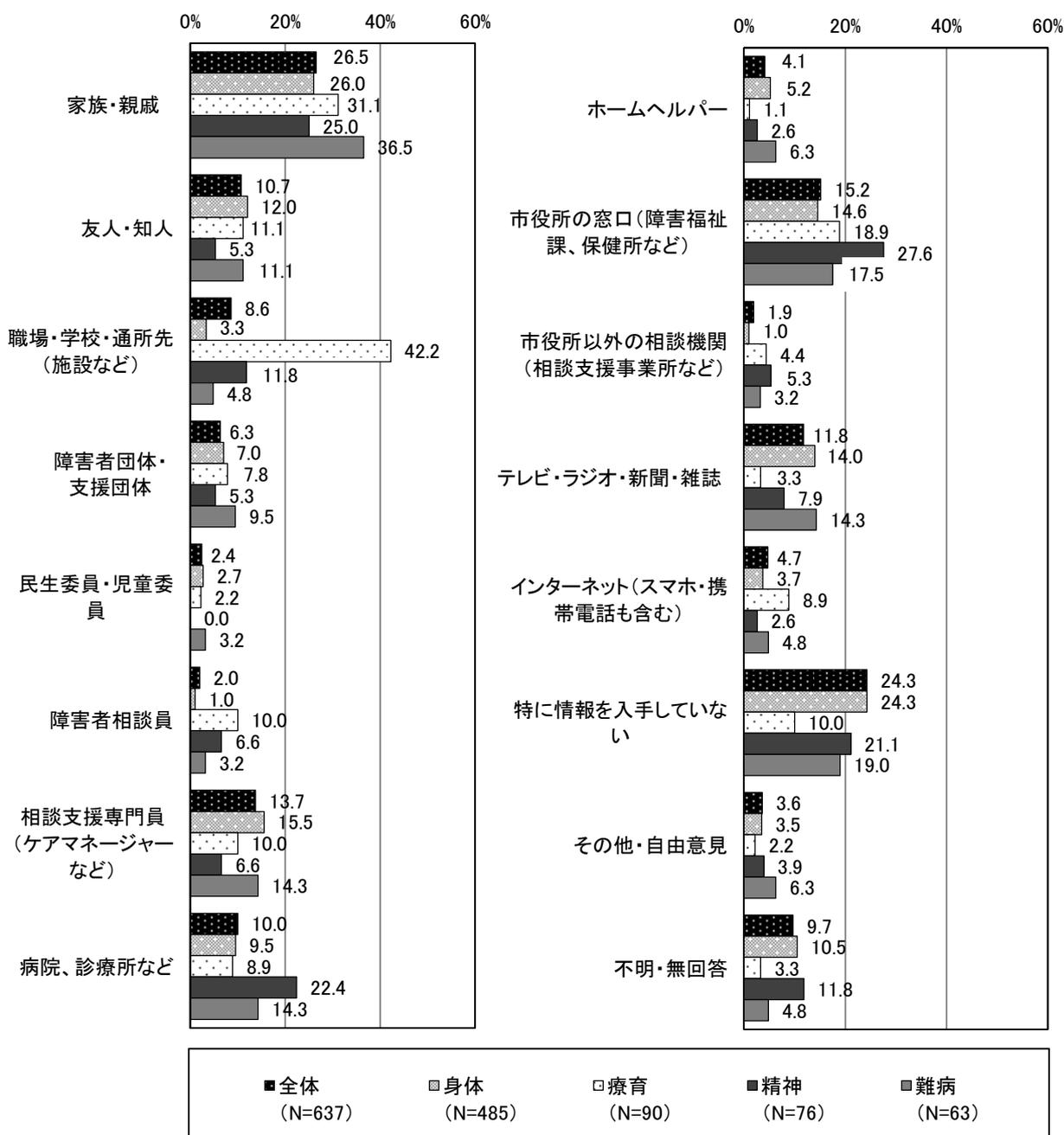
2-8 情報・コミュニケーションについて

問 50 あなたは福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。(1つに○)

福祉サービスの情報入手手段についてみると、全体では「家族・親戚」が26.5%と最も高くなっており、次いで「市役所の窓口」が15.2%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体・難病では「家族・親戚」が最も高く、それぞれ26.0%、36.5%となっています。療育では「職場・学校・通所先」が42.2%と最も高くなってしています。精神では「市役所の窓口」が27.6%と最も高くなってしています。

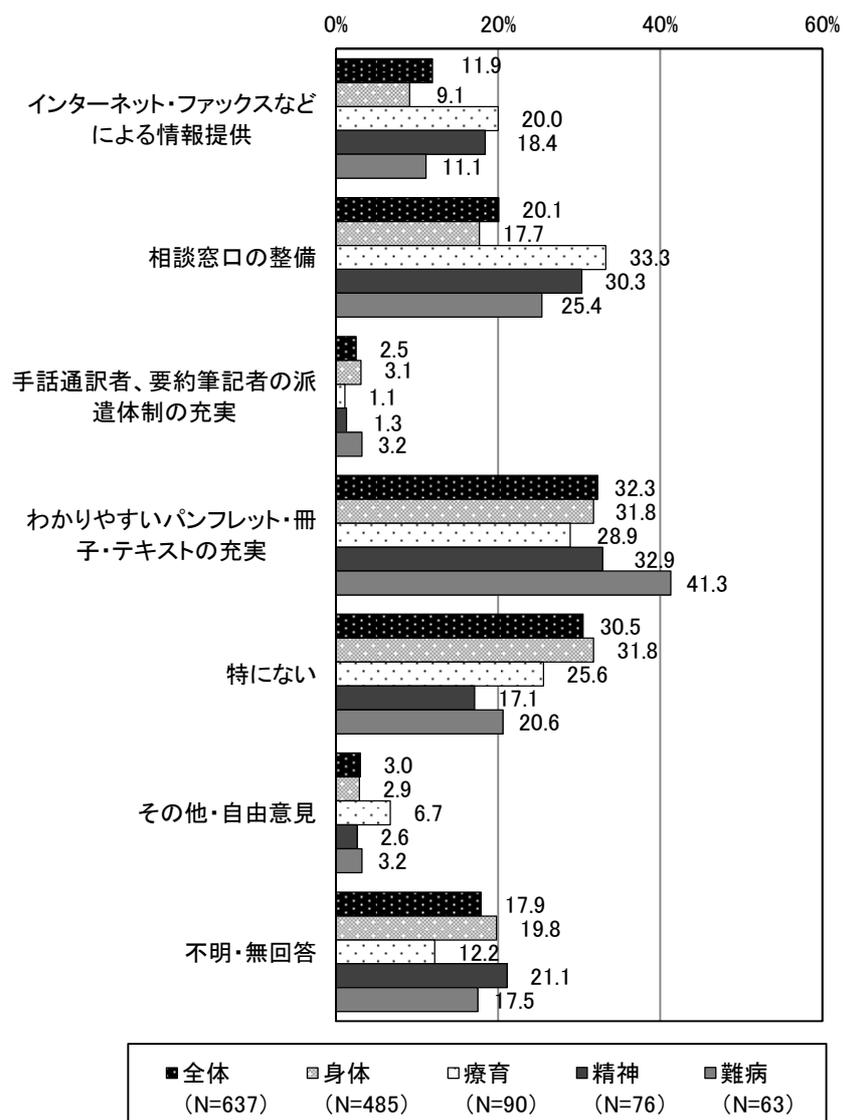
次いで、身体では「相談支援専門員」が15.5%、療育および精神では「家族・親戚」がそれぞれ31.1%、25.0%、難病では「市役所の窓口」が17.5%となっています。



問 51 あなたは情報収集・コミュニケーションに関し、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

情報収集・コミュニケーションにおいて必要なことについてみると、全体では「わかりやすいパンフレット・冊子・テキストの充実」が32.3%と最も高くなっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体・精神・難病では「わかりやすいパンフレット・冊子・テキストの充実」がそれぞれ31.8%、32.9%、41.3%と最も高く、療育では「相談窓口の整備」が33.3%と最も高くなっています。



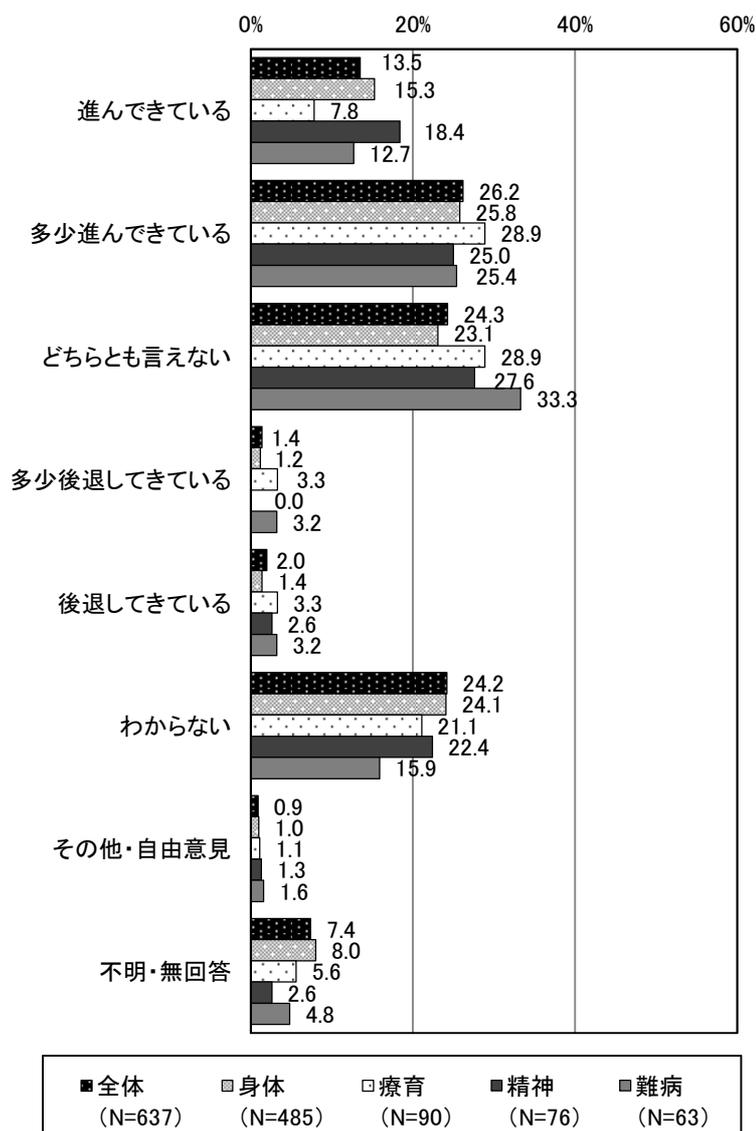
2-9 今後の施策の重要度について

問 52 「障害」に対して、広く市民の理解や地域・行政の社会的な支援が進んでいると思いますか。(1つに○)

「障害」に対する理解や社会的支援の進み具合についてみると、全体では「多少進んでいる」が26.2%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が24.3%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体では「多少進んでいる」が25.8%と最も高くなっています。療育では「多少進んでいる」および「どちらとも言えない」がそれぞれ28.9%と最も高くなっています。精神・難病では「どちらとも言えない」が最も高く、それぞれ27.6%、33.3%となっています。

次いで、身体では「どちらとも言えない」が23.1%、療育は「進んでいる」が7.8%、精神・難病では「多少進んでいる」がそれぞれ25.0%、25.4%となっています。

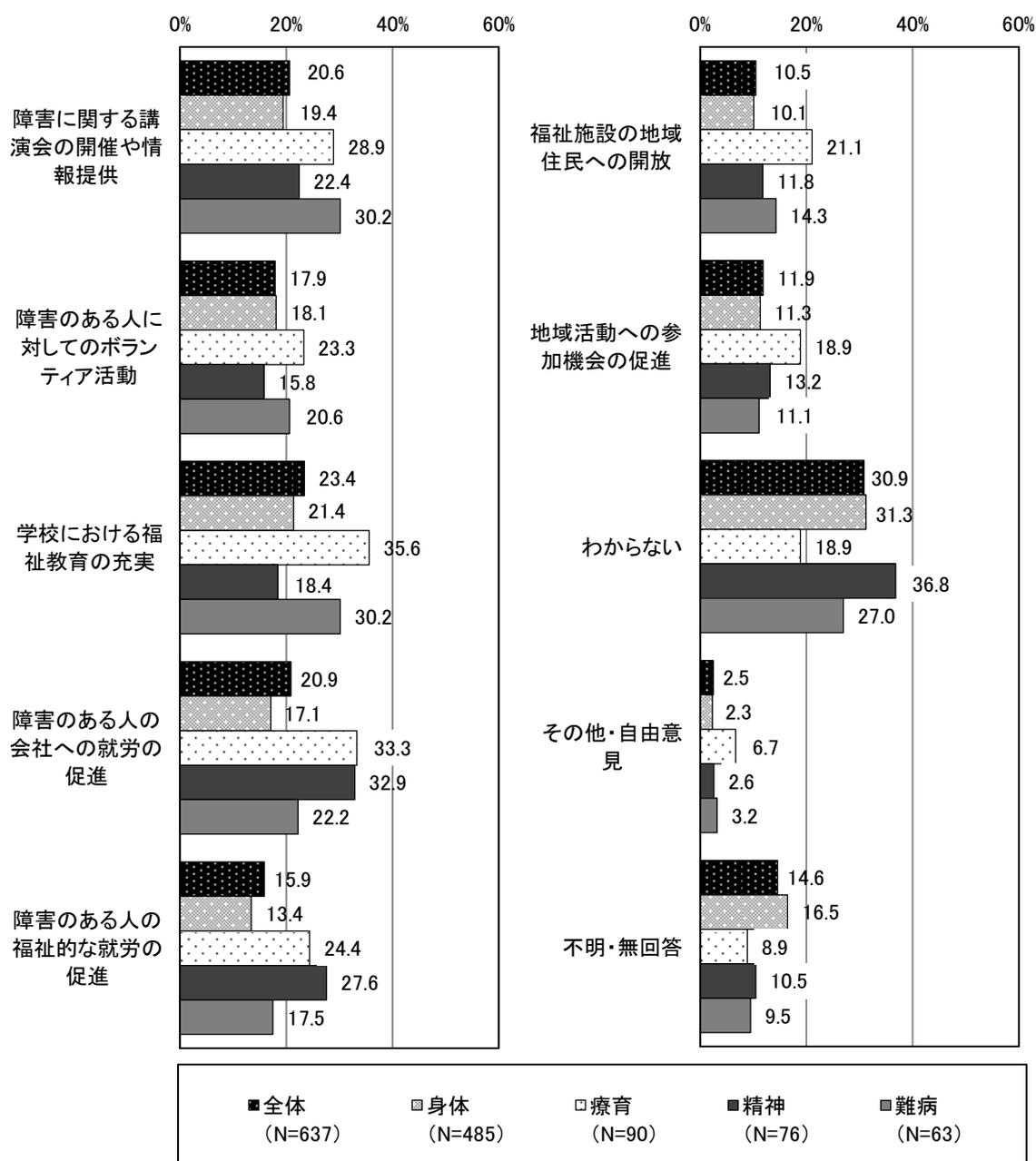


問 53 「障害」に対して、広く市民の理解を深めるためには何が必要とご思いますか。
 (〇はいくつでも)

「障害」に対する理解促進に必要なことについてみると、全体では「学校における福祉教育の充実」が23.4%と最も高く、次いで「障害のある人の会社への就労の促進」が20.9%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体・療育では「学校における福祉教育の充実」がそれぞれ21.4%、35.6%と最も高くなっています。精神では「障害のある人の会社への就労の促進」が32.9%と最も高くなっています。難病では「障害に関する講演会の開催や情報提供」「学校における福祉教育の充実」がそれぞれ30.2%と最も高くなっています。

次いで、身体では「障害に関する講演会の開催や情報提供」が19.4%、療育・難病では「障害のある人の会社への就労の促進」がそれぞれ33.3%、22.2%、精神では「障害のある人の福祉的な就労の促進」が27.6%となっています。

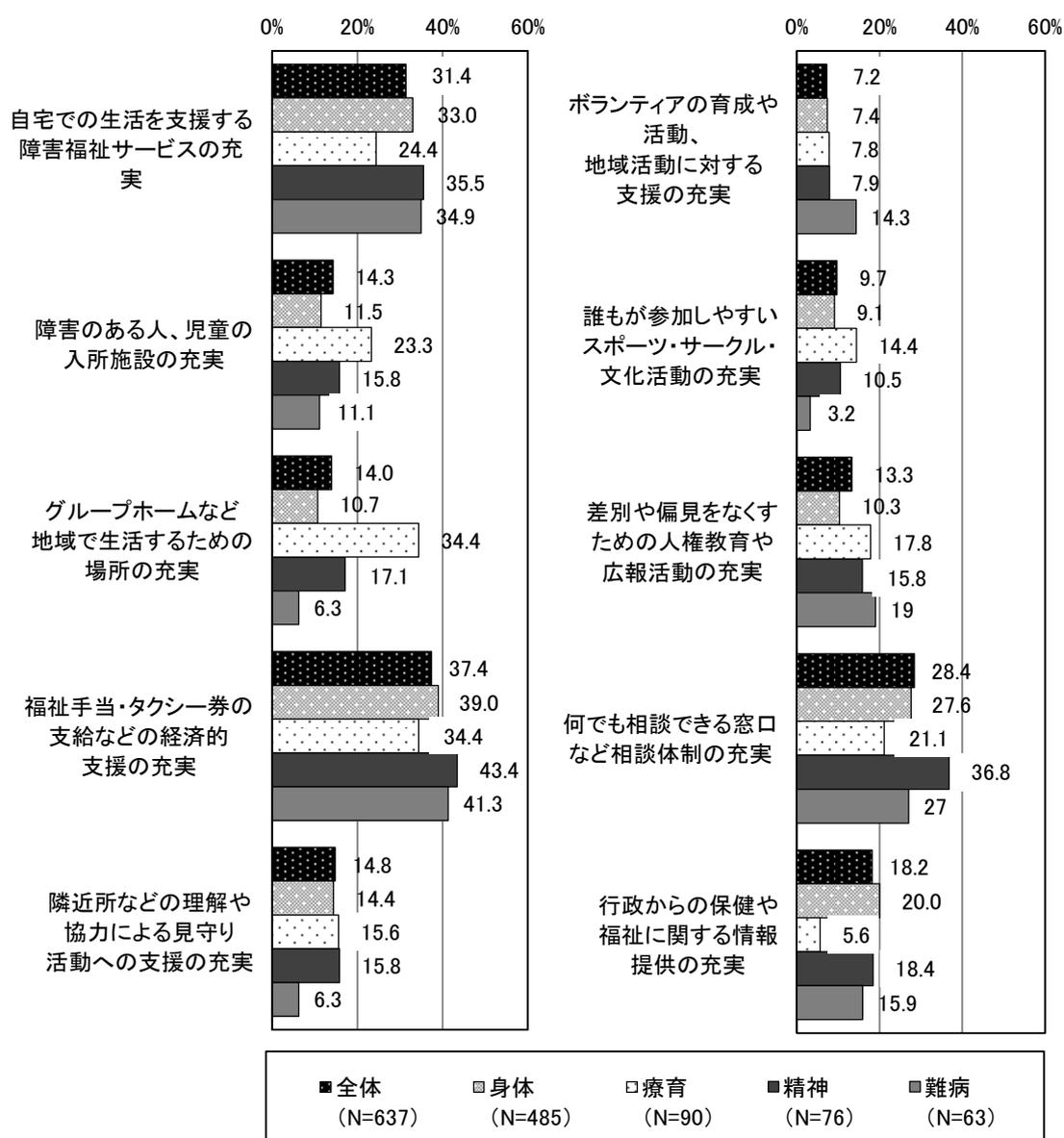


問 54 紀の川市の障害福祉施策について、あなたが重要と思う施策はどれですか。
 (〇は5つまで)

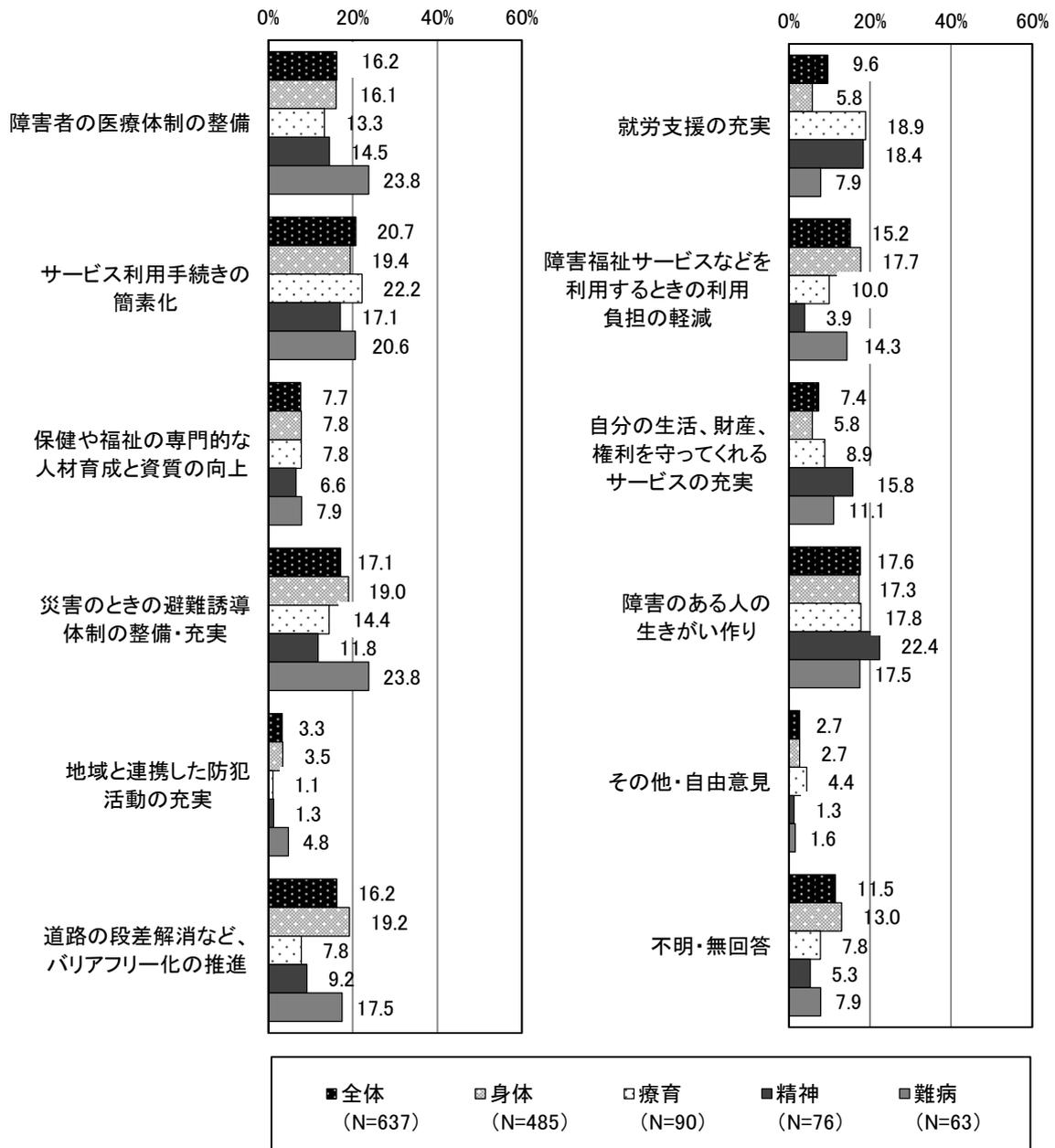
重要と思う施策についてみると、全体では「福祉手当・タクシー券の支給などの経済的支援の充実」が37.4%と最も高く、次いで「自宅での生活を支援する障害福祉サービスの充実」が31.4%となっています。

障害者手帳および難病認定別にみると、身体・療育・精神・難病すべてにおいて「福祉手当・タクシー券の支給などの経済的支援の充実」が最も高くなっており、それぞれ39.0%、34.4%、43.4%、41.3%となっています。

次いで、身体・療育・難病では「自宅での生活を支援する障害福祉サービスの充実」がそれぞれ33.0%、24.4%、34.9%となっており、精神では「何でも相談できる窓口など相談体制の充実」が36.8%となっています。



問 54 紀の川市の障害福祉施策について、あなたが重要と思う施策はどれですか。
(〇は5つまで)



2-10 自由意見

問 55 障害者（児）施策全般について、ご意見・要望がありましたら、自由にご記入ください。

【主なご意見】

市政・施策について
毎月一回ぐらい行政から問い合わせがほしい。
「身体障害者手帳」の更新手続きを簡素化してほしいです。更新するにあたり「病院の証明書」が必要ですが、これには費用が発生します。今後働けなくなった場合を考えると支出を最小限に抑えたいため、手続きの際も自己申告のみに変更していただきたいと思います。
紀の川市の障害福祉行政は、とても充実していると思っています。これからもよろしくお願いします。

施設・設備について
入所できる施設が紀の川市にはないに等しいので、増やしていただきたい。
作業所の充実。親から離れて自立して生活できる場所があれば、家族の将来への不安が軽くなると思います。
発達障害がもとで、学校に通えなくなった。子どもの学校にかわる場所が欲しい。
足の不自由な人にとっては、「手すりのない階段」や「横に極端に傾斜した歩道」が非常に厳しい。普及啓発およびきめ細やかなバリアフリーの推進をお願いしたい。

障害者福祉の制度について
医療費の負担支援が必要な人がいるのに、病気の区分で大きく分かれているため、障害の等級も見直してほしい。
65 歳以上からは介護保険が優先されるため、障害者施設ではなく高齢者施設を利用しなくてはならない。高齢者施設では障害者への支援に戸惑いがあるように感じるため、障害者施設と高齢者施設の両方を希望に合わせて利用出来ればと考える。
福祉施策の後退はやめてもらいたい。前向きな施策・独自の施策を実施してほしい。

サービスについて
サービス利用手続きの簡素化をお願いしたいです。
等級によりどのようなサービスや支援を受けられるのかがわからないので、パンフレットをつくるなどして、分かりやすくして欲しいと思います。また、手帳が交付された時点で、どのような福祉サービスが受給できるのか詳しく説明してほしいです。
ヘルパーの方に、洗濯物をたたむなど、もう少し手伝いをお願いしたい。
給付金をもう少し増やしていただければと思います。

将来について
どのようなサービスがあり、どのようなサービスが受けられるのか、どこに相談しに行けばよいのか、将来この子はどうなるのかとずっと不安に思っています。このような不安が解消されるよう、相談窓口や福祉施設が身近に感じられる取り組みが必要だと思います。
これからは技術の発展によって仕事はなくなる一方であり、ましてや障害者が仕事を獲得できることは、少なくなると思います。弱者に対するベーシックインカム等は重要ではないでしょうか。
ひとり暮らしのため病気になった時を思うと心配です。高齢のため、今後どうすべきかと毎日考えています。

差別について
職場での差別をなくしたい。
障害者の子どもは、他人からいやな目でみられるのがかわいそうです。周囲の人も、もう少しあたたかな目で見てやってほしいです。
障害を持っている人に陰でこそこそしたり、手話がわからないのにふざけて手話もどきをするのをやめていただきたい。障害を持っている人に対する態度を改めてほしい。

就労について
就労支援についての情報提供を進めてほしいです。
障害者雇用の法律で、雇用人数を増やしてほしい。
障害を持つ人の就労や、文化社会に関する活動の企画等の機会づくりに力を入れてほしいと思います。

費用負担について

公共機関が無料になってほしいと思います。

利用料金を安くしてほしい。介護者に対しても支援してほしい。

現在収入が年金であり、今少し働きたいと思っているが、障害がブレーキとなりそれも出来ず、結果として医療費の負担が大きくなっている。

意識啓発について

障害者に対する理解は進んでいると感じていますが、まだまだ個人では、障害者認定を受けた本人が、周囲の人に知られたくないために黙っている人がいます。今後も障害者に対する理解を深める活動の継続をお願いします。

障害のある人も無い人も協力し合って差別のない社会にしてほしい。

発達障害に対する一般の方々の理解が進んでいない。対人コミュニケーションの困難さの問題であるのに教育上で配慮がなされていない。

交通について

巡回バスの回数を増やしてほしい。買い物に行こうと思っても片道しか利用できない。

コミュニティバスのノンステップ化。通院時の交通費の負担減。

交通手段が分かりません。現在 85 歳で、自家用車を持っていないため、単車を運転して日赤まで通院しています。(介護)バス・タクシーの送迎車等時間も知りたいです。

相談体制について

保健師やスタッフにどのようなことを聞いたらよいのかが難しい。

民生委員の方は忙しいようで、相談の際には携帯に電話していただければ時間調整します、と名刺を渡されました。名刺はいただきましたが相談には行っておりません。なにか、民生委員としてのやさしさが無いように思います。

教育について

中学生、高校生にもっと人権教育をしてほしい。障害者に温かい手を差し伸べる子どもたちがひとりでも多く育ってほしいです。

グレーゾーンの子どもと一般の子どもとを隔離しようとしているように感じます。親としては、社会に適應できないのかとショックを受けます。インクルーシブ教育に重点を置いていただきたいです。

健康状態について

本人は最近認知症の症状があるが、肢体不自由であるため家から出られず、心配はあまり

ない。しかし、自身は老齢であるため、看護に疲れている。
私は両足の膝の関節を手術しており、両足が曲がりません。夫も寝たきり状態なので手がかかりますので、歩けなくなったらどうしようかと思っています。

医療について

障害者の入院においては、完治するまでの間入院出来るように病院の体制を整えてほしい。
現時点では、病状に関係なく三ヶ月で転院となる。

関係団体について

障害児者父母の会に参加している小中学生がすごく少ないです。手帳をもらった人に加入を進めてほしいです。

災害対策について

障害者が入居する施設や住宅における耐震化の推進に取り組んでほしい。

アンケートについて

アンケートの質問内容を具体的にしてほしい。「充実」などの役所言葉は使わないでほしい。
このアンケートについて、回答者本人は認知症のため、全ての問に答えることができません。

特定疾患の認定を受けていることから、このようなアンケートが届いているのだと思うが、子どもに対してのアンケート内容ではないと思う。

高齢者は、これだけの記入をするのにたいへんな時間と努力を要しますので、ご配慮下さい。

その他

現在身体障害3級を受けていますが、私よりもずっと重い障害を背負っている人が多くいらっしゃいます。その方たちの要望に応えていただきたいと思っています。

同じ障害を持つ人のサークル活動を計画してください。

施策はいろいろあると思いますが、教えてくれる人には、詳しく分かる方法を考えて欲しいです。

家族がいるから何も不安はありません。

3. 地域福祉計画アンケート調査結果(一部抜粋)

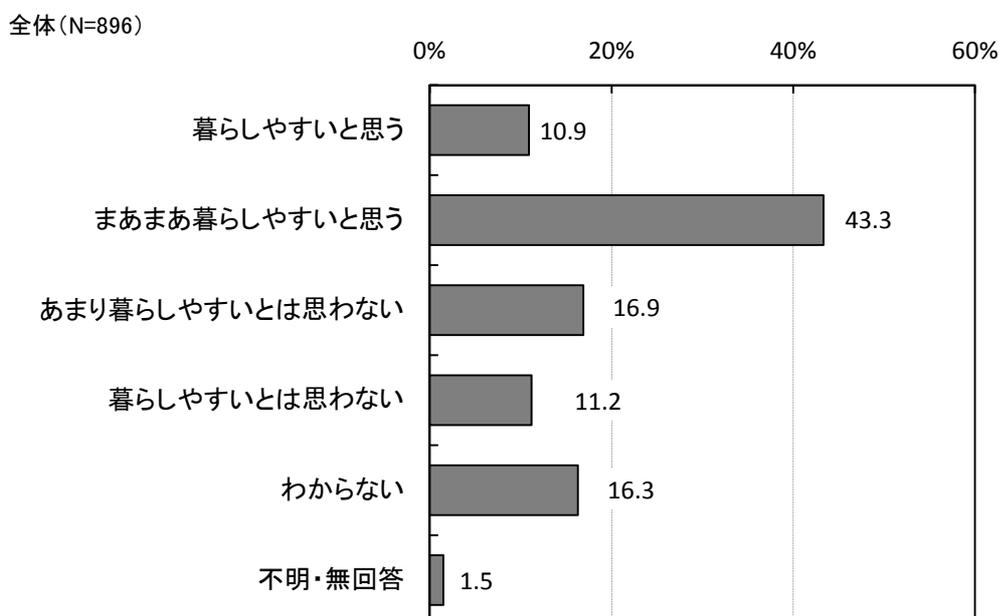
平成 28 年 10 月 14 日～平成 28 年 10 月 28 日の間に行われた「紀の川市地域福祉計画策定における市民アンケート調査」より、障害者基本計画に関連する調査結果を掲載しています。

■調査の概要

	タイトル
調査対象者	紀の川市在住の18歳以上の男女
配布数	2,000人
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収
回収数	896人
回収率	44.8%
調査期間	平成 28 年 10 月 14 日～平成 28 年 10 月 28 日

問 8 紀の川市は子どもや高齢者、障害のある人などにとって暮らしやすいまちだと思いますか。(1つに○)

子どもや高齢者、障害のある人が暮らしやすいかについてみると、「まあまあ暮らしやすいと思う」が43.3%と最も高く、次いで「あまり暮らしやすいとは思わない」が16.9%となっています。

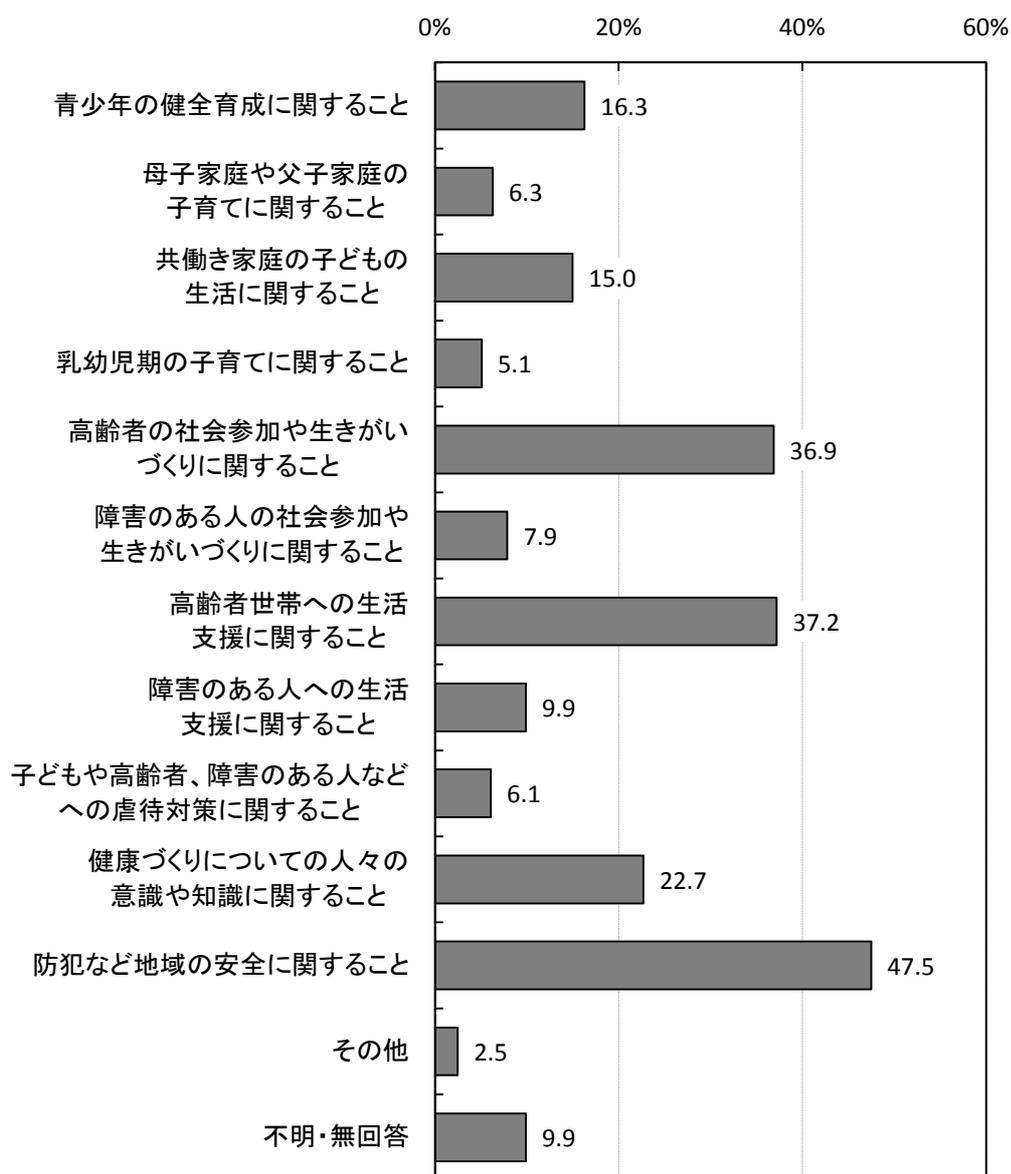


問 13 あなたがお住まいの地域には、地域住民が取り組むべき課題や問題としてどのようなことがあると思いますか。（3つまで○）

地域で取り組むべき課題についてみると、「防犯など地域の安全に関すること」が47.5%と最も高く、次いで「高齢者世帯への生活支援に関すること」が37.2%となっています。

「障害のある人の社会参加や生きがいづくりに関すること」は7.9%、「障害のある人への生活支援に関すること」は9.9%となっています。

全体(N=896)

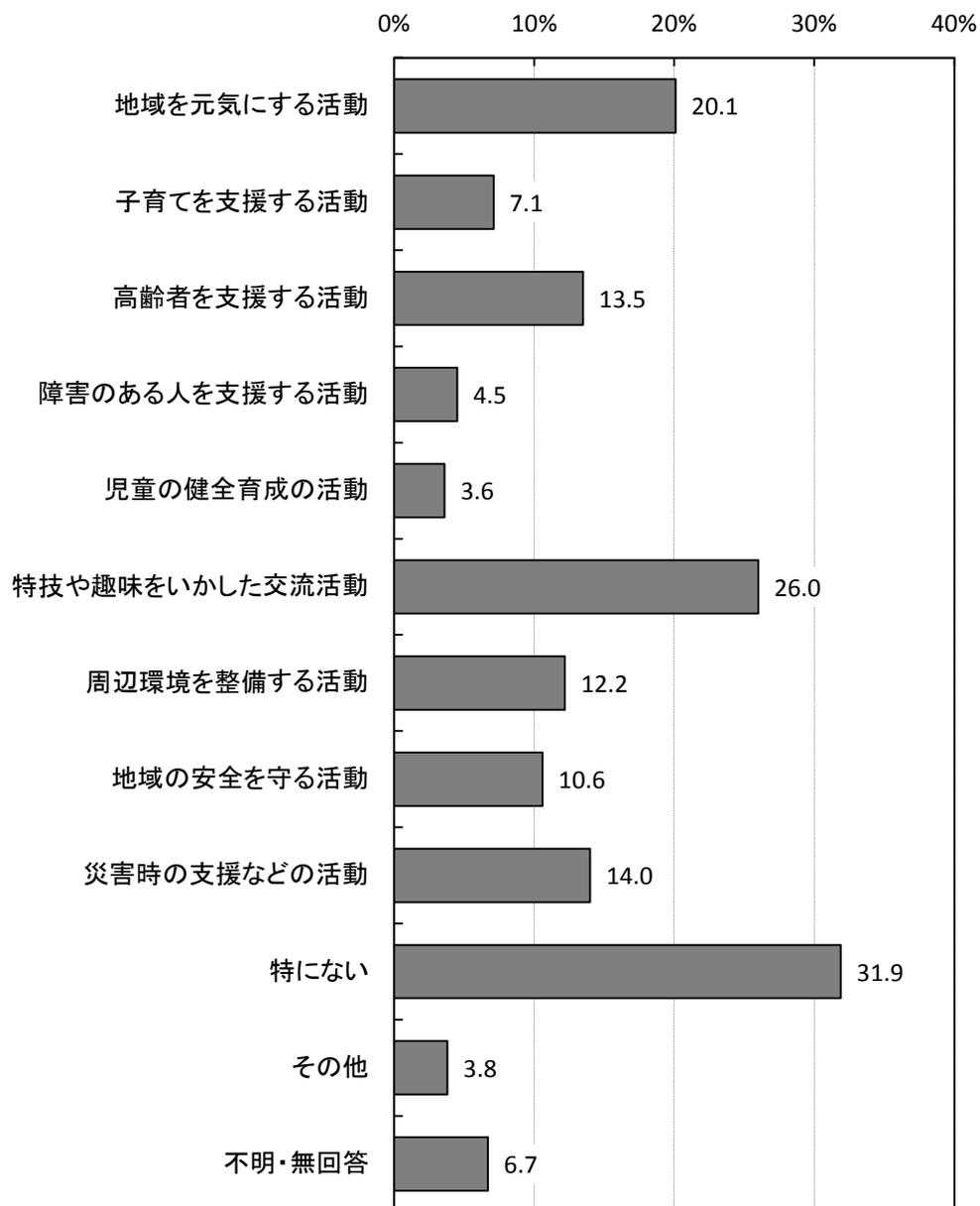


問 20 あなたが今後してみたい地域活動は何ですか。(3つまで○)

今後してみたい地域活動についてみると、「特技や趣味をいかした交流活動」が26.0%と最も高くなっており、次いで「地域を元気にする活動」が20.1%となっています。

「障害のある人を支援する活動」は4.5%となっています。

全体(N=896)

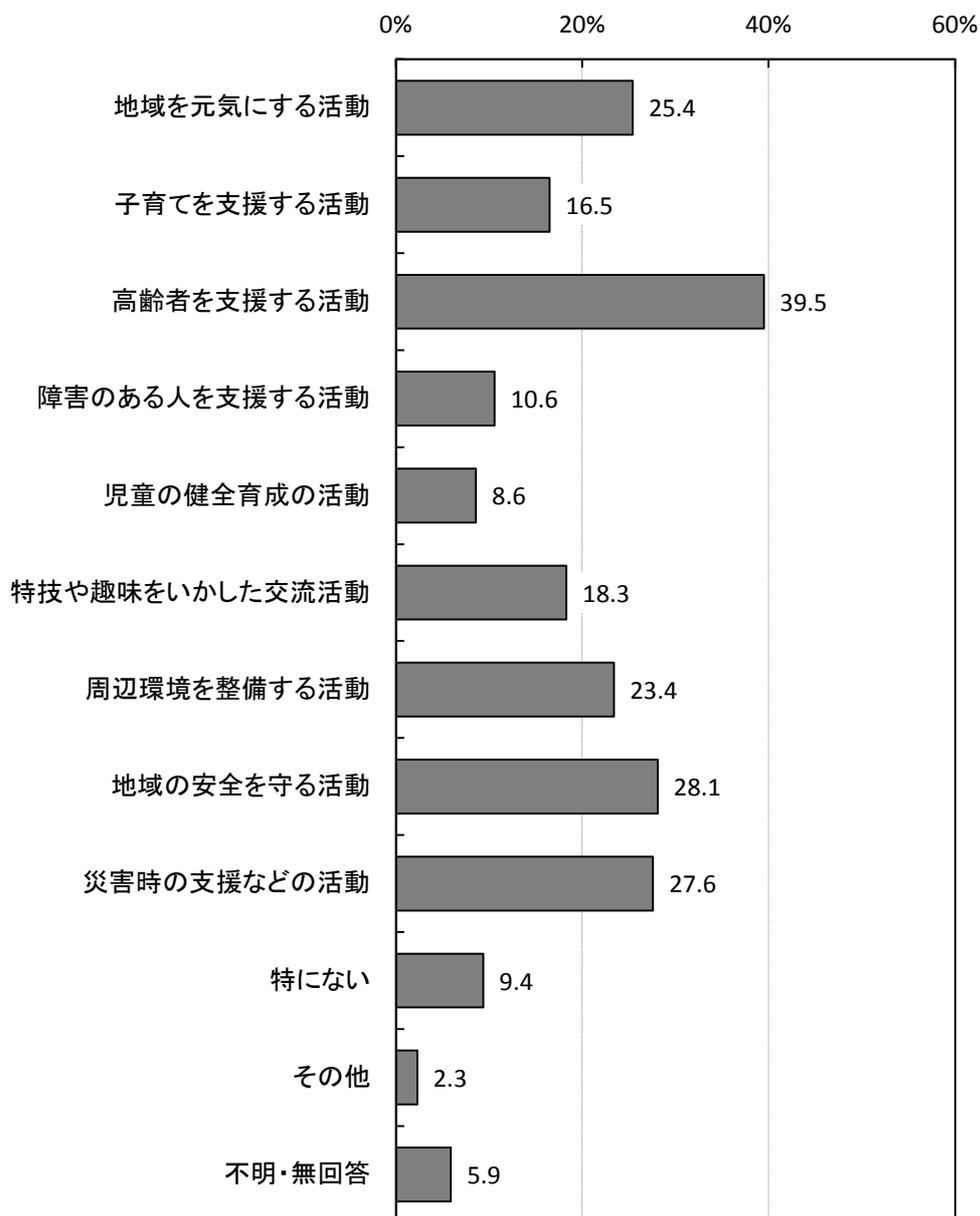


問 21 あなたは紀の川市に今後どのような地域活動が必要だと思いますか。(3つまで○)

今後必要だと思う地域活動についてみると、「高齢者を支援する活動」が 39.5%と最も高くなっており、次いで「地域の安全を守る活動」が 28.1%となっています。

「障害のある人を支援する活動」は 10.6%となっています。

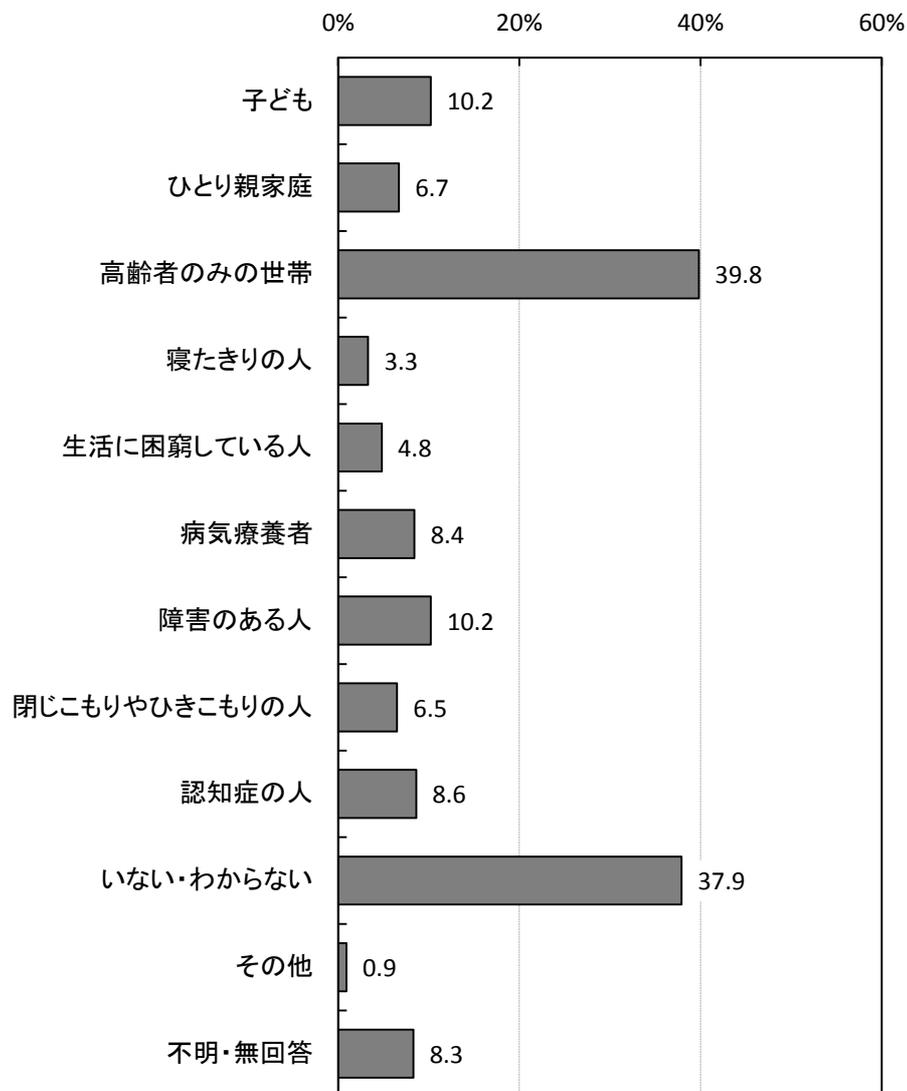
全体(N=896)



問 26 あなたのご近所には、次のように、特に見守りを必要とする人や気にかかる人がいますか。(あてはまるものすべてに○)

近隣の気にかかる人についてみると、「高齢者のみの世帯」が 39.8%と最も高くなっており、次いで「子ども」および「障害のある人」がそれぞれ 10.2%となっています。

全体(N=896)



紀の川市障害者基本計画
策定のためのアンケート調査
【調査結果報告書】

発行 紀の川市 保健福祉部 障害福祉課
〒649-6492 和歌山県紀の川市西大井 338 番地
電話 0736-77-0821 FAX 0736-79-3926

発行年月 平成29年3月
